

令和 6 年 度

水道事業年報



大和郡山市上下水道部

大和郡山市民憲章

わたくしたちの大和郡山市は、豊かな自然と悠久の歴史に生まれ、明日に向けて歩みつづける希望のまちです。わたくしたち市民は、より平和で夢と誇りに満ちたまちをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 進んでまちづくりに参加し
ともに住みよいまちをつくれます
1. 恵まれた自然を大切にし
清潔で美しいまちをつくれます
1. 多彩な産業を生かし
活力に満ちたまちをつくれます
1. 歴史に学び 文化を誇る
豊かな郷土をつくれます
1. お互いを尊重し
平和であたたかい社会をつくれます

平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。



大和郡山市

目 次

（Ⅰ）基本計画と水道普及状況 頁

1. 基本計画	1
2. 給水区域	1
3. 水道拡張計画の経過概要	2
4. 水道事業の沿革	3
5. 上下水道のあゆみ	5
6. 水道普及状況	9
人口及び水量推移表	9

（Ⅱ）施設の概要

1. 施設平面図	11
(1) 上水道一般平面図	11
2. 現稼働施設	13
(1) 北郡山浄水場	13
①北郡山浄水場管理事務所（管理棟）	13
②導水施設 ③浄水施設	13
④送水施設	14
⑤水源施設深井戸	14
(2) 昭和浄水場	16
①昭和浄水場管理事務所（管理棟）	16
②導水施設 ③浄水施設	16
④県営水道受水施設	17
⑤送水施設 ⑥配水施設	17
⑦水源施設深井戸	17
(3) 配水池施設	20

（Ⅲ）業務状況

1. 令和6年度大和郡山市水道事業報告書	23
2. 年度別口径別水栓数	24
3. 月別口径別有収水量	25
4. 給水収益及び収納状況	26

5. 過年度分の収入及び未収状況	26
5-1. 給水停止執行状況表	26
6. 新設開栓状況	27
7. 開閉栓状況	27
8. 検定満期による量水器取替状況	27
9. 給水装置工事施工状況	28
9-1. 漏水減免状況表	28
10. 修理件数の状況	29
(1) 年度別修理件数	29
(2) 修理件数の内訳	29
11. 分担金収入額	30
(ア) 口径別分担金収入明細表（新設）	30
(イ) 口径別分担金収入明細表（口径変更）	31
(ウ) 口径別分担金収入明細合計表（ア+イ）	31
12. 地区別検針・調定サイクル	32
13. 県営水道・配水量の推移	33
14. 料金調定システムの改善経緯	34
15. 電子計算処理業務の稼働状況	35
(1) 各課電子計算処理業務状況一覧表	35
(2) 機器構成図	37
16. 水質検査	38
(ア) 北郡山浄水場内給水栓水質検査結果	38
(イ) 昭和浄水場内給水栓水質検査結果	39
北郡山浄水場系井戸水質検査結果	40
昭和浄水場系井戸水質検査結果	41
17. 原水取水量（地下水）	43
(ア) 北郡山浄水場	43
(イ) 昭和浄水場	44
(ウ) 原水総取水量	45
18. 配水量	46
(ア) 北郡山浄水場	46
(イ) 昭和浄水場（矢田山流量含む）	47
(ウ) 総配水量	48
(エ) 総配水量の内訳	49

(オ) 県水総受水量	50
19. 薬品使用状況	51
20. 動力料金	52

(Ⅳ) 財務及び業務指標

1. 財務諸表	53
(1) 収益費用比較表	53
(2) 累年別貸借対照表	54
(3) 累年別損益計算書	56
(4) 経営分析	58
ア. 経営分析及び財務分析	58
イ. 年度別費用構成比較	60
ウ. 年度別供給原価・給水原価比較	62
エ. 年度別 1 m ³ 当たり収益比	63
オ. 給水原価構成	64
カ. 費目別給水原価構成	64
2. 決算	65
(1) 収益的収入及び支出	65
(2) 資本的収入及び支出	66
(3) 決算収支図	67
ア. 収益的収支	67
イ. 資本的収支	68
(4) 企業債明細書	69
(5) 固定資産明細書	70
3. 「水道事業ガイドライン」業務指標の算出結果と解説	71

(Ⅴ) 機 構

1. 機構図	83
2. 職員数及び配置	84
3. 職員構成	85
(1) 年齢別職員構成	85
(2) 勤続年数別職員構成	85

(Ⅵ) 参 考

1. 水道料金の変遷	87
2. 下水道料金の変遷	90
3. 給水分担金	92
4. 導・送・配水管布設状況	92

I 基本計画と水道普及状況

1. 基本計画

事業創設認可	昭和13年 3月25日
供給開始	昭和17年 4月 1日
地方公営企業法適用年月日	昭和36年 4月 1日
拡張認可年月日	平成10年12月24日
事業名	第6次拡張事業
計画給水人口	100,000人 (目標年次 平成24年)
1日最大給水量	56,000 m ³
1人1日最大給水量	560ℓ
総事業費	6,320,200千円

2. 給水区域

九条平野町、代官町、城北町、植槻町、天理町、城内町、冠山町、城見町、永慶寺町、藤原町、朝日町、城南町、箕山町、南郡山町、北郡山町、九条町、東奈良口町、西奈良口町、観音寺町、西観音寺町、野垣内町、西野垣内町、北鍛冶町、中鍛冶町、南鍛冶町、塩町、本町、茶町、雑穀町、魚町、奈良町、藺町、新中町、堺町、綿町、今井町、材木町、高田町、高田口町、新紺屋町、紺屋町、車町、豆腐町、柳1丁目～6丁目、大宮町、洞泉寺町、北大工町、南大工町、矢田町通、柳町、東岡町、西岡町、新木町、筒井町、丹後庄町、杉町、本庄町、天井町、城町、城の台町、外川町、新町、上三橋町、下三橋町、稗田町、若槻町、大江町、番匠田中町、井戸野町、美濃庄町、横田町、石川町、白土町、発志院町、中城町、番条町、櫟枝町、伊豆七条町、新庄町、長安寺町、八条町、椎木町、今国府町、宮堂町、柏木町、西町、池沢町、馬司町、額田部南町、額田部北町、額田部寺町、昭和町、小泉町、小泉町東1丁目～3丁目、小林町、小林町西1丁目～3丁目、北西町、南井町、豊浦町、小南町、池之内町、田中町、満願寺町、西田中町、矢田山町、千日町、泉原町、山田町（山間高地区を除く）、矢田町（山間高地区を除く）及び生駒郡安堵町岡崎、上窪田、中窪田地区並びに東安堵地区

3. 水道拡張計画の経過概要

	名称	認可年月日	許可番号	起工年 月	竣工年 月	給水開始年月日	事業費 (千円)	目標 年次	計画		
									給水人口	1人1日 最配水量	1日最大 配水量
沿革	創設	S. 13. 3. 25	厚奈衛 第183号	S. 14. 3	S. 17. 3	S. 17. 4. 1	790		人 19,000	ℓ 160	m ³ 2,280
	第1次 拡張	S. 27. 5. 17	厚奈衛 第224号	S. 27. 5	S. 32. 3	S. 32. 4. 1	116,367	33	33,000	220	6,200
	第2次 拡張	S. 33. 1. 21	厚奈衛 第20号	S. 33. 4	S. 37. 3	S. 37. 4. 1	101,274	37	43,000	280	12,000
	第3次 拡張	S. 39. 12. 12	厚収環 第479号	S. 40. 4	S. 44. 3	S. 41. 4. 1	712,270	50	80,000	340	27,200
	第3次 変更	S. 44. 3. 31	厚環 第328号	S. 44. 4	S. 45. 3	S. 41. 4. 1	838,030	45	66,700	408	27,200
	第4次 拡張	S. 45. 3. 31	厚環 第330号	S. 45. 4	S. 51. 3	S. 46. 5. 1	1,246,816	55	104,400	500	52,200
	第4次 変更	S. 49. 3. 30	厚環 第291号	S. 45. 4	S. 53. 3	S. 46. 5. 1	2,691,816	55	104,000	500	52,200
	第4次 拡張 緊急変更	S. 54. 6. 25	奈良県指令 環衛 第72号	S. 54. 6	S. 54. 7	S. 54. 7. 14	49,000	55	104,000	500	52,200
	第5次 拡張	S. 55. 11. 4	厚生省環 第525号	S. 56. 4	S. 63. 3	S. 63. 3. 31	2,340,000	2	120,000	620	74,400
	第6次 拡張	H. 10. 12. 24	厚収衛 第1486号	H. 10. 12	H. 23. 3	H. 23. 3. 31	6,320,200	24	100,000	560	56,000

4. 水道事業の沿革

大和郡山市は、大和平野の北部に位置し、大和川流域に広がる田園地帯と西部の矢田丘陵からなる恵まれた自然を有している。

市北部は、平城宮跡や薬師寺に近接し、南西部は、法隆寺、法起寺などの古い寺院が近くに存在するなど、古代の歴史の一翼を担うとともに、中世において筒井順慶の大和統一、さらには豊臣秀長の近世城下町づくりと産業保護により、大和平野の重要な拠点として、自然と歴史に恵まれた地域でもあった。

又、地場産業としては、明治時代から金魚の生産に取り組み、全国シェアは第1位となっている。昭和40年代には、南部に大規模な昭和工業団地が造成されたことによる大手企業の進出と共に、大阪市や京都市からの通勤上の利便性から、京阪神のベッドタウンとして人口の急増を経験した。

本市水道事業は、昭和13年3月、旧郡山町を区域として、上水道を創設した後、昭和17年4月に給水が開始された。

当時の創設認可申請理由は次のように記述されている。

「現時交通ノ至便ニ伴ヒ文化ノ向上頓ニ進ミ商工地トシテ發展ノ度極メテ顕著ナルモノアリト雖モ町ノ大部分ハ水質寔ニ不良ニシテ飲料ニ適スルモノ希ナリ保健衛生及保安警備ノ上ヨリ見ルニ水道設備ハ最モ緊急ニシテ必須ノ事業タルコトハ本町民ノ齊シク待望スル所ナリ」

このように大和郡山水道は、飲料水の保健衛生と共に当時発展してきた商工業の育成の面からも、町民から大きな期待を受けて誕生したのである。

第1次拡張事業 昭和27年5月から着工され、この拡張事業計画は、目標計画年次を昭和33年と定め、計画給水人口33,000人、計画1日最大配水量が6,200m³であった。昭和29年、郡山町及び矢田、昭和、治道、筒井、平和の各村の合併により、市制を施行することに伴い、昭和29年に筒井地区、昭和31年に平和、矢田地区、昭和32年に治道、昭和地区への配水管延長計画が完成し、市内の大部分の地域が給水可能となった。

第2次拡張事業 昭和33年4月から始まり、目標計画年次を昭和37年度におき、計画給水人口43,000人、計画1日最大配水量12,000m³の目標計画を立てた。

昭和32年に片桐町が市に編入されたことに伴い、昭和34年に片桐地区にも配水管の延長工事が完成した。又、昭和36年に水道局庁舎が落成する一方、水需要の急増に対応するため、北郡山浄水場の濾過池及び沈殿池が増設され浄水設備の能力倍増が図られた。

さらに、この時期に市の西南に隣接する安堵村からの給水要請によって、同村の一部に給水を開始した。

第3次拡張事業 当初、昭和40年から44年までの工期で計画されたが、昭和44年に第3次拡張事業変更によってその工期は1年延長された。

この拡張事業は、当時、市の一大施策であった市南部の昭和工業団地の造成や、矢田山団地を初めとする大型宅地造成が進んだことによる水需要の急増に対応するために計画されたのである。

拡張事業の計画は、給水人口66,700人、1日最大配水量27,200m³であったが、昭和40年に矢田山、西城地区への配水管の延長工事が完成、水道局庁舎増築工事（昭和40年）、昭和浄水場の建設（昭和43年）と、本市水道事業が飛躍的に発展した時期でもあり、矢田地区の簡易水道の統合による需要増にも備えた。

第4次拡張事業 当初、昭和45年4月から、昭和51年3月までの期間で計画されたものである。計画給水人口104,400人、1日最大配水量52,200m³であった。しかし、2回の事業変更により、その工期は、昭和54年7月まで延長された。

この時期は、市西部丘陵地帯の泉原団地などの大規模住宅や郡山駅前住宅公団、県営住宅など爆発的な需要増加となったことに加え、水源である井戸の水位が低下したため、井戸の増設を図ると共に昭和50年度から県営水道の受水を開始し、供給の不足分を賄った。

更に、北郡山浄水場の大改築を行い、水質汚濁防止法の改正により、浄水場における排水処理設備の建設事業も着手した。

又、大阪口（北郡山浄水場系）に 5,000m³の配水池、昭和浄水場に 5,000m³の県営水道受水池、矢田山に 5,000m³の第3配水池を建設し、災害時の水確保を図るための事業も実施した。

この頃（昭和45年以降）から、公共下水道工事が始まり、それに伴う移設工事が多発したのもこの時期であった。

第5次拡張事業 昭和 56年 4月から、昭和 63年 3月の工期で実施された。この事業計画は、給水人口120,000人、1日最大配水量74,400m³であったが、全国的には水道事業について「拡張から維持管理へ」と言われ出し、水質や安定供給が主要なテーマとなっていた。

当市も、矢田地区の一部（東明寺、松尾寺、榎木地区）を除いて、行政区域内全域に給水を行っており、安定供給と水質保全が主要な課題となっていた。

昭和61年に10,000m³の矢田山県営水道受水池兼第4配水池の築造に続き、平成3年に水道局新庁舎完成、平成4年の給水開始50周年には、各種事業に取り組んだ。

又、阪神淡路大震災を教訓として「災害に強い水道」をめざし、平成9年度から北和都市（奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市）間の、災害緊急時における水道水の相互融通連絡管整備事業に着手した。

平成10年4月からは、大和郡山市行政改革推進の一環としてお客様問い合わせ業務の窓口一本化と迅速化をめざし業務課内に「お客さまセンター」、規制緩和による指定給水装置工事業者への指導と監督強化から工務課内に「サービスセンター」を設置するなどの組織改革を行った。

第6次拡張事業 平成10年12月から着手し、目標計画年次を平成24年におき、水道普及率100%をめざし、松尾山、東明寺、榎木の矢田3地区の未普及地域解消事業を実施するため、事業認可（給水人口100,000人、一日最大配水量56,000m³）を受けることとなり、未普及地域解消事業が本格化した。平成11年9月に東明寺地区、同年11月に松尾山地域の2地区が完成し、それによって当市の水道普及率は99.97%に達することができた。また、同年度から昭和工業団地内の新幹線管の布設工事が7年計画で始まった。これは昭和浄水場から東部地区方面への管路の拡充を図り幹線配水管を整備して将来にわたって安定した水の供給を続けるものである。平成12年度には、水道整備計画の一環である北郡山浄水場の沈殿池更新事業（生物接触濾過施設）が開始し、平成13年10月に完成した。また、平成14年度から2ヶ年事業であった昭和浄水場高圧受電設備更新事業が平成15年10月に完成した。平成16年度から防災計画に基づき、市内柳町に位置する大阪口第1配水池を災害時における拠点給水基地として整備を進め、緊急時における飲料水確保のための緊急遮断弁（口径400mm）を設置した。令和3年3月に、生駒市小瀬配水池に隣接して送水ポンプ施設と矢田町榎木地区に配水池を設置した。令和4年2月に矢田町榎木地区の配水管を敷設し、令和元年度から開始した未普及地域改修事業が完了し、水道普及率100%となった。令和6年9月に市議会で「奈良県広域水道企業団の設立に関する協議について」が可決され、同年10月に奈良県下27団体の用水供給事業を含む水道事業体による協議書に署名した。令和7年3月31日付で市水道事業が全部廃止され、4月1日より企業団へ事業統合することとなった。

5. 上下水道のあゆみ

西 暦	年 号	上 下 水 道 事 業 記 事	外 記 世間の動き
1938	昭和 13 年	水道事業創設認可 (町長 戸口米次郎)	
1940	昭和 15 年	日本水道協会に入会	
1941	昭和 16 年		筒井村、郡山町に合併 太平洋戦争起こる
1942	昭和 17 年	給水開始	
1945	昭和 20 年		終 戦
1947	昭和 22 年	水道料金改定実施	地方自治法公布
1948	昭和 23 年	水道料金改定実施	
1949	昭和 24 年	水道料金改定実施	
1951	昭和 26 年	水道料金改定実施	
1952	昭和 27 年	第 1 次拡張事業認可 (町長 三木守人)	地方公営企業法公布
1954	昭和 29 年	市制を施行 (初代市長に水田孝夫) 筒井地区への配水管延長工事完成 水道料金改定実施	郡山町、矢田、昭和 治道、平和各村合併
1956	昭和 31 年	平和、矢田地区への配水管延長工事完成	
1957	昭和 32 年	治道、昭和地区への配水管延長工事完成 水道料金改定実施	片桐町、大和郡山市に編入
1958	昭和 33 年	第 2 次拡張事業認可 (市長 水田孝夫) 水道料金改定実施	
1959	昭和 34 年	片桐地区への配水管延長工事完成	伊勢湾台風
1960	昭和 35 年		チリ地震
1961	昭和 36 年	地方公営企業法の適用を受け、水道局となる。 水道局庁舎落成	第 2 室戸台風
1962	昭和 37 年	安堵村の一部へ給水開始 第 6 取水場新設	
1963	昭和 38 年	水道料金改定実施	
1964	昭和 39 年	第 3 次拡張事業認可 (市長 水田孝夫)	昭和工業団地造成始まる 東京オリンピック開催 東海道新幹線開通
1965	昭和 40 年	矢田山、西城地区への配水管延長工事完成	
1966	昭和 41 年	水道局庁舎増築工事完成 水道料金改定 (基本料金350円)	
1968	昭和 43 年	昭和浄水場完成 矢田山第 1 配水池築造工事完成 (1,500m ³)	
1969	昭和 44 年	水道料金の口座振替制度実施 給水人口 5 万人突破	アポロ11号月面着陸
1970	昭和 45 年	第 4 次拡張事業認可 (市長 吉田泰一郎) 矢田山第 2 配水池築造工事完成 (80m ³) 矢田地区簡易水道を上水道に統合する 水道料金改定実施	大阪万国博覧会 公共下水道事業着手 奈良県営水道給水開始
1971	昭和 46 年	水道料金の調定委託 隔月検針採用 検針業務を全面委託 下水道事業認可	
1972	昭和 47 年		沖縄県復帰
1973	昭和 48 年	天理市へ援助給水 (1 ヶ月) 給与計算及び庁舎管理、清掃業務委託 下水道認可変更	オイルショック
1974	昭和 49 年	分担金制度実施 宅内修繕工事を公認業者へ移行 浄水場が水質汚濁防止法の特定施設となる	市制施行20周年記念事業

西 暦	年 号	上 下 水 道 事 業 記 事	外 記 世間の動き
1975	昭和 50 年	矢田山第3配水池築造工事完成 (5,000m ³) 水道料金体系を用途別から口径別に変更 県営水道から受水開始 (宇陀川系) 水道料金改定 (基本料金430円) 下水道供用開始 下水道認可変更	水道法改正
1976	昭和 51 年	北郡山浄水場改造工事完成 北郡山排水処理設備完成 (希釈放流)	
1977	昭和 52 年	浄水場に遠方監視装置導入 大阪口配水池築造工事完成 (5,000m ³) 下水道認可変更	
1978	昭和 53 年	昭和浄水場県水受水池完成 (5,000m ³) 奈良市へ援助給水 (約2週間) 水道料金改定 (基本料金600円)	
1979	昭和 54 年	昭和浄水場に排水処理設備完成 (天日乾燥) 給水人口8万人突破 下水道・郡山ポンプ場竣工 下水道認可変更	
1980	昭和 55 年	水道料金徴収を毎月から隔月制に変更 第5次拡張事業認可 (市長 吉田泰一郎) 下水道認可変更	
1981	昭和 56 年	水道料金改定 (基本料金750円) 大寒波襲来 約1,000件の修繕 下水道認可変更	福岡市など大渇水
1982	昭和 57 年	昭和16号、17号井戸完成	
1984	昭和 59 年	水道料金改定 (基本料金800円) 下水道使用料改定 (基本料金400円) 下水道認可変更	
1985	昭和 60 年	下水道認可変更	
1986	昭和 61 年	矢田山県水受水池兼配水池完成 (10,000m ³) 下水道使用料改定 (基本料金500円)	
1987	昭和 62 年	水道料金改定実施 下水道第1課を下水道管理課へ 下水道第2課を下水道建設課へ変更 下水道・郡山ポンプ場2号ポンプ完成	
1988	昭和 63 年	下水道使用料改定 (基本料金535円)	8月集中豪雨 わかくさ国体開催
1989	平成 元 年	(市長 阪奥 明)	
1990	平成 2 年	夏季異常渇水 下水道使用料改定 (水質料金のみ) 下水道認可変更	
1991	平成 3 年	北郡山浄水場排水処理設備改造 (希釈放流から濃縮機導入) 水道局新庁舎完成 1日最大配水量50,000m ³ 突破 下水道・郡山ポンプ場3号ポンプ完成	
1992	平成 4 年	給水開始50周年記念事業 水道料金改定実施 下水道・郡山ポンプ場4号ポンプ完成	
1993	平成 5 年	下水道・郡山ポンプ場5号ポンプ完成 下水道認可変更	
1994	平成 6 年	夏季異常渇水 下水道認可変更	
			消費税実施 (3%) 奈良シルクロード博開催

西 暦	年 号	上 下 水 道 事 業 記 事	外記 世間の動き
1995	平成 7 年	下水道・郡山ポンプ場放流ゲート完成	阪神・淡路大震災 第1回全国金魚すくい選手権大会開催
1996	平成 8 年	新料金調定システム電算業務開始 矢田山受水池兼配水池緊急遮断弁完成 水道料金改定（基本料金1,200円） 下水道認可変更	秀長百万石まつり開催
1997	平成 9 年	北郡山浄水場次亜塩素酸ソーダ注入開始 北和相互融通管連絡管設置事業開始 広報紙「ふれっしゅ郡水」創刊 下水道使用料改定（基本料金635円）	消費税率改定（5%）
1998	平成 10 年	第6次拡張事業認可（市長 阪奥 明） 松尾山、東明寺地区未普及地域解消事業開始 業務課内に「お客さまセンター」工務課内に「サービスセンター」を設置 昭和浄水場次亜塩素酸ソーダ注入開始 下水道認可変更	指定給水装置工事事業者の 指定制度実施
1999	平成 11 年	松尾山、東明寺地区通水開始（普及率99.97%） 昭和工業団地内幹線管布設事業開始 給水台帳ファイリングシステム稼働	コンピューター西暦2000年問題
2000	平成 12 年	北郡山浄水場生物接触濾過施設事業開始	鳥取県西部地震
2001	平成 13 年	生物接触濾過施設稼働（市長 上田 清） 大和郡山市水道展開催（やまと郡山城ホール8月1日～3日） 下水道認可変更	米国同時多発テロ
2002	平成 14 年	工務課内の「サービスセンター」を廃止し 「お客さまセンター」に一本化 下水道管理課と下水道建設課を統合し、 下水道推進課へ一本化 下水道認可変更	
2003	平成 15 年	昭和浄水場高圧受電設備稼働 下水道認可変更	
2004	平成 16 年	下水道「手づくり郷土賞」紺屋川整備事業受賞	新潟県中越地震 スマトラ沖地震
2005	平成 17 年	大阪口第1配水池緊急遮断弁完成	
2006	平成 18 年	水道料金コンビニ収納開始 下水道環境フォーラム開催 下水道整備促進全国大会開催 北郡山浄水場運転管理業務一部委託開始	
2007	平成 19 年	機構改革により下水道推進課との統合 「水道局」から「上下水道部」となる お客さまセンター業務委託開始によるプロポーザル実施	新潟県中越沖地震
2008	平成 20 年	新企業会計システム導入	中国四川省地震
2009	平成 21 年	北郡山浄水場監視装置設置 下水道事業公営企業化 下水道使用料改定（基本料金735円）	
2010	平成 22 年	上下水道料金ハンディ機器更新 下水道使用料改定（基本料金830円） 下水道認可変更	猛暑（30年に1度の 異常気象と認定） 県営水道料金140円／m ³
2011	平成 23 年	お客さまセンター窓口業務プロポーザル実施 上下水道事業審議会設立 北郡山浄水場運転管理委託開始によるプロポーザル実施 昭和浄水場5号配水ポンプ設備更新	カンタベリー地震（ニュージーランド） 東日本大震災

西 暦	年 号	上 下 水 道 事 業 記 事	外記 世間の動き
2012	平成 24 年	昭和浄水場現況調査委託 昭和浄水場運転管理業務一部委託開始 お客さまセンター窓口業務プロポーザル実施 下水道使用料改定（基本料金950円）	尖閣諸島・竹島領土問題 東京スカイツリー完成 大滝ダム完成 県営水道料金130円／m ³
2013	平成 25 年	上下水道料金システムCS版稼働 水道料金改定（二段階料金制開始・基本料金1,170円） 浄水場運転管理業務プロポーザル実施 下水道使用料改定（基本料金1,070円） 北郡山浄水場及び場外施設現況調査 下水道認可変更	
2014	平成 26 年	浄水課が工務課と統合 水道管路整備計画策定業務 配水池等耐震診断業務 生物接触ろ過施設3材入替（3ヶ年）	消費税率改定（8%）
2015	平成 27 年	水道事業ビジョン及び施設整備計画策定業務（2ヶ年） 大阪市と技術協力に関する連携協定締結 お客さまセンター窓口業務プロポーザル実施 ハイブリッド水道メーター導入 水道料金口座振替伝送に移行 北和四市水道メーター共同購入	マイナンバー制度
2016	平成 28 年	上下水道部機器更新 （調定システム、地図システム、設計積算システム） 浄水場運転管理業務プロポーザル実施 ペットボトル水配布事業（市内各小中学校） 北郡山浄水場1号送水ポンプ設備更新 資材備蓄倉庫建設	熊本地震 鳥取地震 マイクロソフトWindows10
2017	平成 29 年	上下水道料金閉栓未納催告システム改修 水道事業ビジョン作成 北和四市利き水イベントの実施	トランプ大統領就任
2018	平成 30 年	奈良県「県域水道一体化の目指す姿と方向性」の提示 お客さまセンター窓口業務プロポーザル実施 金魚すくい県民大会で北和4市利き水イベントの実施 奈良県「新県域水道ビジョン」策定 親子まつりで利き水イベントの実施 上下水道長期未使用者確認システム導入 下水道認可変更 アンケート調査実施	大阪北部地震 西日本豪雨 猛暑 平成30年北海道胆振東部地震
2019	令和 元 年	矢田山第3配水池・大阪口配水池耐震補強工事 未普及地域解消事業（榎木地区）で生駒市と広域連携協定締結 浄水場運転管理業務プロポーザル実施 矢田山第4配水池耐震補強工事	大型台風19号で関東・東北で被害 新天皇即位の礼 Windows7サポート終了 消費税率改定（10%） 新型コロナウイルス感染症流行
2020	令和 2 年	未普及地域解消事業（榎木地区）開始 窓口滞納整理業務等包括委託プロポーザル実施 生活支援等として2ヶ月分の基本料金の減免を実施	
2021	令和 3 年	水道使用者の宅内給水装置の修繕に対し、給水装置 2次側修繕優先紹介事業開始 未普及地域解消事業（榎木地区）完了	バイデン大統領就任 東京五輪開催 熱海市伊豆山土石流災害発災
2022	令和 4 年	浄水場運転管理業務契約更新 スマートフォン決済アプリによる料金納付開始 生活支援等として4ヶ月分の基本料金減免を実施 市長、県域水道一体化に参加する意向を表明	ロシアがウクライナに侵略 藤井聡太、10代初の5冠 安倍晋三元首相銃撃事件
2023	令和 5 年	県域水道一体化への参加についての市民説明会開催 奈良県広域水道企業団設立準備協議会・幹事会・作業部会への参加 能登半島への応急給水のために職員を、応急復旧のために職員および市内指定工事事業者を派遣 物価高騰対応策として1ヶ月分の基本料金減免を実施	2023年パレスチナ・イスラエル戦争 令和6年能登半島地震発生 羽田空港地上衝突事故発生
2024	令和 6 年	県域水道一体化市民説明会開催 奈良県広域水道企業団の設立に関する協議書に署名	20年ぶり新札発行 南海トラフ地震臨時情報初発表 大谷翔平 米リーグ初「50-50」達成
2025	令和 7 年	奈良広域水質検査センター組合解散（令和7年3月31日） 市水道事業の全部廃止（令和7年3月31日） 奈良県広域水道企業団へ事業統合（令和7年4月1日）	

6. 水道普及状況

人口及び水量推移表

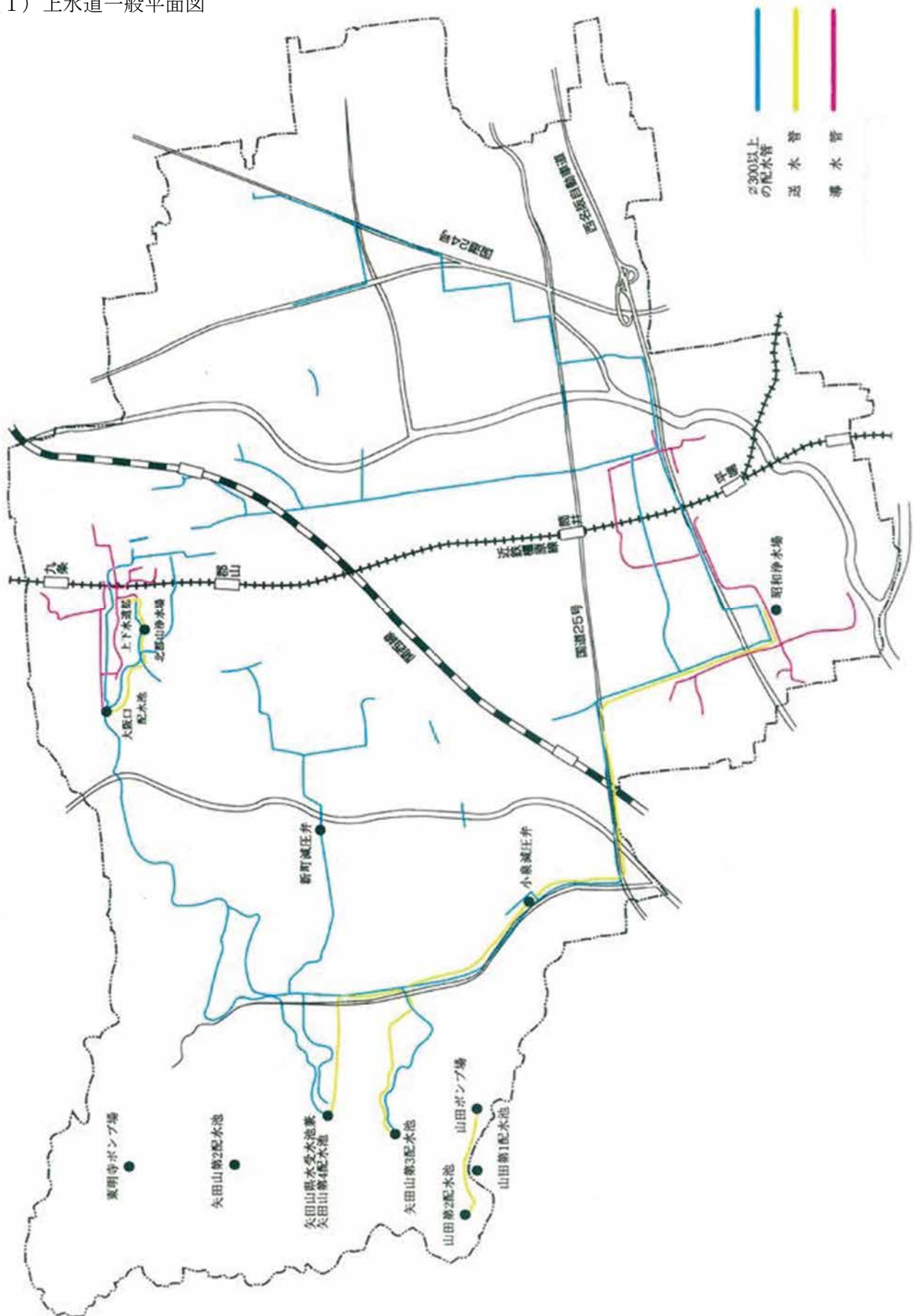
項目	年度	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6
行政区域内人口	人	89,631	89,101	88,582	88,013	87,541	86,937	86,325	85,690	85,129	84,360	83,639	82,989	82,212
給水区域内人口	人	90,606	90,076	89,545	88,972	88,536	87,896	87,304	86,638	86,086	85,302	84,557	83,841	83,066
給水人口	人	90,581	90,050	89,519	88,948	88,512	87,872	87,281	86,617	86,065	85,302	84,557	83,841	83,066
給水戸数	戸	38,038	38,184	38,211	38,451	38,655	38,701	38,845	38,905	39,078	39,265	39,533	39,753	39,958
1日最大配水量	(月・日) m ³	7月30日 36,812	7月8日 36,112	7月24日 35,603	7月13日 33,465	7月7日 33,274	8月3日 32,075	7月25日 33,188	8月6日 31,701	8月24日 32,907	6月9日 30,451	6月23日 18,060	7月18日 28,645	8月1日 28,122
1日平均配水量	m ³	31,579	30,903	29,618	29,155	28,409	28,323	28,687	28,052	28,352	27,014	26,734	26,441	25,850
年間総配水量	m ³	11,526,216	11,279,463	10,810,722	10,670,618	10,369,425	10,338,060	10,470,674	10,238,872	10,348,481	9,860,109	9,757,946	9,677,234	9,435,267
年間有収水量	m ³	10,735,389	10,471,764	10,108,573	9,852,080	9,725,937	9,703,019	9,749,312	9,670,285	9,610,491	9,311,148	8,913,054	9,025,550	8,849,157
有収率	%	93.1	92.8	93.5	92.3	93.8	93.9	93.1	94.4	92.9	94.4	91.3	93.3	93.8
1人1日最大配水量	ℓ	406	401	398	376	376	365	380	366	382	357	214	342	339
1人1日平均配水量	ℓ	349	343	331	328	321	322	329	324	329	317	316	315	311

Ⅱ 施設 の 概 要

大和郡山市全図

1. 施設平面図

(1) 上水道一般平面図



2. 現稼働施設

(1) 北郡山浄水場

北郡山浄水場

① 北郡山浄水場管理事務所（管理棟）

管理棟総面積 532.78 m² RC造 1棟

敷地総面積 6,722 m²

施設能力 9,600 m³/日

② 導水施設

〔導水管〕 $\phi 150 \sim \phi 400$ L=6,044 m

③ 浄水施設

〔着水井〕 幅5.1 m×長さ12.9 m×水深4.5 m RC造り 1井

〔生物接触ろ過施設〕 内法4.5 m×3 m 有効濾過面積13.5 m²/池

濾速240 m/日 （最大濾速360 m/日）

RC造り 3池

〔薬品混和槽〕 幅8.9 m×長さ6.9 m×深さ3.5 m RC造り 2池

〔急速濾過池〕

・内法 4.8 m×3.5 m 有効濾過面積 16.8 m²/池

・濾速 120 m/日 RC造り 4池

・内法 5.8 m×3.5 m 有効濾過面積 20.3 m²/池

・濾速 120 m/日 RC造り 1池

〔浄水池〕

・内法 17.3 m×8.5 m×深さ3.7 m 有効容量 1,000 m³ RC造り 2池

〔薬注設備〕 次亜塩素・PAC

・次亜貯蔵槽

円筒型密閉（ノズル一体型） ポリエチレンタンク

$\phi 1,700 \times H 3,000$ （直胴部） 6.0 m³ 2槽

・次亜注入ポンプ

油圧ダイヤフラム式 吐出量235 ml/分

ストローク自動制御設定 2台（内1台予備）

・PAC貯蔵槽 1槽

円筒型密閉 ポリエチレンタンク

容量 3.0 m³

・PAC注入ポンプ

油圧ダイヤフラム式 吐出量30 ml/分

ストローク自動制御設定 2台（内1台予備）

〔洗浄設備〕

- ・揚水ポンプ 両吸込型渦巻ポンプ
口径 吸込側 300mm・吐出側 250mm
吐出量 10.6m³/分・揚程 14m
回転数 1,200rpm・ポンプ出力 37kW 1台

〔排水処理施設〕

- ・排泥池 6.35m×6.35m×2.50m 有効容量 200m³ RC造り 2池
- ・送泥ポンプ室 9.75m×2.35m RC造り 1室
- ・送泥ポンプ $\phi 125 \times 1.55 \text{ m}^3/\text{分} \times 16 \text{ m} \times 15 \text{ kW}$ 2台

④ 送水施設

〔送水ポンプ〕地下 87.11m² RC造り 1室

- ・送水ポンプ $\phi 200 \times \phi 150 \times 4.5 \text{ m}^3/\text{分} \times 60 \text{ m} \times 7.5 \text{ kW}$ 1台
 $\phi 250 \times \phi 200 \times 6.0 \text{ m}^3/\text{分} \times 45 \text{ m} \times 7.5 \text{ kW}$ 1台
- ・送水管 $\phi 350$ L=1,100m

⑤ 水源施設深井戸

〔北郡山1号井戸〕 所在地 大和郡山市植槻町（北郡山浄水場内）

工事竣工年月日 平成11年1月22日

ケーシング口径 300mm×深さ200m

揚水量 1,231m³/日 22kW

〔北郡山5号井戸〕 所在地 大和郡山市北郡山町

工事竣工年月日 平成7年2月28日

ケーシング口径 300mm×深さ300m

揚水量 1,264m³/日 22kW

〔北郡山6号井戸〕 所在地 大和郡山市代官町

工事竣工年月日 昭和37年4月11日

ケーシング口径 350mm×深さ160m

揚水量 ****m³/日 15kW（停止中）

〔北郡山7号井戸〕 所在地 大和郡山市代官町

工事竣工年月日 昭和40年5月30日

ケーシング口径 （2重ケーシング） 350mm・250mm×深さ180m

揚水量 ****m³/日 15kW（停止中）

〔北郡山8号井戸〕 所在地 大和郡山市北郡山町

工事竣工年月日 昭和40年5月30日

ケーシング口径 （2重ケーシング） 350mm・250（200）mm

×深さ 180 m (142.5 m)

揚水量 ****m³/日 18.5kW (停止中)

〔北郡山 9 号井戸〕 所在地 大和郡山市北郡山町

工事竣工年月日 昭和 43 年 11 月 15 日

ケーシング口径 (3 重ケーシング) 350 mm×深さ 180 m
300 mm×深さ 100 m
250 mm×深さ 82 m

揚水量 300 m³/日 11.0kW

〔北郡山 11 号井戸〕 所在地 大和郡山九条平野町

工事竣工年月日 平成 19 年 1 月 26 日

ケーシング口径 (2 重ケーシング) 300 mm×深さ 250 m
250 mm×深さ 245 m

揚水量 ****m³/日 18.5kW (停止中)

〔北郡山 12 号井戸〕 所在地 大和郡山市植槻町

工事竣工年月日 昭和 50 年 6 月 30 日

ケーシング口径 (2 重ケーシング) 400 mm・300 mm×深さ 250 m

揚水量 412 m³/日 22kW

〔北郡山 13 号井戸〕 所在地 大和郡山市柳町

工事竣工年月日 平成 16 年 9 月 30 日

ケーシング口径 350 mm×深さ 300 m

揚水量 ****m³/日 18.5kW (停止中)

(2) 昭和浄水場

昭和浄水場

① 昭和浄水場管理事務所 (管理棟)

管理棟総面積 443.3 m² RC造 1棟

敷地総面積 30,636 m²

施設能力 30,200 m³/日

② 導水施設

〔導水管〕 $\phi 150 \sim \phi 500$ DCIP他 L=5,454 m

③ 浄水施設

〔着水井〕 長さ14.0 m×巾5.0 m×深さ4.0 m 容量280 m³ RC造り

〔混和槽〕 3.0 m×2.65 m×深さ3.0 m 滞留時間 1.4分 RC造り 2池

〔凝集池〕 幅1.0 m×深さ3.0 m×長さ77.8 m 上下迂流式

有効容量 934 m³ 滞留時間 27.9分 RC造り 4池

〔沈殿池〕

幅10.2 m×長さ38.6 m×有効水深3.5 m 有効容量 5,500 m³

滞留時間 2.8時間 RC造り 4池

〔急速濾過池〕

・内法 6.0 m×7.04 m 有効濾過面積 253.4 m²

濾過 120 m³/日 RC造り 7池 (内予備1池)

〔薬注設備〕 次亜塩素・PAC

・次亜貯蔵槽

円筒型密閉 (ノズル一体型) ポリエチレンタンク

$\phi 2,280 \times 2,780$ (直胴部) 8.6 m³ 2槽

・次亜注入ポンプ

油圧ダイヤフラム式 容量 1980 ml/分

回転数自動制御設定 2台 (内1台予備)

・PAC貯蔵槽 1槽

円筒型密閉 ポリエチレンタンク

容量 4 m³

・PAC注入ポンプ 2台 (内1台予備)

吐出量 最大 60 ml/分

〔洗浄設備〕

鋼製円筒有骨ドーム型タンク 容量 200 m³

揚水ポンプ 3.3 m³/分×30 m×30 kW 2台 (内予備1台)

〔排水処理設備〕

- ・濃縮槽 12.7m×12.7m×5.0m 容量 1,600m³ RC造り 2池
電気室、ポンプ室 5.0m×12.7m 地下室 RC造り
- ・揚水ポンプ 0.571m³/分×19m×7.5kW 3台 (内予備1台)
- ・天日乾燥床 7.0m×16.0m 延床面積 896m² RC造り 8床
3.65m×19.7m 延床面積 72m² RC造り 1床
3.65m×17.2m 延床面積 126m² RC造り 2床

④ 県営水道受水施設

有効容量 5,000m³ 直径 28.3m 有効水深 8.0m
RC造り 1池 県水受水管 φ300

⑤ 送水施設

〔送水ポンプ〕 両吸込渦巻ポンプ

φ250×φ150×7.0m³/分×110m×200kW 2台

〔送水管〕 φ350 DCIP L=6,766m

⑥ 配水施設

〔配水ポンプ〕

φ250×φ150×5m³/分×50m×75kW 2台

φ250×φ200×7m³/分×50m×90kW 2台

〔配水池〕 10,000m³

内法 16.0m×40.0m×深さ4.0m 有効容量 2,500m³ RC造り 4池

⑦ 水源施設深井戸

〔昭和1号井戸〕 所在地 大和郡山市額田部北町

工事竣工年月日 平成4年3月31日

ケーシング口径 300mm×深さ350m

揚水量 1,056m³/日 22kW

〔昭和2号井戸〕 所在地 大和郡山市額田部北町

工事竣工年月日 平成8年3月11日

ケーシング口径 300mm×深さ250m (200m)

揚水量 768m³/日 22kW

〔昭和3号井戸〕 所在地 大和郡山市額田部北町

工事竣工年月日 平成5年3月31日

ケーシング口径 300mm×深さ300m

揚水量 744m³/日 18.5kW

- 〔昭和4号井戸〕 所在地 大和郡山市西町
工事竣工年月日 昭和44年3月31日
ケーシング口径 350mm×深さ210m
休止中
- 〔昭和5号井戸〕 所在地 大和郡山市額田部北町
工事竣工年月日 昭和44年3月31日
ケーシング口径 (2重ケーシング) 350mm・250mm×深さ180m
揚水量 408m³/日 18.5kW
- 〔昭和6号井戸〕 所在地 大和郡山市額田部北町
工事竣工年月日 昭和44年3月31日
ケーシング口径 350mm×深さ180m
揚水量 413m³/日 7.5kW
- 〔昭和7号井戸〕 所在地 大和郡山市西町
工事竣工年月日 昭和46年3月31日
ケーシング口径 350mm×深さ180m
揚水量 ****m³/日 13kW (停止中)
- 〔昭和8号井戸〕 所在地 大和郡山市西町
工事竣工年月日 昭和46年3月31日
ケーシング口径 (2重ケーシング) 350mm・250mm×深さ180m
揚水量 818m³/日 22kW
- 〔昭和9号井戸〕 所在地 大和郡山市西町
工事竣工年月日 昭和48年3月31日
ケーシング口径 (2重ケーシング) 300mm・200mm×深さ180m
揚水量 ****m³/日 22kW (停止中)
- 〔昭和10号井戸〕 所在地 大和郡山市今国府町
工事竣工年月日 昭和49年3月31日
ケーシング口径 (2重ケーシング) 500mm・300mm×深さ200m
揚水量 655m³/日 22kW
- 〔昭和11号井戸〕 所在地 大和郡山市額田部寺町
工事竣工年月日 昭和49年3月31日
ケーシング口径 (2重ケーシング) 500mm・300mm×深さ200m
揚水量 ****m³/日 22kW (停止中)

- 〔昭和 12 号井戸〕 所在地 大和郡山市池沢町
工事竣工年月日 昭和 50 年 3 月 31 日
ケーシング口径 (2 重ケーシング) 400 mm・250 mm×深さ 250 m
揚水量 348 m³/日 22 kW
- 〔昭和 13 号井戸〕 所在地 大和郡山市椎木町
工事竣工年月日 昭和 50 年 3 月 31 日
ケーシング口径 (2 重ケーシング) 400 mm・250 mm×深さ 250 m
揚水量 **** m³/日 22 kW (停止中)
- 〔昭和 14 号井戸〕 所在地 大和郡山市椎木町
工事竣工年月日 昭和 53 年 3 月 31 日
ケーシング口径 350 mm×深さ 250 m
揚水量 931 m³/日 22 kW
- 〔昭和 15 号井戸〕 所在地 大和郡山市額田部寺町
工事竣工年月日 昭和 55 年 3 月 31 日
ケーシング口径 (3 重ケーシング) 1000 mm・600 mm・450 mm
×深さ 60 m
揚水量 988 m³/日 18.5 kW
- 〔昭和 16 号井戸〕 所在地 大和郡山市馬司町
工事竣工年月日 昭和 57 年 3 月 31 日
ケーシング口径 400 mm×深さ 250 m
揚水量 1,531 m³/日 22 kW
- 〔昭和 17 号井戸〕 所在地 大和郡山市馬司町
工事竣工年月日 昭和 58 年 3 月 31 日
ケーシング口径 (2 重ケーシング) 400 mm・250 mm×深さ 250 m
揚水量 674 m³/日 22 kW
- 〔昭和 18 号井戸〕 所在地 大和郡山市馬司町
工事竣工年月日 昭和 59 年 3 月 31 日
ケーシング口径 (2 重ケーシング) 400 mm・250 mm×深さ 250 m
揚水量 720 m³/日 22 kW
- 〔昭和 19 号井戸〕 所在地 大和郡山市額田部北町
工事竣工年月日 平成 6 年 3 月 31 日
ケーシング口径 300 mm×深さ 300 m
揚水量 756 m³/日 22 kW
- 〔昭和 20 号井戸〕 所在地 大和郡山市長安寺町

工事竣工年月日 平成10年1月30日
ケーシング口径 300mm×深さ180m
揚水量 577m³/日 22kW

〔昭和21号井戸〕 所在地 大和郡山市馬司町
工事竣工年月日 平成21年1月30日
ケーシング口径 350mm×深さ200m
揚水量 ****m³/日 22kW (停止中)

(3) 配水池施設

〔大阪口配水池〕

所在地 大和郡山市柳町
取得日 昭和53年3月31日 PC造り 1池
有効容量 5,000m³ 内法25.0m×水深10.2m

〔矢田山第2配水池〕

所在地 大和郡山市矢田町
取得日 昭和45年3月31日 鉄筋防水モルタル造り 1池
有効容量 80.0m³ 内法5.6m×6.0m×2.7m

〔矢田山第3配水池〕

所在地 大和郡山市矢田町
取得日 昭和50年3月31日 PC造り 1池
有効容量 5,000m³ 内法36.0m×水深5.0m

〔矢田山県水受水池兼配水池〕

所在地 大和郡山市矢田町
取得日 昭和61年6月30日
有効容量 10,000m³
内径 50.0m 有効水深5.0m PC造り 1池
緊急遮断弁 配水管緊急遮断弁 φ500
送水管緊急遮断弁 φ300
ポンプ仕様 0.8m³/分×7.2m×15kW 2台
(矢田山第2配水池へ送水)

〔山田第1配水池〕

所在地 生駒郡斑鳩町
取得日 平成11年10月31日
鉄筋コンクリート造 21.28m²
有効容量 21.23m³ 3.05m×1.45m×2.40m 2池
ポンプ仕様 0.1m³/分×6.1m×3.4kW×2台

〔山田第2配水池〕

所 在 地 大和郡山市山田町

取 得 日 平成11年10月31日

鉄筋コンクリート造 26.42m²

有効容量 20.00m³ 2.60m×1.55m×2.48m 2池

ポンプ仕様 0.27m³/分×7.4m×5.5kW×2台

〔山田ポンプ場〕

所 在 地 大和郡山市山田町

取 得 日 昭和44年4月30日

有効容量 7.94m³ 2.10m×2.10m×1.80m

ポンプ仕様 0.1m³/分×7.2m×3.7kW×2台

〔東明寺ポンプ場〕

所 在 地 大和郡山市矢田町

取 得 日 平成11年11月30日

有効容量 1.00m³ 0.80m×1.14m×1.10m

ポンプ仕様 0.1m³/分×7.4m×5.5kW×2台

〔檜木ポンプ場〕

所 在 地 生駒市小瀬町

取 得 日 令和3年3月16日

ポンプ仕様 0.048m³/分×9.1m×1.5kW×2台

〔檜木配水池〕

所 在 地 大和郡山市矢田町

取 得 日 令和3年3月16日

ステンレスパネル 6.0m³

有効容量 4.5m³ 1.5m×1.0m×1.5m 2池

Ⅲ 業務状況

1. 令和6年度大和郡山市水道事業報告書

令和6年度の給水人口は、83,066人で、前年度に比べ775人減となっております。

年間有収水量は、対前年度比 176,393m³、率にして1.95%減の8,849,157m³となっております。

令和6年度の主な施設整備といたしましては、建設改良工事として新木町、下三橋町、小南町等における延長5,838.7mの配水管の改良等を行い、配水施設工事としては、城町、丹後庄町における延長 64.0mの配水管の布設替を実施いたしました。また、昭和浄水場急速ろ過池電動弁を更新し、水の安定供給に努めました。

以上の様に施設整備に努め、収益的収支では、1,971,501,555円（2,158,465,003円）の収入となり、前年度に比べ36,378,012円、率にして 1.81%の減となりました。この収入の主なものは、給水収益1,673,985,285円、受託工事収益7,233,580円、長期前受金戻入益220,175,440円でございます。

一方、支出におきましては、1,830,582,266円（1,945,432,248円）となり、前年度に比べ55,622,921円、率にして 3.13%の増となっております。この支出の主なものは、県水受水費594,815,000円、動力費105,791,455円、人件費 160,071,404円、減価償却費491,734,183円でございます。収支差引による当年度純利益は、前年度に比べ金額にして92,000,933円の減で、140,919,289円の当年度純利益となったものでございます。

次に資本的収支における収入は、82,694,730円（88,705,126円）で、内訳は、水道施設工事分担金 23,598,730円、給水分担金59,096,000円でございます。

支出におきましては、828,460,291円（906,098,596円）で、この主なものは、配水設備費702,997,700円、浄水設備費 52,777,000円で、収支差引の不足額745,765,561円（817,393,470円）は、損益勘定留保資金、減債積立金及び当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填いたしました。

以上が令和6年度水道事業会計決算の概要でございます。令和7年度より奈良県広域水道企業団へ事業継承をしておりますが、今後の水道事業につきましては水需要の減少に伴う給水収益の減少、水道施設の老朽化による更新需要の増加等の課題が山積しております。

企業団が広域で水道の老朽化対策等を通じた基盤強化を図り、これからも安全で安心な水道水を将来にわたって持続的に供給できているか、大和郡山市として見守ってまいります。

また、奈良県広域水道企業団基本計画中の経年施設更新計画では大和郡山市予定分の管路・施設・設備更新の事業計画が記載されてございます。企業団大和郡山事務所を通じ、確実に事業計画が実施できるよう注視してまいります。

（ ）内は消費税込みの金額

2. 年度別口径別給水栓数

項目 \ 年度		元年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
一般用	1 3 mm	18,865	18,786	18,695	18,593	18,510	18,376
	2 0 mm	13,196	13,535	13,825	14,137	14,468	14,765
	2 5 mm	923	863	861	862	929	934
	4 0 mm	238	184	184	184	236	240
	5 0 mm	95	69	68	71	98	100
	7 5 mm	38	34	34	35	40	40
	1 0 0 mm	18	16	16	16	18	18
	1 5 0 mm	2	1	1	1	2	2
	小 計	33,375	33,488	33,684	33,899	34,301	34,475
臨時用	1 3 mm	0	0	0	0	0	0
	2 0 mm	0	0	0	0	0	0
	2 5 mm	0	0	0	0	0	0
	小 計	0	0	0	0	0	0
湯屋用	4 0 mm	1	1	1	1	1	1
	5 0 mm	1	1	1	1	1	1
	7 5 mm	1	1	1	1	0	0
	小 計	3	3	3	3	2	2
合 計		33,378	33,491	33,687	33,902	34,303	34,477

3. 月別口径別有収水量

(単位：m³)

年月	口径	1 3 mm	2 0 mm	2 5 mm	4 0 mm	5 0 mm	7 5 mm	1 0 0 mm	1 5 0 mm	臨時用	湯屋用	合計
令和元年度		3, 830, 754	3, 614, 839	490, 609	527, 130	318, 732	554, 851	284, 079	13, 424	—	35, 867	9, 670, 285
令和2年度		3, 802, 765	3, 747, 044	490, 762	488, 052	282, 428	476, 267	279, 402	10, 858	—	32, 913	9, 610, 491
令和3年度		3, 716, 220	3, 749, 166	454, 034	497, 153	270, 889	329, 796	248, 317	12, 497	—	33, 076	9, 311, 148
令和4年度		3, 436, 849	3, 616, 280	436, 125	485, 114	304, 042	297, 266	296, 564	10, 860	—	29, 954	8, 913, 054
令和5年度		3, 476, 230	3, 694, 036	437, 655	483, 964	324, 098	315, 152	252, 090	13, 918	0	28, 407	9, 025, 550
令和6年度		3, 380, 737	3, 693, 972	444, 871	485, 957	288, 195	276, 625	249, 429	8, 907	0	20, 464	8, 849, 157
月別内訳	4月	282, 785	335, 171	28, 111	33, 464	24, 599	21, 590	19, 150	788	0	3, 062	748, 720
	5月	279, 916	275, 260	44, 398	46, 939	22, 145	18, 663	21, 102	547	0	266	709, 236
	6月	289, 275	340, 721	28, 858	34, 820	25, 278	25, 245	19, 531	350	0	2, 856	766, 934
	7月	279, 046	271, 626	44, 409	47, 077	25, 864	24, 515	27, 362	1, 077	0	277	721, 253
	8月	296, 889	341, 947	30, 991	36, 769	24, 947	24, 168	26, 255	2, 775	0	2, 738	787, 479
	9月	283, 956	272, 880	47, 559	47, 560	21, 356	26, 950	21, 820	984	0	301	723, 366
	10月	286, 374	335, 784	29, 178	34, 748	24, 562	25, 170	22, 073	478	0	2, 430	760, 797
	11月	272, 023	270, 856	44, 316	45, 704	23, 514	25, 106	25, 066	222	0	310	707, 117
	12月	280, 933	341, 595	28, 175	32, 620	25, 414	22, 085	16, 853	661	0	1, 664	750, 000
	1月	281, 656	285, 998	46, 157	46, 756	21, 879	18, 721	13, 804	544	0	346	715, 861
	2月	291, 411	358, 198	28, 173	35, 007	25, 627	23, 430	17, 833	240	0	6, 073	785, 992
	3月	256, 473	263, 936	44, 546	44, 493	23, 010	20, 982	18, 580	241	0	141	672, 402

4. 給水収益及び収納状況（年度末現在）

項目	区分	調 定		収 入		収納率
		件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)	
	令和元年度	204,106	1,984,782,137	189,188	1,843,968,578	92.905%
	令和2年度	194,446	1,867,405,764	179,759	1,732,775,635	92.791%
	令和3年度	205,882	1,912,126,724	191,251	1,780,904,479	93.137%
	令和4年度	184,336	1,623,399,520	169,345	1,491,276,556	91.861%
	令和5年度	208,603	1,808,747,591	190,668	1,678,688,508	92.809%
	令和6年度	210,149	1,841,348,481	191,939	1,682,451,287	91.371%
月別内訳	4月	19,240	154,237,719	69	403,712	
	5月	15,778	148,320,220	20,567	172,080,888	
	6月	19,245	158,094,054	12,724	116,930,027	
	7月	15,731	152,557,069	18,933	157,937,057	
	8月	19,218	162,903,486	18,987	173,581,726	
	9月	15,730	151,736,317	15,339	136,863,434	
	10月	19,249	157,385,943	18,802	174,263,049	
	11月	15,816	149,178,025	16,647	138,781,671	
	12月	19,274	154,541,945	15,955	148,363,381	
	1月	15,779	148,987,116	21,416	180,650,344	
	2月	19,232	161,271,510	13,293	121,321,711	
	3月	15,857	142,135,077	19,207	161,274,287	

(消費税含む)

5. 過年度分の収入及び未収状況（年度末現在）

年度	区分	調 定		収 入		未 収		収納率
		件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)	
	令和元年度	15,742	145,476,724	14,890	137,147,597	852	8,329,127	94.275%
	令和2年度	15,650	147,576,049	14,886	141,108,122	764	6,467,927	95.617%
	令和3年度	15,343	137,123,033	14,614	133,988,452	729	3,134,581	97.714%
	令和4年度	15,144	133,137,267	14,492	130,698,612	652	2,438,655	98.168%
	令和5年度	15,568	133,677,462	14,877	131,564,856	691	2,112,606	98.420%
	令和6年度	18,479	131,493,166	17,866	129,553,161	613	1,940,005	98.525%

(消費税含む)

5-1. 給水停止執行状況表（年度末現在）

年度	件数	予告通知	事前通知	対象	停止	当日解除	後日解除	未解除
令和元年度		1,366	749	254	159	58	82	19
令和2年度		1,052	541	213	145	52	76	16
令和3年度		1,172	735	228	129	40	72	19
令和4年度		992	664	217	132	42	78	13
令和5年度		1,174	778	277	160	55	77	28
令和6年度		1,198	759	273	171	56	87	28

6. 新設開栓状況

(単位：個)

年度 口径	元	2	3	4	5	6
1 3 mm	13	5	23	11	14	21
2 0 mm	128	119	220	278	294	399
2 5 mm	8	7	6	2	2	18
4 0 mm	1	3	0	0	3	0
5 0 mm	1	1	1	0	0	1
7 5 mm	0	0	0	0	0	0
計	151	135	250	291	313	439

7. 開閉栓状況

(単位：件)

年度 種別	元	2	3	4	5	6
新設開栓	151	135	250	291	313	439
既設開栓	2,608	2,416	3,026	2,948	2,941	2,795
使用者変更	806	655	602	606	669	675
閉栓	2,454	1,859	1,835	1,852	1,767	1,928

8. 検定満期による量水器取替状況

(単位：個)

年度 口径	元	2	3	4	5	6
1 3 mm	2,961	2,785	2,505	2,471	2,293	2,399
2 0 mm	1,518	1,738	1,949	1,299	1,718	1,662
2 5 mm	164	130	126	98	78	113
4 0 mm	37	34	19	45	27	21
5 0 mm	12	19	15	9	7	11
7 5 mm	9	9	9	5	1	6
1 0 0 mm	5	5	1	0	2	2
1 5 0 mm	1	0	0	0	0	0
計	4,707	4,720	4,624	3,927	4,126	4,214

9. 給水装置工事施工状況

(単位：個)

月 \ 区分	新 設	増 設	口径変更	止水栓止	合 計
6. 4	9	10	10	5	34
5	24	9	8	6	47
6	13	8	6	12	39
7	31	5	7	5	48
8	30	8	8	3	49
9	21	9	12	40	82
10	19	11	7	6	43
11	27	8	7	27	69
12	49	27	16	16	108
7. 1	20	2	6	36	64
2	20	7	13	2	42
3	24	18	15	4	61
合 計	287	122	115	162	686

9－1. 漏水減免状況表（年度末現在）

年度	件数	減免水量（m ³ ）	減免金額（円）
令和元年度	276	13,497	3,082,608
令和2年度	335	21,374	5,255,740
令和3年度	281	12,233	2,953,508
令和4年度	285	11,832	2,785,721
令和5年度	282	11,858	2,704,290
令和6年度	304	24,660	6,465,499

10. 修理件数の状況

(単位：件)

(1) 年度別修理件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
元年度	32	29	49	42	34	42	45	47	33	28	50	31	462	38.50
2年度	35	29	34	37	54	43	38	36	44	40	42	37	469	39.08
3年度	46	32	42	42	38	36	41	35	34	35	57	32	470	39.17
4年度	25	35	32	40	33	40	36	35	46	35	56	53	466	38.83
5年度	25	44	32	38	44	44	47	35	41	32	58	27	467	38.92
6年度	32	36	44	43	37	28	47	44	39	26	61	39	476	39.67

(単位：件)

(2) 修理件数の内訳（令和6年度）

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配水管	1								1			2	4
補助配水管		1		1	1	1	1	1		1	1	1	9
引込管	4	9	14	16	18	7	15	8	8	4	5	2	110
仕切弁										1			1
消火栓											21		21
消火栓BOX調整										1			1
仕切栓BOX調整			3	2	1	1	2					1	10
空気弁・止水栓BOX調整													0
バルブ												1	1
メーター													0
止水栓不良	26	26	27	20	15	18	28	34	26	18	29	29	296
分水栓				1	1	1	1				5	1	10
舗装				1					1	1			3
空気弁	1											2	3
その他				2	1			1	3				7
計	32	36	44	43	37	28	47	44	39	26	61	39	476
金額	1,808,081	2,876,808	4,497,130	6,371,288	6,707,195	2,316,930	4,352,557	2,921,886	5,994,582	2,143,504	2,877,897	2,962,520	45,830,378

1 1. 分担金収入額（令和6年度）

(ア) 口径別分担金収入明細表（新設）

（単位：円）

月 \ 口径	φ 1 3		φ 2 0		φ 2 5		φ 4 0	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
R6. 4			5	1, 100, 000				
5			6	1, 320, 000				
6			11	2, 420, 000				
7			28	6, 160, 000				
8			31	6, 820, 000	1	396, 000		
9	1	220, 000	31	6, 820, 000				
10	1	220, 000	16	3, 520, 000				
11	1	220, 000	16	3, 520, 000				
12			30	6, 600, 000				
R7. 1	3	660, 000	42	9, 240, 000				
2			5	1, 100, 000	1	396, 000		
3	2	440, 000	45	9, 900, 000	1	396, 000	1	1, 267, 200
計	8	1, 760, 000	266	58, 520, 000	3	1, 188, 000	1	1, 267, 200

（消費税含む）

（単位：円）

月 \ 口径	φ 5 0		φ 7 5		その他		小 計（ア）	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
R6. 4							5	1, 100, 000
5							6	1, 320, 000
6							11	2, 420, 000
7							28	6, 160, 000
8							32	7, 216, 000
9							32	7, 040, 000
10							17	3, 740, 000
11							17	3, 740, 000
12							30	6, 600, 000
R7. 1							45	9, 900, 000
2							6	1, 496, 000
3							49	12, 003, 200
計							278	62, 735, 200

（消費税含む）

(イ) 口径別分担金収入明細表 (口径変更)

(単位：円)

月	口径	φ 13～20		φ 13～25		その他		小計(イ)	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
R6.4						1	871,200	1	871,200
5									
6									
7									
8				1	176,000			1	176,000
9									
10									
11									
12				1	176,000			1	176,000
R7.1									
2						1	871,200	1	871,200
3				1	176,000			1	176,000
計				3	528,000	2	1,742,400	5	2,270,400

※ 20以下の給水分担金は一律のφ13～20の場合はなし。それ以外は差額(消費税含む)

(ウ) 口径別分担金収入明細合計表 (ア+イ)

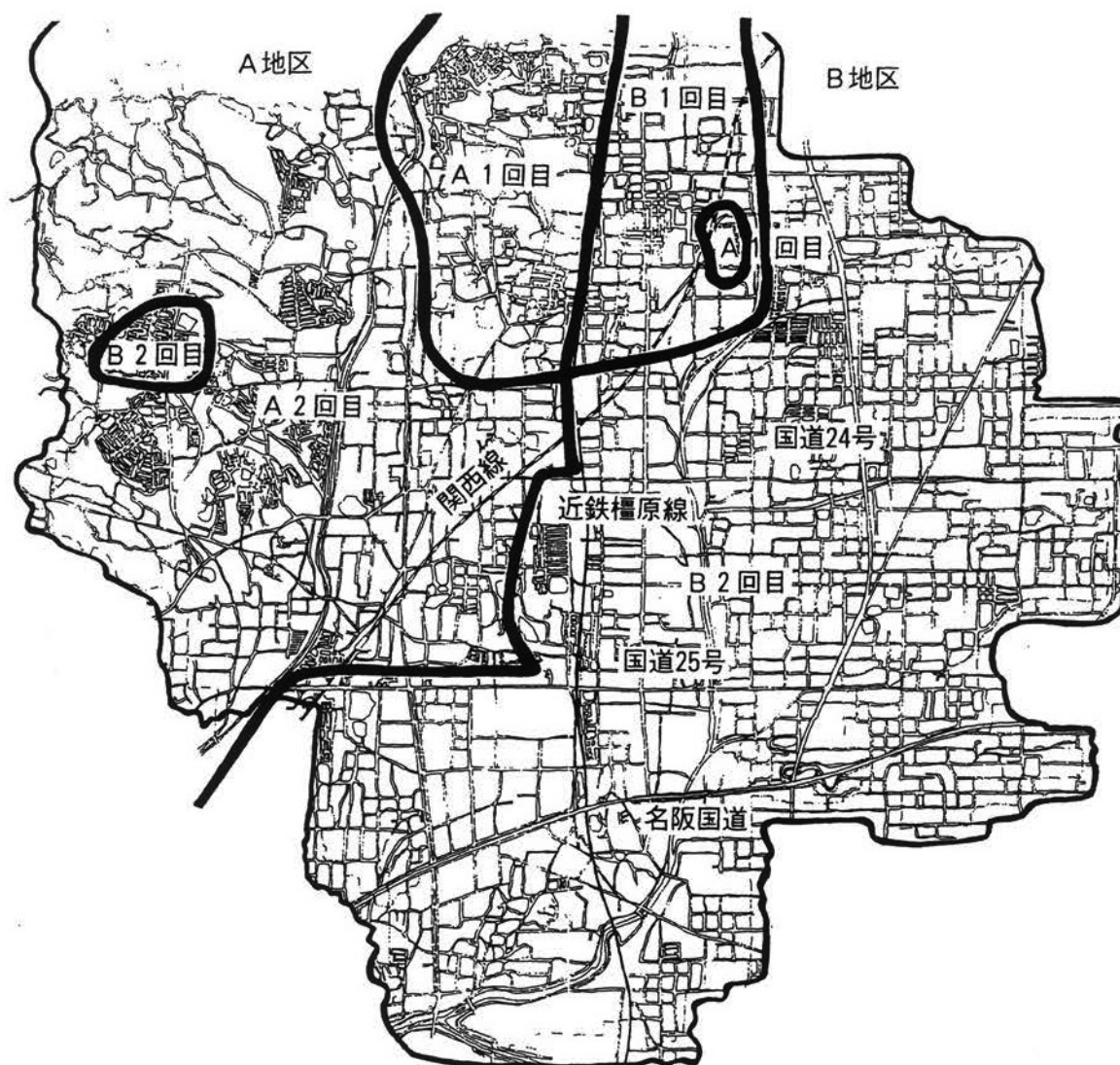
(単位：円)

月	口径	合計(ア+イ)	
		件数	金額
R6.4		6	1,971,200
5		6	1,320,000
6		11	2,420,000
7		28	6,160,000
8		33	7,392,000
9		32	7,040,000
10		17	3,740,000
11		17	3,740,000
12		31	6,776,000
R7.1		45	9,900,000
2		7	2,367,200
3		50	12,179,200
計		283	65,005,600

(消費税含む)

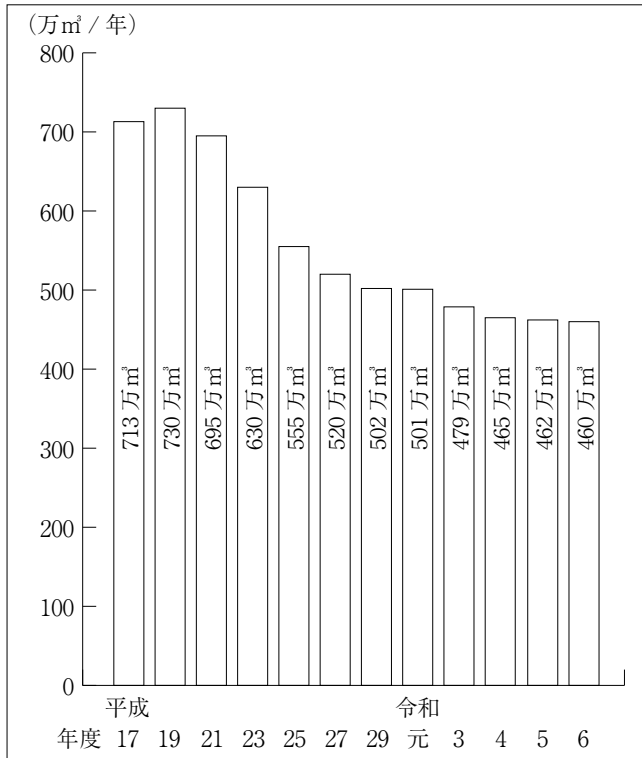
12. 地区別検針・調定サイクル

区分	地 区	検 針 日	調 定 日
毎月検針	大 口 使 用 者	毎 月 7 日	毎 月 1 5 日
	工業団地、大口使用者	毎 月 1 9 日	毎 月 2 7 日
隔月検針	A地区	1回目 調定地区	偶数月 1 日～ 8 日
		2回目 "	" 1 2 日～2 1 日
	B地区	1回目 調定地区	奇数月 1 日～ 8 日
		2回目 "	" 1 2 日～2 1 日

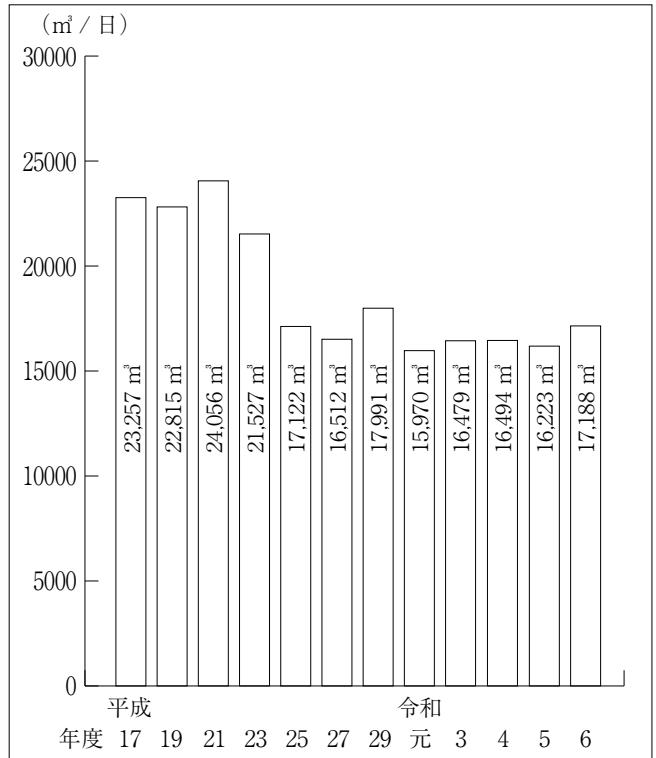


1 3. 県営水道・配水量の推移

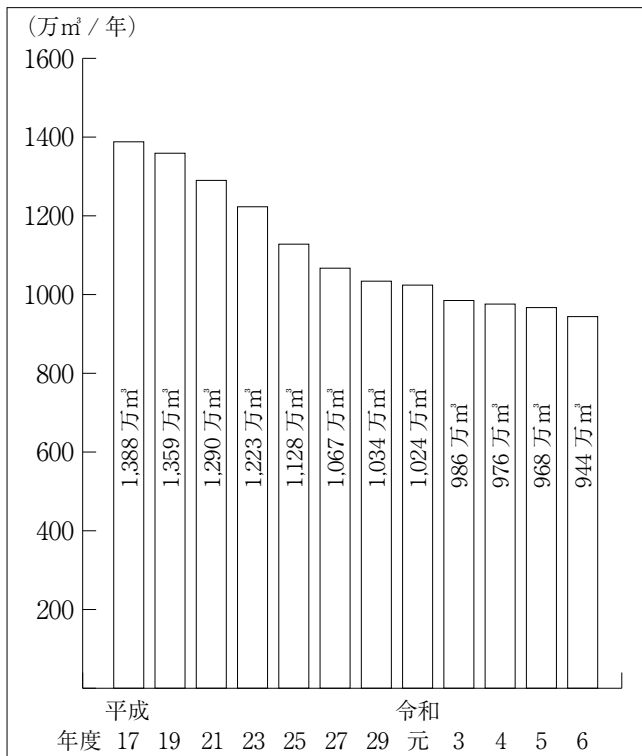
■県営水道年間受水量



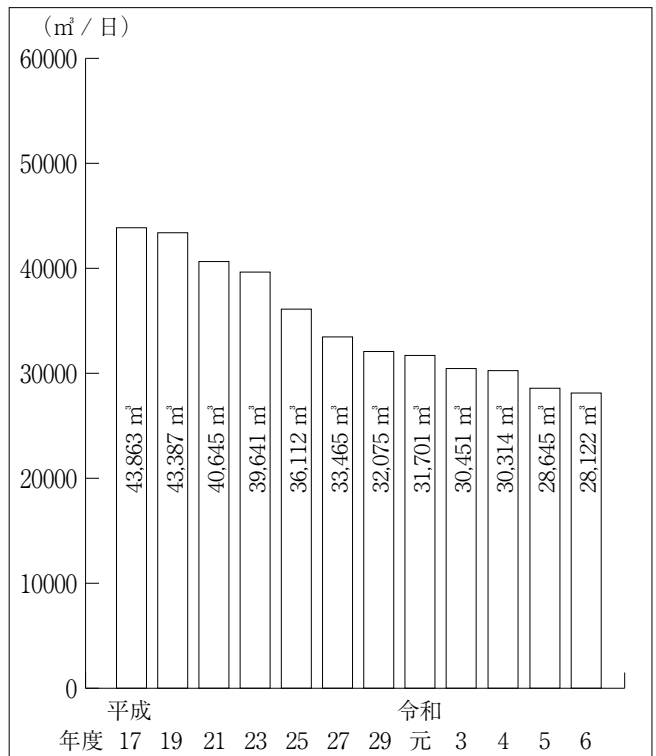
■県営水道 1 日最大受水量



■年間配水量の推移



■ 1 日最大配水量の推移



1 4. 料金調定システムの改善経緯

- 1) 水道創設（昭和17年4月）時の料金調定は、すべて当時の水道課で業務処理が行われていた。

しかし、昭和40年前後からの、大型宅地開発による給水戸数の急増による料金計算業務の拡大に対応するため、料金計算業務の改善と省力化が急務となった。

こうした中で、昭和46年4月に料金計算業務をそれまでの局内処理から、バッチ処理による調定業務の委託を実施し、その後数回にわたってシステムの改善を行い、昭和62年9月には、小型OCR機器（検針データ、料金収納データの入力機器及び検針票、原符の読み取り）が導入されたことにより、今日の料金調定業務の体系的基礎を築いた。

又、料金徴収面では使用者の利便と徴収事務の省力化のために、昭和44年8月に口座振替制を導入する一方、検針業務の隔月制に伴い集金業務も毎月集金から隔月集金制に切り替え、経費の削減と事務改善が図られた。

- 2) 検針業務については、昭和42年当時に5名の検針担当者を配置していたが、拡張事業が第3次から第4次へと移行し、莫大な資金投下によって水道経営が著しく悪化したことにより、諸経費の削減策の一環として、昭和46年4月に毎月検針から隔月検針に改めると同時に、検針業務の民間委託化に踏み切り、現在に至っている。

- 3) しかし、公共下水道の普及が広がるに従い、料金調定業務に占める下水道関連業務の比重が高まるにつれ、これまでのバッチ処理方式では、能力に限界が見えはじめた。他方、転出、転入などによる開閉栓の窓口受付事務や、お客様からの検針や料金関係の問い合わせに対しても、バッチ方式では迅速に対応できないなどの問題点も浮上してきた。

- 4) このような問題は、バッチ処理による料金計算システムでは、多くのプログラムを必要とし、プログラムの着膨れ現象が起きると共に、フロッピーの読み取り、書き込みに時間的ロスが生じてきたことに起因している。

又、料金未収状況や支払状況における最新情報の欠如、使用量等の年間データ保存不可などの欠陥もあり、お客様に対する質的サービスの向上と業務処理の効率化を図る上でも克服すべき課題となっていた。

- 5) こうした経緯を踏まえ、平成6年度より、バッチ処理システムから、オンライン処理システム方式に移行するための全面見直しが進められた。

又、これまで、転出、転入などによる開閉栓の窓口業務は、使用者の給水場所把握のために、お客様番号入りの拡大した手書きの市内地図で対応していた。しかし、オンライン処理システムの移行に伴い、給水場所把握の迅速化と正確性を期すために、お客様番号入りの地図情報システムも導入することになった。

さらに、検針業務についても、検針カード処理方式を廃止し、ハンディターミナル方式に切り替えていくことも決定された。こうして、平成7年4月より、オンライン処理システムに移行するための、プログラムの作成及び入力作業を計算センターへ委託し、平成8年4月より、新調定システムによって料金計算業務を行うこととなった。又、このシステムの変更に併せて、当初の計画通り、地図情報システムの導入やハンディターミナル方式による検針も実施された。これによって、滞納整理、閉栓による精算処理、さらには、検定満期による量水器取替業務の迅速化が可能となると共に、経費の節減やサービスの向上にも大きく寄与することとなった。

- 6) 平成23年度から順次機器を更新し、平成25年度からWINDOWS版クライアントサーバにて運用を開始した。平成27年度12月より、口座振替を磁気テープから伝送に移行した。
- 7) 平成2年度から検針等の機器がハンディターミナルからスマートデバイスに変更となった。
- 8) 金融機関とのデータ伝送について、ISDN回線方式が令和5年12月に終了するため、アンサーデータポート方式に移行した。

15. 電子計算処理業務の稼働状況

(1) 各課電子計算処理業務状況一覧表〔業務課〕

		料金調定	料金収納	給水台帳	企業会計 管理	時間外 勤務手当	旅費	契約管理	業務統計	予算処理 (給与費)	固定資産 台帳管理
オフィスサーバ処理	異動・照会	開閉栓、 所有者変更、 水栓情報更新 新照会、情報 需要家情報 更新照会、情 報更新照会 検針調定情報 更新照会	請求方法変更、 送付先変更、 入金に伴う消込、入金 状況照会、口座 座情報照会	水栓情報、申請者情報、 指定工事業者情報、 水栓・申請者履歴 情報、新設・増設・口径 変更・止水栓止・撤去・ 受水槽の異動、給水分 担金等の異動、修繕工 事伝票の作成	収入予算執行照 会、支出予算執 行照会、 未収金照会、 補助元帳照会、 債権者支払状況 照会、入金・支 出・振替データ 入力						
	帳票出力	開閉栓日報、 調定報告書、 異動リスト、 臨時集計表、 等	納付書、催告 書、督促状、 滞納者一覧 表、日計表、 収納状況報告 書、臨時集 計表、等	給水受付件数報告書、 受水槽一覧表							
パソコン処理	異動・照会					給料・手当 等、個人デー タの登録・変 更	等級等個人 のデータ登 録・変更	契約名・契約 者名・金額等 のデータ入 力・変更	給料・手当・ 等級・勤務年 数・昇給等個 人データの入 力・変更	給料・手当・ 等級・勤務年 数・昇給等個 人データの入 力・変更	所得除却試 算のデータ入 力
	帳票出力	調定明細書	収納報告書			金額計算	金額の計算	契約状況一 覧表	業務統計の 作成	予算作成	固定資産除 却報告書、 固定資産総 括表、部門別 固定資産集 計表

〔業務課〕

	貯蔵品管理	有収水量及び調定額、月別口径別集計表	企業債台帳	財務諸表・集計	予算集計	金融機関別集計
パソコン処理	異動・照会 入出庫データの入力	水量、調定のデータ入力	償還日データ入力	予算額の入力	予算要求額の入力	金融機関別 入出金額の入力
	入庫伝票、 量水器入庫評価表、出庫 伝票、量水器出庫評価 表、貯蔵品保有個数及び 振替金額明細表	口径別料金調定表	企業債償還明細書	財務諸表精算表、会計資 金計画	予算査定表	日報、月報

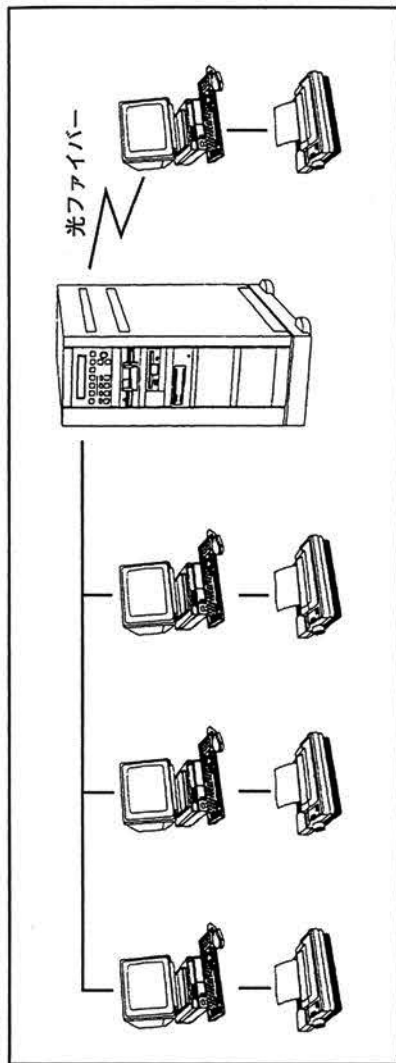
〔工務課〕

	工事設計・積算、 新工事設計・積算	修繕工事積算	管網計	修繕工事費の納入通知 書兼領収書の発行処理	その他の業務
パソコン処理	異動・照会 単価改定、積算、数量計 算 設計書	単価改定、土量計算、積 算、業者異動 工事費積算書、施工明細 書	配水データ処理	修繕工事費の登録、変更 修繕工事費の登録、変更 給水戸番図の表示	

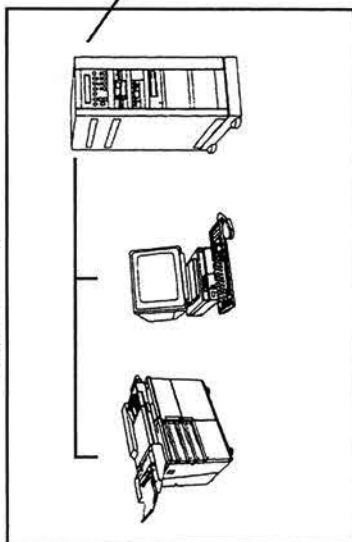
〔工務課浄水場〕

	浄水管理システム	給水栓日報及び 浄水統計システム
パソコン処理	異動・照会 日報入力・修正 月報表示・グラフ表示 勤務者登録・修正・削除 日報・月報管理 データ管理	検査日報入力・修正 採水箇所入力・修正・削 除・表示順変更 月間統計表グラフ表示 年間統計表グラフ表示
	日報 データ 月報	検査日報出力 月間統計表全出力・選択出力 年間統計表全出力・選択出力

会計システム

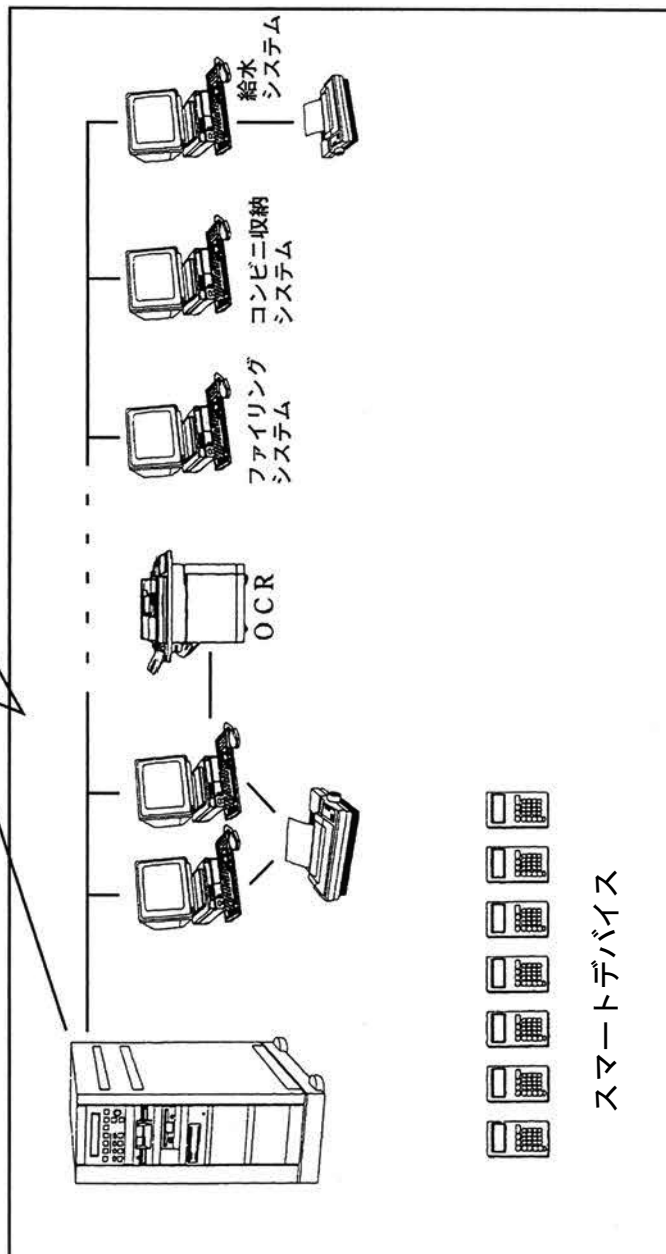


計算センター

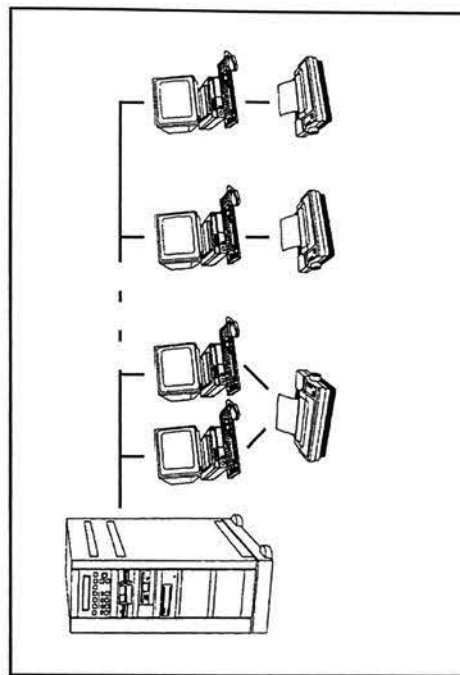


INS64

調定収納システム



地図システム



16. 水質検査

(ア) 北郡山浄水場内給水栓水質検査結果

	検 査 項 目	最大値	最小値	平均値	基 準 値
1	一 般 細 菌	0	0	0	100個/ml以下
2	大 腸 菌	不検出	不検出	不検出	検出しないこと
3	カドミウム及びその化合物			0.0003未満	0.003mg/l以下
4	水 銀 及びその化合物			0.00005未満	0.0005mg/l以下
5	セ レ ン 及びその化合物			0.001未満	0.01mg/l以下
6	鉛 及びその化合物			0.001未満	0.01mg/l以下
7	砒 素 及びその化合物			0.001未満	0.01mg/l以下
8	六価クロム化合物			0.005未満	0.05mg/l以下
9	亜硝酸態窒素			0.004未満	0.04mg/l以下
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01mg/l以下
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.52	0.52	0.52	10mg/l以下
12	フッ素及びその化合物	0.06	0.06	0.06	0.8mg/l以下
13	ホウ素及びその化合物			0.01	1.0mg/l以下
14	四 塩 化 炭 素			0.0002未満	0.002mg/l以下
15	1,4-ジオキサン			0.005未満	0.05mg/l以下
16	シス-1,2-ジクロロエチン及びトランス-1,2-ジクロロエチン			0.002未満	0.04mg/l以下
17	ジクロロメタン			0.001未満	0.02mg/l以下
18	テトラクロロエチレン			0.001未満	0.01mg/l以下
19	トリクロロエチレン			0.001未満	0.03mg/l以下
20	ペ ン ゼ ン			0.001未満	0.01mg/l以下
21	塩 素 酸	0.18	0.06未満	0.06	0.6mg/l以下
22	ク ロ ロ 酢 酸	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02mg/l以下
23	ク ロ ロ ホ ル ム	0.003	0.001未満	0.00225	0.06mg/l以下
24	ジ ク ロ ロ 酢 酸	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.03mg/l以下
25	ジブロモクロロメタン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.1mg/l以下
26	臭 素 酸	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01mg/l以下
27	総トリハロメタン	0.005	0.001未満	0.005	0.1mg/l以下
28	トリクロロ酢酸	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.03mg/l以下
29	ブロモジクロロメタン	0.002	0.001未満	0.002	0.03mg/l以下
30	ブ ロ モ ホ ル ム	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.09mg/l以下
31	ホルムアルデヒド	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.08mg/l以下
32	亜 鉛 及びその化合物			0.005未満	1.0mg/l以下
33	アルミニウム及びその化合物			0.03	0.2mg/l以下
34	鉄 及びその化合物	0.007	0.005未満	0.005未満	0.3mg/l以下
35	銅 及びその化合物			0.005未満	1.0mg/l以下
36	ナトリウム及びその化合物	17.5	17.5	17.5	200mg/l以下
37	マンガン及びその化合物			0.001未満	0.05mg/l以下
38	塩 化 物 イ オ ン	7.3	6.2	6.6	200mg/l以下
39	カルシウム、マグネシウム等(総硬度)	70	62	67.25	300mg/l以下
40	蒸 発 残 留 物	196	160	170	500mg/l以下
41	陰イオン界面活性剤			0.02未満	0.2mg/l以下
42	ジェオスミン	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.00001mg/l以下
43	2-メチルイソボルネオール	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.00001mg/l以下
44	非イオン界面活性剤			0.005未満	0.02mg/l以下
45	フェノール類			0.0005未満	0.005mg/l以下
46	全有機炭素(TOC)	0.4	0.3	0.35	3.0mg/l以下
47	p H 値	7.3	7.1	7.175	5.8~8.6
48	味	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
49	臭 気	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
50	色 度	0.5未満	0.5未満	0.5未満	5度以下
51	濁 度	0.1未満	0.1未満	0.1未満	2度以下

分析機関：奈良広域水質検査センター組合
年4回分析の検査結果です。

平均値のみの数値は年1回分析結果です。

(イ) 昭和浄水場内給水栓水質検査結果

	検 査 項 目	最大値	最小値	平均値	基 準 値
1	一 般 細 菌	0	0	0	100個/ml以下
2	大 腸 菌	不検出	不検出	不検出	検出しないこと
3	カドミウム及びその化合物			0.0003未満	0.003mg/l以下
4	水 銀 及びその化合物			0.00005未満	0.0005mg/l以下
5	セ レ ン 及びその化合物			0.001未満	0.01mg/l以下
6	鉛 及びその化合物			0.001未満	0.01mg/l以下
7	砒 素 及びその化合物	0.003	0.002	0.0025	0.01mg/l以下
8	六価クロム化合物			0.005未満	0.05mg/l以下
9	亜硝酸態窒素			0.004未満	0.04mg/l以下
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01mg/l以下
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.13	0.13	0.13	10mg/l以下
12	フッ素及びその化合物	0.00	0.05未満	0.05未満	0.8mg/l以下
13	ホウ素及びその化合物			0.06	1.0mg/l以下
14	四 塩 化 炭 素			0.0002未満	0.002mg/l以下
15	1,4-ジオキサン			0.005未満	0.05mg/l以下
16	トランス-1,2-ジクロロエチン及びトランス-1,2-ジクロロエチン			0.002未満	0.04mg/l以下
17	ジクロロメタン			0.001未満	0.02mg/l以下
18	テトラクロロエチレン			0.001未満	0.01mg/l以下
19	トリクロロエチレン			0.001未満	0.03mg/l以下
20	ペ ン ゼ ン			0.001未満	0.01mg/l以下
21	塩 素 酸	0.35	0.2	0.27	0.6mg/l以下
22	ク ロ ロ 酢 酸	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02mg/l以下
23	ク ロ ロ ホ ル ム	0.019	0.014	0.016	0.06mg/l以下
24	ジ ク ロ ロ 酢 酸	0.006	0.004	0.005	0.03mg/l以下
25	ジブロモクロロメタン	0.007	0.005	0.006	0.1mg/l以下
26	臭 素 酸	0.003	0.001	0.002	0.01mg/l以下
27	総トリハロメタン	0.039	0.028	0.03325	0.1mg/l以下
28	トリクロロ酢酸	0.011	0.008	0.009	0.03mg/l以下
29	ブロモジクロロメタン	0.013	0.009	0.01075	0.03mg/l以下
30	ブ ロ モ ホ ル ム	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.09mg/l以下
31	ホルムアルデヒド	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.08mg/l以下
32	亜 鉛 及びその化合物			0.005未満	1.0mg/l以下
33	アルミニウム及びその化合物			0.03	0.2mg/l以下
34	鉄 及びその化合物	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.3mg/l以下
35	銅 及びその化合物			0.005未満	1.0mg/l以下
36	ナトリウム及びその化合物	35.2	35.2	35.2	200mg/l以下
37	マンガン及びその化合物			0.001未満	0.05mg/l以下
38	塩 化 物 イ オ ン	27.4	25.3	26.2	200mg/l以下
39	カルシウム、マグネシウム等(総硬度)	61	59	59.75	300mg/l以下
40	蒸 発 残 留 物	228	160	189.75	500mg/l以下
41	陰イオン界面活性剤			0.02未満	0.2mg/l以下
42	ジェオスミン	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.00001mg/l以下
43	2-メチルイソボルネオール	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.00001mg/l以下
44	非イオン界面活性剤			0.005未満	0.02mg/l以下
45	フェノール類			0.0005未満	0.005mg/l以下
46	全有機炭素 (TOC)	0.9	0.8	0.875	3.0mg/l以下
47	p H 値	7.5	7.3	7.4	5.8~8.6
48	味	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
49	臭 気	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
50	色 度	1未満	1未満	1未満	5度以下
51	濁 度	0.1未満	0.1未満	0.1未満	2度以下

分析機関：奈良広域水質検査センター組合
年4回分析の検査結果です。

平均値のみの数値は年1回分析結果です。

北郡山浄水場系井戸水質検査結果

試験項目		単位	水質基準値	1号井	4号井	5号井	6号井	7号井	8号井	9号井	11号井	12号井	13号井	着水井
採水日				4月4日		6月13日	5月9日			7月4日		8月1日		9月5日
一般細菌		個/ml	100以下	0		0	0			0		0		>300
大腸菌			検出しないこと	不検出		不検出	不検出			不検出		不検出		不検出
カドミウム及びその化合物		mg/l	0.003以下	---		---	---			---		---		0.0003未満
水銀及びその化合物		mg/l	0.0005以下	---		---	---			---		---		0.00005未満
セレン及びその化合物		mg/l	0.01以下	---		---	---			---		---		0.001未満
鉛及びその化合物		mg/l	0.01以下	---		---	---			---		---		0.001未満
ヒ素及びその化合物		mg/l	0.01以下	---		---	---			---		---		0.001未満
六価クロム及びその化合物		mg/l	0.05以下	---		---	---			---		---		0.002未満
亜硝酸態窒素		mg/l	0.04以下	---		---	---			---		---		0.004未満
硝酸態・亜硝酸態窒素		mg/l	10以下	---		---	---			---		---		0.02未満
アモニウム及びその化合物		mg/l	8以下	---		---	---			---		---		0.06
シアン化物イオン及び塩化シアン		mg/l	0.01以下	---		---	---			---		---		0.001未満
ホウ素及びその化合物		mg/l	1.0以下	---		---	---			---		---		0.01
四塩化炭素		mg/l	0.002以下	0.0002未満		0.0002未満	0.0002未満			0.0002未満		0.0002未満		0.0002未満
1,4-ジオキサン		mg/l	0.05以下	0.005未満		0.005未満	0.005未満			0.005未満		0.005未満		0.005未満
ジ/トラフス-1,2-ジクロロエチン		mg/l	0.04以下	0.002未満		0.002未満	0.002未満			0.002未満		0.002未満		0.002未満
ジクロロメタン		mg/l	0.02以下	0.001未満		0.001未満	0.001未満			0.001未満		0.001未満		0.001未満
テトラクロロエチレン		mg/l	0.01以下	0.001未満		0.001未満	0.001未満			0.001未満		0.001未満		0.001未満
トリクロロエチレン		mg/l	0.03以下	0.001未満		0.001未満	0.001未満			0.001未満		0.001未満		0.001未満
ベンゼン		mg/l	0.01以下	0.001未満		0.001未満	0.001未満			0.001未満		0.001未満		0.001未満
亜鉛及びその化合物		mg/l	1.0以下	---		---	---			---		---		0.005未満
アルミニウム及びその化合物		mg/l	0.2以下	---		---	---			---		---		0.01未満
鉄及びその化合物		mg/l	0.3以下	1.6		4.2	0.72			4.7		0.9		2.50
銅及びその化合物		mg/l	1.0以下	---		---	---			---		---		0.005未満
マンガン及びその化合物		mg/l	0.05以下	0.67		0.57	0.55			0.65		0.42		0.56
ナトリウム及びその化合物		mg/l	200以下	---		---	---			---		---		16.6
硬度(Ca,Mg)		mg/l	300以下	---		---	---			---		---		66
蒸発残留物		mg/l	500以下	168		192	174			215		151		181
陰イオン界面活性剤		mg/l	0.2以下	---		---	---			---		---		0.02未満
非イオン界面活性剤		mg/l	0.02以下	---		---	---			---		---		0.005未満
ジェオスミン		mg/l	0.00001以下	---		---	---			---		---		0.000001未満
2-メチルレインボルネオール		mg/l	0.00001以下	---		---	---			---		---		0.000001未満
フェノール類		mg/l	0.005以下	---		---	---			---		---		0.0005未満
有機物(TOC)		mg/l	3以下	0.4		0.6	0.5			0.7		0.3		0.6
塩化物イオン		mg/l	200以下	4.00		7.5	3.10			12.40		2.90		5.00
pH値			5.8~8.6	7.2		6.8	7.4			6.8		7.3		7.1
味			異常でないこと	---		---	---			---		---		---
臭気			異常でないこと	硫化水素臭		硫化水素臭	硫化水素臭			硫化水素臭		硫化水素臭		硫化水素臭
色度		度	5以下	15.2		20.1	10.0			33.1		12.8		28.7
濁度		度	2以下	0.7		3.2	0.5			5.6		0.2		1.5
電気伝導度		μS/cm		0.58		0.36	1.04			0.37		0.54		0.72
アンモニア態窒素		mg/l		181		228	222			281		163		203

昭和浄水場系井戸水質検査結果

その1

試験項目	単位	水質基準値	1号井 4月4日	2号井 5月9日	3号井 6月13日	4号井	5号井 7月4日	6号井 8月1日	7号井	8号井 9月5日	9号井	10号井	11号井
採水日													
一般細菌	個/ml	100以下	0	2	0		6	18		0			
大腸菌		検出しないこと	不検出	不検出	不検出		不検出	不検出		不検出			
カドミウム及びその化合物	mg/l	0.003以下	---	---	---		---	---		---			
水銀及びその化合物	mg/l	0.0005以下	---	---	---		---	---		---			
セレン及びその化合物	mg/l	0.01以下	---	---	---		---	---		---			
鉛及びその化合物	mg/l	0.01以下	---	---	---		---	---		---			
ヒ素及びその化合物	mg/l	0.01以下	0.010	0.010	0.011		0.007	0.005		0.009			
六価クロム及びその化合物	mg/l	0.05以下	---	---	---		---	---		---			
亜硝酸態窒素	mg/l	0.04以下	---	---	---		---	---		---			
硝酸態・亜硝酸態窒素	mg/l	10以下	---	---	---		---	---		---			
フッ素及びその化合物	mg/l	0.8以下	---	---	---		---	---		---			
シアニ化物イオン及び塩化シアニ	mg/l	0.01以下	---	---	---		---	---		---			
ホウ素及びその化合物	mg/l	1.0以下	---	---	---		---	---		---			
四塩化炭素	mg/l	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満		0.0002未満	0.0002未満		0.0002未満			
1,4-ジオキサン	mg/l	0.05以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満		0.005未満	0.005未満		0.005未満			
ジ/トランス-1,2-ジクロロエレン	mg/l	0.04以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満		0.002未満	0.002		0.002未満			
ジクロロメタン	mg/l	0.02以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満		0.001未満	0.001未満		0.001未満			
テトラクロロエチレン	mg/l	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満		0.001未満	0.001未満		0.001未満			
トリクロロエチレン	mg/l	0.03以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満		0.001未満	0.001未満		0.001未満			
ベンゼン	mg/l	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満		0.001未満	0.001未満		0.001未満			
亜鉛及びその化合物	mg/l	1.0以下	---	---	---		---	---		---			
アルミニウム及びその化合物	mg/l	0.2以下	---	---	---		---	---		---			
鉄及びその化合物	mg/l	0.3以下	0.26	0.52	0.51		0.8	0.89		0.44			
銅及びその化合物	mg/l	1.0以下	---	---	---		---	---		---			
マンガン及びその化合物	mg/l	0.05以下	0.17	0.3	0.37		0.27	0.47		0.3			
ナトリウム及びその化合物	mg/l	200以下	---	---	---		---	---		---			
硬度 (Ca,Mg)	mg/l	300以下	---	---	---		---	---		---			
蒸発残留物	mg/l	500以下	713	223	455		254	259		270			
陰イオン界面活性剤	mg/l	0.2以下	---	---	---		---	---		---			
非イオン界面活性剤	mg/l	0.02以下	---	---	---		---	---		---			
ジオクサミン	mg/l	0.0001以下	---	---	---		---	---		---			
2-メチルインボルネオール	mg/l	0.0001以下	---	---	---		---	---		---			
フェノール類	mg/l	0.005以下	---	---	---		---	---		---			
有機物(TOC)	mg/l	3以下	2.1	1.3	2.1		1.3	1.5		1.6			
塩化物イオン	mg/l	200以下	311	15	92.5		11.5	16.5		19.9			
pH値		5.8~8.6	7.9	7.6	7.6		7.6	7.5		7.6			
味		異常でないこと	---	---	---		---	---		---			
臭気		異常でないこと	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭		硫化水素臭	硫化水素臭		硫化水素臭			
色度	度	5以下	15.2	8.7	13.4		11	11.8		8.4			
濁度	度	2以下	0.2	0.1未満	0.6		1.3	1.9		0.2			
電気伝導度	μs/cm		1.41	2.23	1.67		1.49	2.08		2.98			
アンモニア態窒素	mg/l		1204	285	599		304	321		326.00			

昭和浄水場系井戸水質検査結果

その2

試験項目		単位	水質基準値	12号井	13号井	14号井	15号井	16号井	17号井	18号井	19号井	20号井	21号井	着水井
採水日				12月5日	4月4日	5月9日	6月13日	7月4日	8月1日	9月5日	10月10日	11月7日	12月5日	6月13日
一般細菌		個/ml	100以下	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	54
大腸菌			検出しないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物		mg/l	0.003以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.0003未満
水銀及びその化合物		mg/l	0.0005以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.00005未満
セレン及びその化合物		mg/l	0.01以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.001未満
鉛及びその化合物		mg/l	0.01以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.001未満
ヒ素及びその化合物		mg/l	0.01以下	0.008	0.004	0.004	0.002	0.006	0.009	0.004	0.011	0.004	0.002	0.006
六価クロム及びその化合物		mg/l	0.05以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.002未満
亜硝酸態窒素		mg/l	0.04以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.004未満
硝酸態・亜硝酸態窒素		mg/l	10以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.02未満
フッ素及びその化合物		mg/l	0.8以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.05未満
シアン化物イオン及び塩化シアン		mg/l	0.01以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.001未満
ホウ素及びその化合物		mg/l	1.0以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.09
四塩化炭素		mg/l	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
1,4-ジオキサン		mg/l	0.05以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
ジクロロエチレン		mg/l	0.04以下	0.007	0.002未満	0.002未満	0.004	0.004	0.002未満	0.002未満	0.002	0.002未満	0.004	0.002未満
ジクロロメタン		mg/l	0.02以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
テトラクロロエチレン		mg/l	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
トリクロロエチレン		mg/l	0.03以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ベンゼン		mg/l	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
亜鉛及びその化合物		mg/l	1.0以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.005未満
アルミニウム及びその化合物		mg/l	0.2以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.01未満
鉄及びその化合物		mg/l	0.3以下	1.1	1.5	0.98	5.9	0.67	0.39	1.2	0.35	1	2.1	1.40
銅及びその化合物		mg/l	1.0以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.005未満
マンガン及びその化合物		mg/l	0.05以下	0.36	0.53	0.67	1.5	0.34	0.21	0.43	0.22	0.37	0.6	0.53
ナトリウム及びその化合物		mg/l	200以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	42.2
硬度 (Ca,Mg)		mg/l	300以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	73
蒸発残留物		mg/l	500以下	203	292	364	286	186	188	199	227	174	201	265
陰イオン界面活性剤		mg/l	0.2以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.02未満
非イオン界面活性剤		mg/l	0.02以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.005未満
ジエオスミン		mg/l	0.00001以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.000001未満
2-メチルインボルネオール		mg/l	0.00001以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.000001未満
フェノール類		mg/l	0.005以下	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.0005未満
有機物(TOC)		mg/l	3以下	1.3	1.7	0.9	1.6	0.8	1.1	0.8	13.3	1	1	1.2
塩化物イオン		mg/l	200以下	3.9	44.2	90.9	24.6	3.1	2	3.7	2.1	2.5	7.2	25.2
pH値			5.8~8.6	7.5	7.7	7.6	6.9	7.5	7.6	7.4	7.8	7.3	7.2	7.4
味			異常でないこと	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
臭気			異常でないこと	タール臭	硫化水素臭	タール臭	タール臭	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭	タール臭	硫化水素臭	硫化水素臭	タール臭
色度		度	5以下	14.4	19.8	14.5	41.9	7.1	7.8	15.3	15.0	13.3	17.2	21.6
濁度		度	2以下	0.5	2.0	2.8	17.4	0.1	0.1未満	0.4	1.2	3.0	1.3	1.7
電気伝導度		μs/cm		2.19	1.93	2.35	0.69	1.36	1.99	1.64	1.67	1.56	1.13	1.38
アンモニア態窒素		mg/l		219	396.00	557.00	412.00	190	191	215	307	184	231	336

17. 原水取水量（地下水）

（ア）北郡山浄水場

年度別及び月別原水取水量

（単位：m³）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4 月	150,922	145,209	123,175	126,612	105,889	105,537
5 月	161,267	149,875	140,467	129,793	114,089	113,364
6 月	155,933	133,497	133,326	128,416	110,119	110,810
7 月	159,460	114,087	148,697	129,387	115,853	118,665
8 月	163,620	94,089	141,751	132,474	111,298	122,808
9 月	158,285	116,934	131,973	125,344	107,059	112,979
10 月	162,126	149,981	133,583	128,748	108,349	117,105
11 月	155,813	142,586	130,471	115,951	103,802	112,034
12 月	160,769	144,648	132,741	57,441	106,829	117,768
1 月	156,079	143,769	128,411	104,283	108,662	114,790
2 月	138,194	124,534	108,803	87,677	103,476	85,170
3 月	148,046	127,506	126,902	98,532	107,162	85,874
合 計	1,870,514	1,586,715	1,580,300	1,364,658	1,302,587	1,316,904

(イ) 昭和浄水場

年度別及び月別原水取水量

(単位：m³)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4 月	330,046	359,444	371,896	327,342	340,408	333,880
5 月	335,328	375,032	382,738	345,012	352,892	341,178
6 月	309,732	387,186	359,720	353,740	339,266	335,420
7 月	309,504	383,796	360,682	353,906	361,986	343,228
8 月	331,552	392,460	349,686	358,763	353,226	327,466
9 月	326,470	353,066	321,328	340,288	348,128	329,338
10 月	354,244	368,616	332,640	357,090	361,047	333,152
11 月	352,234	361,316	308,278	345,371	346,790	314,756
12 月	366,592	375,206	323,736	374,826	375,120	343,608
1 月	329,468	355,046	304,484	353,782	342,208	333,914
2 月	323,116	327,758	307,126	322,152	316,490	314,678
3 月	368,560	388,058	312,088	362,290	334,060	293,024
合 計	4,036,846	4,426,984	4,034,402	4,194,562	4,171,621	3,943,642

(ウ) 原水総取水量

年度別及び月別総原水取水量

(単位：m³)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4 月	480,968	504,653	495,071	453,954	446,297	439,417
5 月	496,595	524,907	523,205	474,805	466,981	454,542
6 月	465,665	520,683	493,046	482,156	449,385	446,230
7 月	468,964	497,883	509,379	483,293	477,839	461,893
8 月	495,172	486,549	491,437	491,237	464,524	450,274
9 月	484,755	470,000	453,301	465,632	455,187	442,317
10 月	516,370	518,597	466,223	485,838	469,396	450,257
11 月	508,047	503,902	438,749	461,322	450,592	426,790
12 月	527,361	519,854	456,477	432,267	481,949	461,376
1 月	485,547	498,815	432,895	458,065	450,870	448,704
2 月	461,310	452,292	415,929	409,829	419,966	399,848
3 月	516,606	515,564	438,990	460,822	441,222	378,898
合 計	5,907,360	6,013,699	5,614,702	5,559,220	5,474,208	5,260,546

18. 配 水 量

(ア) 北郡山浄水場

年度別及び月別配水量

(単位：m³)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4 月	140,377	129,566	120,886	125,386	124,634	122,538
5 月	144,098	133,200	131,621	128,053	131,859	125,960
6 月	137,869	129,713	128,779	126,093	126,404	121,962
7 月	141,700	137,938	138,593	127,291	129,471	126,116
8 月	143,126	143,310	135,788	128,276	125,636	129,836
9 月	142,478	139,416	129,555	122,692	118,393	122,873
10 月	148,138	141,849	132,781	126,805	126,716	127,693
11 月	142,373	132,441	129,766	116,028	118,938	122,860
12 月	145,537	135,875	132,930	90,241	122,235	131,035
1 月	142,771	136,487	128,379	118,608	127,275	132,189
2 月	128,253	121,686	110,324	106,315	120,014	108,982
3 月	133,565	129,851	127,376	116,291	124,459	117,534
合 計	1,690,285	1,611,332	1,546,778	1,432,079	1,496,034	1,489,578

(イ) 昭和浄水場（矢田山流量含む）
年度別及び月別配水量

(単位：m³)

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
４ 月	696,886	697,916	688,287	664,649	659,185	651,519
５ 月	722,389	725,446	713,944	688,593	686,089	668,074
６ 月	705,101	729,521	701,018	684,918	661,082	650,811
７ 月	735,698	742,035	720,200	701,426	701,873	688,579
８ 月	754,233	797,209	711,793	704,898	699,111	680,528
９ 月	718,404	733,707	676,247	686,248	680,297	649,596
１０ 月	728,367	752,298	705,294	712,464	704,401	672,466
１１ 月	702,310	723,911	677,121	683,885	676,540	650,044
１２ 月	730,013	751,530	703,993	761,062	716,700	681,448
１ 月	694,093	735,078	692,411	703,774	691,227	661,651
２ 月	654,908	640,905	632,941	633,997	634,303	617,611
３ 月	706,185	707,593	690,082	699,953	670,392	673,362
合 計	8,548,587	8,737,149	8,313,331	8,325,867	8,181,200	7,945,689

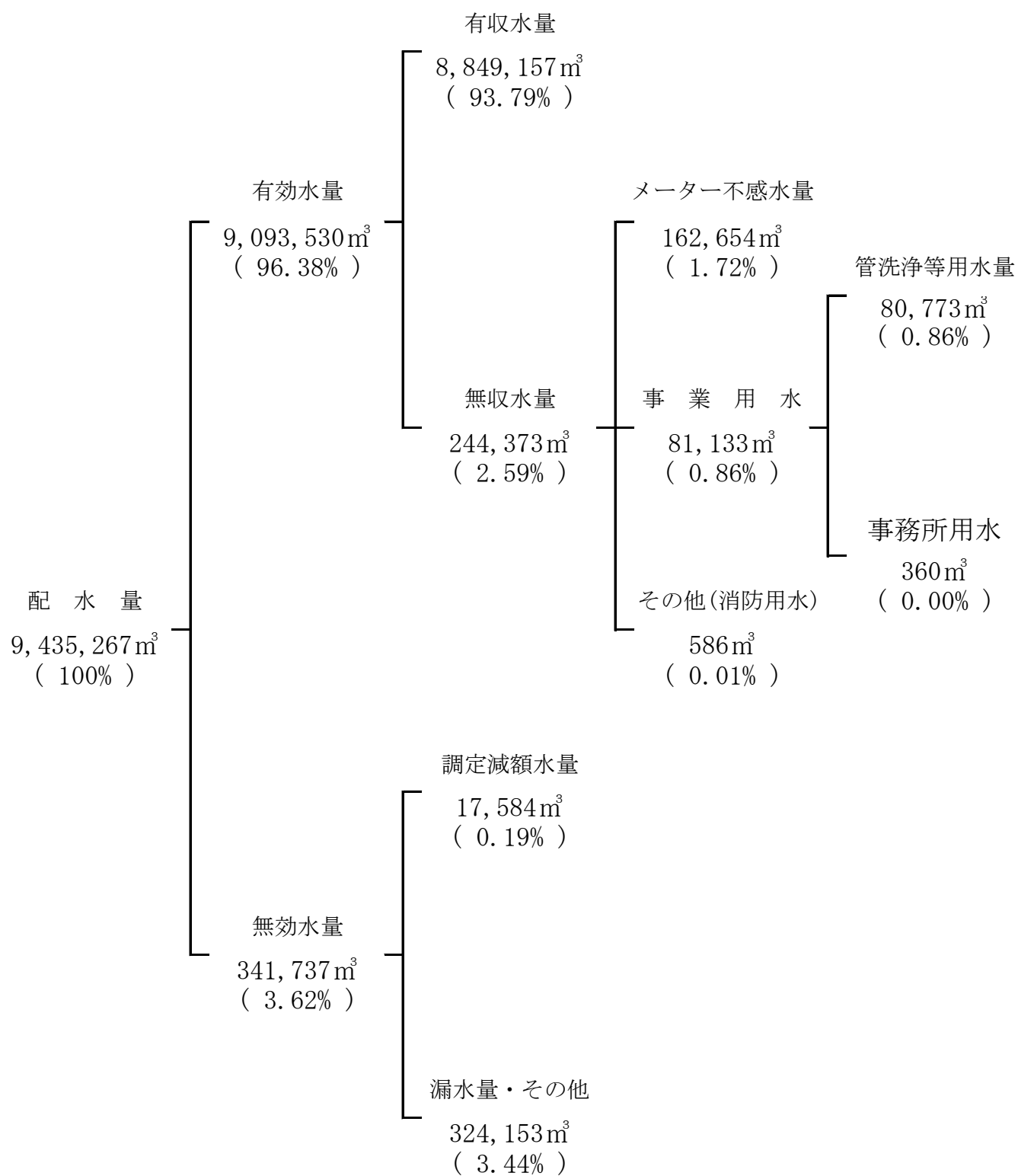
(ウ) 総配水量

年度別及び月別総配水量

(単位：m³)

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
４ 月	837,263	827,482	809,173	790,035	783,819	774,057
５ 月	866,487	858,646	845,565	816,646	817,948	794,034
６ 月	842,970	859,234	829,797	811,011	787,486	772,773
７ 月	877,398	879,973	858,793	828,717	831,344	814,695
８ 月	897,359	940,519	847,581	833,174	824,747	810,364
９ 月	860,882	873,123	805,802	808,940	798,690	772,469
１０ 月	876,505	894,147	838,075	839,269	831,117	800,159
１１ 月	844,683	856,352	806,887	799,913	795,478	772,904
１２ 月	875,550	887,405	836,923	851,303	838,935	812,483
１ 月	836,864	871,565	820,790	822,382	818,502	793,840
２ 月	783,161	762,591	743,265	740,312	754,317	726,593
３ 月	839,750	837,444	817,458	816,244	794,851	790,896
合 計	10,238,872	10,348,481	9,860,109	9,757,946	9,677,234	9,435,267
１日最大 配水量	8月3日 32,075	8月24日 32,907	6月9日 30,451	12月12日 30,314	7月18日 28,645	8月1日 28,122
１日平均 配水量	28,323	28,352	27,014	26,734	26,441	25,850

(エ) 総配水量の内訳



(オ) 県水総受水量

年度別及び月別総受水量

(単位：m³)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4 月	405,702	393,145	376,447	372,352	368,119	368,362
5 月	401,204	385,458	388,323	380,674	383,438	375,035
6 月	444,575	406,912	397,018	368,473	367,655	361,414
7 月	447,680	430,510	406,718	390,034	388,222	389,976
8 月	466,401	501,460	408,893	392,972	398,514	397,728
9 月	452,936	497,645	395,565	388,287	382,820	366,194
10 月	410,491	427,823	409,074	400,248	395,128	389,677
11 月	408,019	432,925	396,443	382,903	376,613	383,652
12 月	391,649	419,271	409,876	442,567	390,314	386,583
1 月	416,106	436,384	422,516	397,958	400,403	388,068
2 月	400,024	419,089	360,289	359,356	373,665	358,520
3 月	362,109	350,847	416,336	378,875	392,258	435,619
合 計	5,006,896	5,101,469	4,787,498	4,654,699	4,617,149	4,600,828

19. 薬品使用状況

塩素・PAC各使用量

(単位: kg)

項 年月		北 郡 山 浄 水 場		昭 和 浄 水 場	
		塩 素 使 用 量	P A C 使 用 量	塩 素 使 用 量	P A C 使 用 量
令和元年度		2,617	12,566	64,853	33,266
令和2年度		2,179	12,846	73,233	36,348
令和3年度		2,385	14,438	66,274	33,157
令和4年度		2,196	13,744	68,158	34,007
令和5年度		2,403	14,209	65,975	33,777
令和6年度		2,327	14,250	62,263	32,604
月 別 内 訳	4月	199	1,184	5,190	2,749
	5月	217	1,215	5,313	2,705
	6月	202	1,173	5,313	2,700
	7月	219	1,205	5,543	2,716
	8月	214	1,169	5,356	2,618
	9月	196	1,131	5,520	2,463
	10月	200	1,159	5,281	2,527
	11月	188	1,125	4,956	2,566
	12月	197	1,216	5,303	3,063
	1月	189	1,260	5,083	3,014
	2月	151	1,149	4,842	2,883
	3月	155	1,264	4,563	2,600

20. 動力料金

(単位:円)

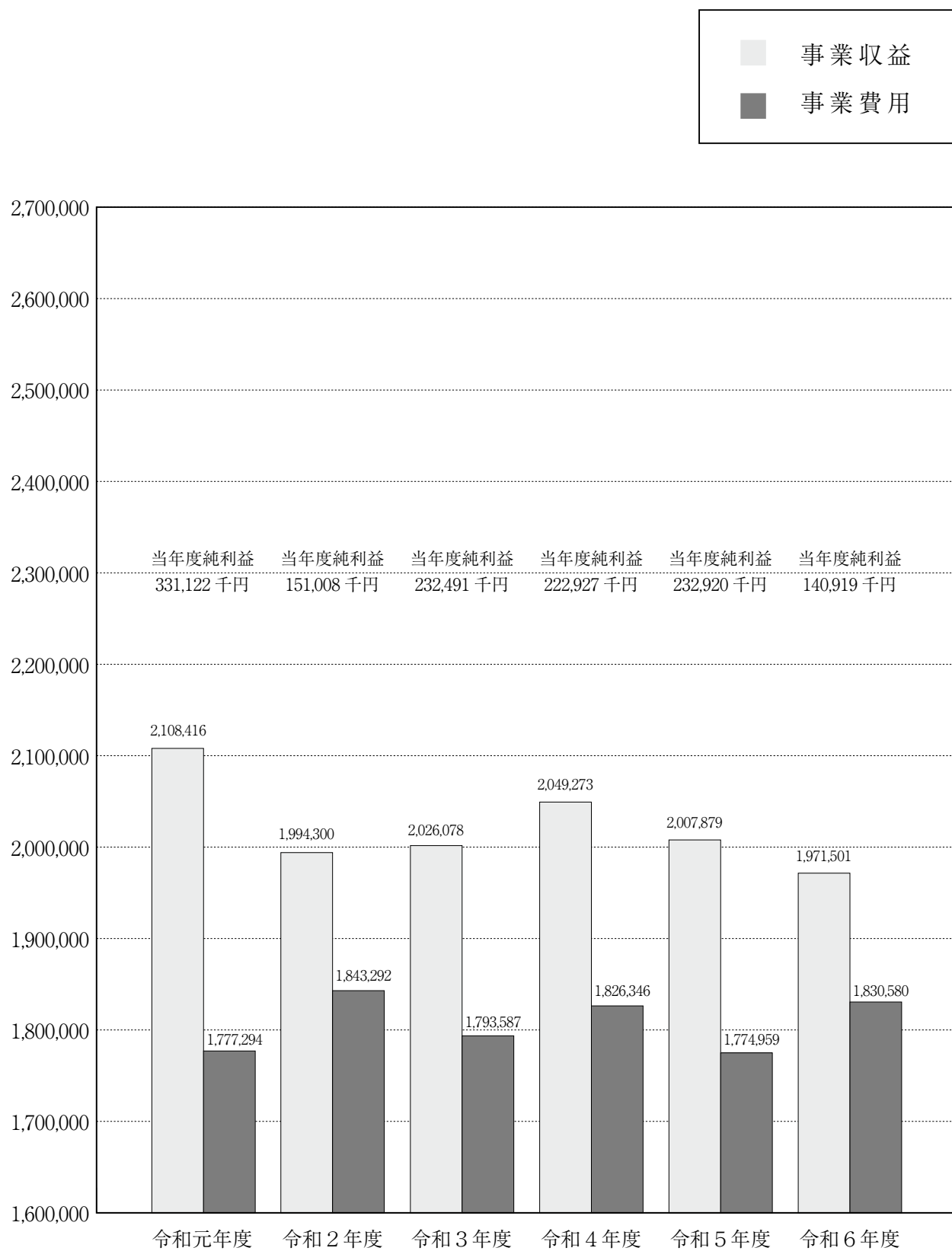
項 年月		北 郡 山 浄 水 場 系	北 郡 山 系 取 水 井 戸	昭 和 浄 水 場 系	昭 和 系 取 水 井 戸	総 合 計
令和元年度		17,404,760	16,114,729	38,075,504	42,944,882	114,539,875
令和2年度		16,166,685	10,660,177	37,367,224	46,453,272	110,647,358
令和3年度		16,993,771	13,255,025	33,114,498	48,039,022	111,402,316
令和4年度		20,511,644	12,861,657	40,941,481	52,877,553	127,192,335
令和5年度		17,688,576	8,911,649	34,071,615	35,882,767	96,554,607
令和6年度		19,215,675	11,316,984	34,222,049	47,208,994	111,963,702
月 別 内 訳	4月	1,440,188	787,764	2,550,639	3,082,281	7,860,872
	5月	1,400,273	986,206	2,626,210	3,765,049	8,777,738
	6月	1,524,531	915,191	2,810,318	3,983,287	9,233,327
	7月	1,570,768	977,958	2,857,968	4,284,334	9,691,028
	8月	1,739,592	1,178,652	3,112,596	4,999,997	11,030,837
	9月	1,617,327	902,943	2,741,074	3,885,119	9,146,463
	10月	1,580,292	824,221	2,926,189	3,452,769	8,783,471
	11月	1,655,861	989,322	2,867,276	4,119,349	9,631,808
	12月	1,690,486	1,005,119	2,937,882	3,750,657	9,384,144
	1月	1,795,846	1,208,068	3,092,449	4,791,732	10,888,095
	2月	1,673,637	773,989	2,865,486	3,550,711	8,863,823
	3月	1,526,874	767,551	2,833,962	3,543,709	8,672,096

IV 財務及び業務指標

1. 財務諸表

(1) 収益費用比較表

(単位：千円)



資産の部

年度		令和元年度			令和２年度			令和３年度			令和４年度			令和５年度			令和６年度					
項目		金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	
		金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	金額	構成比率％	
１．固定資産		10,253,858,513	54.5	10,601,159,037	66.0	10,845,786,079	67.5	11,247,942,414	59.4	11,684,724,452	61.1	12,017,163,160	63.5	100	103	106	110	114	117			
(1)有形固定資産		10,251,842,513	54.5	10,599,647,037	66.0	10,844,778,079	67.4	11,247,438,414	59.4	11,684,724,452	61.1	12,017,163,160	63.5	100	103	106	110	114	117			
(イ)土地		500,882,526	2.7	500,882,526	3.1	500,882,526	3.1	500,882,526	2.6	500,882,526	2.6	500,676,344	2.6	100	100	100	100	100	100			
(ロ)建物		324,527,318	1.7	302,928,131	1.9	283,583,944	1.8	291,976,046	1.5	269,527,500	1.4	247,078,954	1.3	100	93	87	90	83	76			
(ハ)構築物		9,054,943,014	48.2	9,329,269,143	58.1	9,580,642,299	59.6	9,919,729,634	52.4	10,404,017,357	54.4	10,751,335,092	56.8	100	103	106	110	115	119			
(ニ)機械及び装置		302,378,635	1.6	351,371,744	2.2	353,355,884	2.2	452,432,187	2.4	443,789,435	2.3	423,381,384	2.2	100	116	117	150	147	140			
(ホ)車両及び運搬具		11,832,728	0.1	10,120,901	0.1	6,825,771	0.0	3,872,784	0.0	2,528,519	0.0	2,058,288	0.0	100	86	58	33	21	17			
(ヘ)器具及び備品		39,228,763	0.2	60,056,063	0.4	47,519,126	0.3	54,168,708	0.3	46,529,115	0.2	36,596,098	0.2	100	153	121	138	119	93			
(ト)建設仮勘定		18,049,529	0.1	45,018,529	0.3	71,968,529	0.4	24,376,529	0.1	17,450,000	0.1	56,037,000	0.3	100	249	399	135	97	310			
(2)無形固定資産		2,016,000	0.0	1,512,000	0.0	1,008,000	0.0	504,000	0.0	0	0.0	0	0.0	100	75	50	25	0	0			
(イ)ソフトウェア		2,016,000	0.0	1,512,000	0.0	1,008,000	0.0	504,000	0.0	0	0.0	0	0.0	100	75	50	25	0	0			
(3)投資		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	-	-			
(イ)投資有価証券		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	-	-			
(ロ)他会計長期貸付金		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	-	-			
２．流動資産		8,546,917,981	45.5	5,469,578,799	34.0	5,233,563,996	32.5	7,679,663,299	40.6	7,434,900,742	38.9	6,907,939,165	36.5	100	64	61	90	87	81			
(1)現金及び預金		387,588,141	2.1	440,255,951	2.7	612,643,989	3.8	3,387,659,877	17.9	506,591,889	2.6	542,722,409	2.9	100	114	158	874	131	140			
(2)未収金		184,642,253	1.0	180,876,037	1.1	156,572,567	1.0	190,326,665	1.0	185,319,340	1.0	200,153,079	1.1	100	98	85	103	100	108			
(3)貯蔵品		3,747,520	0.0	2,942,808	0.0	2,724,410	0.0	2,276,050	0.0	2,983,460	0.0	4,048,620	0.0	100	79	73	61	80	108			
(4)有価証券		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0														

負債の部

(単位：円)

項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %
3. 固定負債	895,157,136	4.8	831,645,330	5.2	832,344,318	5.2	771,666,596	4.1	773,230,632	4.0	729,861,349	3.9
(1) 引当金	873,796,299	4.6	813,568,299	5.1	817,621,299	5.1	760,369,299	4.0	765,432,299	4.0	725,636,788	3.8
(2) 企業債	21,360,837	0.1	18,077,031	0.1	14,723,019	0.1	11,297,297	0.1	7,798,333	0.0	4,224,561	0.0
4. 流動負債	483,098,735	2.6	601,317,781	3.7	496,099,683	3.1	465,012,012	2.5	550,830,688	2.9	389,707,193	2.1
(1) 預り金	2,510,633	0.0	10,795,395	0.1	14,138,756	0.1	13,664,540	0.1	10,232,060	0.1	1,800,000	0.0
(2) 前受金	150,439,382	0.8	166,901,400	1.0	172,972,804	1.1	178,697,136	0.9	153,390,355	0.8	567,104	0.0
(3) 未払金	309,886,426	1.6	403,095,180	2.5	288,149,111	1.8	250,918,614	1.3	366,210,409	1.9	365,360,317	1.9
(4) その他流動負債	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
(5) 企業債	3,215,067	0.0	3,283,806	0.0	3,354,012	0.0	3,425,722	0.0	3,498,964	0.0	3,573,772	0.0
(6) 引当金	17,047,227	0.1	17,242,000	0.1	17,485,000	0.1	18,306,000	0.1	17,498,900	0.1	18,406,000	0.1
5. 繰延収益	4,736,032,884	25.2	4,606,603,745	28.7	4,487,244,150	27.9	4,397,871,582	23.2	4,269,588,129	22.3	4,138,638,749	21.9
負債合計	6,114,288,755	33	6,039,566,856	38	5,815,688,151	36	5,634,550,190	30	5,593,649,449	29	5,258,207,291	28

資本の部

(単位：円)

項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %
5. 資本金	8,995,852,315	47.8	8,999,000,085	56.0	9,002,215,152	56.0	11,811,966,131	62.4	11,815,320,143	61.8	11,818,745,865	62.5
(1) 自己資本金	8,995,852,315	47.8	8,999,000,085	56.0	9,002,215,152	56.0	11,811,966,131	62.4	11,815,320,143	61.8	11,818,745,865	62.5
(2) 借入資本金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
(4) 企業債	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6. 剰余金	3,690,335,424	19.6	1,032,170,895	6.4	1,261,446,772	7.8	1,481,089,392	7.8	1,710,655,602	8.9	1,848,149,169	9.8
(1) 資本剰余金	493,464,114	2.6	493,464,114	3.1	493,464,114	3.1	493,464,114	2.6	493,464,114	2.6	493,464,114	2.6
(4) 受贈財産評価額	2,054,265	0.0	2,054,265	0.0	2,054,265	0.0	2,054,265	0.0	2,054,265	0.0	2,054,265	0.0
(6) 工事負担金	491,409,849	2.6	491,409,849	3.1	491,409,849	3.1	491,409,849	2.6	491,409,849	2.6	491,409,849	2.6
(8) 諸補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
(9) 国庫補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
(2) 利益剰余金	3,196,871,310	17.0	538,706,781	3.4	767,982,658	4.8	987,625,278	5.2	1,217,191,488	6.4	1,354,685,055	7.2
(4) 減価償立金	24,275,904	0.1	21,360,837	0.1	18,077,031	0.1	14,723,019	0.1	11,297,297	0.1	7,798,333	0.0
(6) 建設改良積立金	2,806,325,678	14.9	678	0.0	678	0.0	678	0.0	55,517,866	0.3	64,476,878	0.3
(8) 利益積立金	32,000,000	0.2	32,000,000	0.2	32,000,000	0.2	32,000,000	0.2	914,030,381	4.8	1,137,991,591	6.0
(9) 当年度未処分利益剰余金	334,269,728	1.8	485,345,266	3.0	717,904,949	4.5	940,901,581	5.0	236,345,944	1.2	144,418,253	0.8
資本合計	12,686,187,739	67.5	10,031,170,980	62.4	10,263,661,924	63.8	13,293,055,523	70.2	13,525,975,745	70.7	13,666,895,034	72.2
負債・資本合計	18,800,476,494	101	16,070,737,836	100	16,079,350,075	100	18,927,605,713	100	19,119,625,194	100	18,925,102,325	100

(3) 累年別損益計算書

収益の部

(単位：円)

年度 項目		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度								
		金 額	構成 比率	%	金 額	構成 比率	%	金 額	構成 比率	%	金 額	構成 比率	%	金 額	構成 比率	%	金 額	構成 比率	%	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
1． 営業収益		1,836,886,657	87.1	%	1,718,355,181	86.2	%	1,753,333,376	86.5	%	1,505,060,145	73.4	%	1,664,333,757	82.9	%	1,689,087,280	85.7	%	100	94	95	82	91	92
(1) 給水収益		1,826,234,415	86.6		1,697,674,605	85.1		1,738,329,820	85.8		1,475,849,850	72.0		1,644,348,210	81.9		1,673,985,285	84.9		100	93	95	81	90	92
(2) 受託工事収益		2,949,326	0.1		10,747,698	0.5		7,611,429	0.4		22,602,686	1.1		13,299,162	0.7		7,233,580	0.4		100	364	258	766	451	245
(3) その他の営業収益		7,702,916	0.4		9,932,878	0.5		7,392,127	0.4		6,607,609	0.3		6,686,385	0.3		7,868,415	0.4		100	129	96	86	87	102
2． 営業外収益		271,528,852	12.9		275,945,312	13.8		272,745,028	13.5		544,212,612	26.6		343,545,810	17.1		276,422,789	14.0		100	102	100	200	127	102
(1) 受取利息		7,173,914	0.3		7,156,377	0.4		2,169,343	0.1		1,014,605	0.0		1,097,907	0.1		2,433,138	0.1		100	100	30	14	15	34
(2) 補助金		0	0.0		0	0.0		0	0.0		269,747,708	13.2		68,464,073	3.4		0	0.0		-	-	-	100	100	-
(3) 雑収益		45,661,665	2.2		48,662,096	2.4		50,734,381	2.5		50,081,334	2.4		50,022,620	2.5		53,814,211	2.7		100	107	111	110	110	118
(4) 長期前受金戻入益		218,693,273	10.4		220,126,839	11.0		219,841,304	10.9		223,368,965	10.9		223,961,210	11.2		220,175,440	11.2		100	101	101	102	102	101
3． 特別利益		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		5,991,486	0.3		-	-	-	-	-	100
(1) 固定資産売却益		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		-	-	-	-	-	-
(2) 過年度損益修正益		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		246,945	0.0		-	-	-	-	-	100
(3) その他の特別利益		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		5,744,541	0.3		-	-	-	-	-	100
収 入 合 計		2,108,415,509	100		1,994,300,493	100		2,026,078,404	100		2,049,272,757	100		2,007,879,567	100		1,971,501,555	100		100	95	96	97	95	94

費用の部

(単位：円)

年度 項目	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度						
	金 額	構成 比率	%	金 額	構成 比率	%	金 額	構成 比率	%	金 額	構成 比率	%	金 額	構成 比率	%	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
4. 営業費用	1,774,905,224	99.9		1,840,620,125	99.9		1,791,275,161	99.9		1,799,544,809	98.5		1,773,126,671	99.9		100	104	101	101	99	100	103
(1) 原水及び浄水費	950,558,095	53.5		956,880,472	51.9		921,976,352	51.4		939,104,600	51.4		909,031,525	51.2		100	101	97	99	96	100	
(2) 配水及び給水費	198,985,798	11.2		227,588,150	12.3		164,769,450	9.2		133,264,224	7.3		133,142,698	7.5		100	114	83	67	67	78	
(3) 受託工事費	15,427,555	0.9		26,828,950	1.5		36,590,319	2.0		30,109,043	1.6		21,555,058	1.2		100	174	237	195	140	81	
(4) 業務費	81,585,896	4.6		86,198,974	4.7		97,163,550	5.4		110,857,146	6.1		114,333,560	6.4		100	106	119	136	140	141	
(5) 総係費	103,898,135	5.8		107,855,385	5.9		117,610,717	6.6		114,728,573	6.3		107,450,388	6.1		100	104	113	110	103	96	
(6) 減価償却費	414,460,425	23.3		425,181,457	23.1		446,307,044	24.9		454,922,262	24.9		477,689,475	26.9		100	103	108	110	115	119	
(7) 資産減耗費	9,989,320	0.6		10,086,737	0.5		6,857,729	0.4		16,558,961	0.9		9,923,967	0.6		100	101	69	166	99	71	
5. 営業外費用	2,388,327	0.1		2,672,127	0.1		2,312,299	0.1		26,801,522	1.5		1,832,674	0.1		100	112	97	1122	77	130	
(1) 支払利息	571,822	0.0		504,525	0.0		435,786	0.0		365,580	0.0		293,870	0.0		100	88	76	64	51	39	
(2) 雑支出	1,816,505	0.1		2,167,602	0.1		1,876,513	0.1		26,435,942	1.4		1,538,804	0.1		100	119	103	1455	85	159	
(3) 繰延勘定償却	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		-	-	-	-	-	-	
6. 特別損失	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		-	-	-	-	-	-	
(1) 固定資産売却損	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		-	-	-	-	-	-	
(2) 過年度損益修正損	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		-	-	-	-	-	-	
(3) 貸倒引当金繰入額	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		-	-	-	-	-	-	
(4) 賞与等引当金繰入額	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		-	-	-	-	-	-	
支 出 合 計	1,777,293,551	100		1,843,292,252	100		1,793,587,460	100		1,826,346,331	100		1,774,959,345	100		100	104	101	103	100	103	
当年度純利益	331,121,958	-		151,008,241	-		232,490,944	-		222,926,426	-		232,920,222	-		100	46	70	67	70	43	
前年度繰越利益剰余金	0	-		331,121,958	-		482,130,199	-		714,621,143	-		0	-		-	-	-	-	-	-	
その他未処分利益剰余金変動額	3,147,770	-		3,215,067	-		3,283,806	-		3,354,012	-		3,425,722	-		100	102	104	107	109	111	
当年度未処分利益剰余金	334,269,728	-		485,345,266	-		717,904,949	-		940,901,581	-		236,345,944	-		100	145	215	281	71	43	

(4)経営分析
了．経営分析及び財務分析

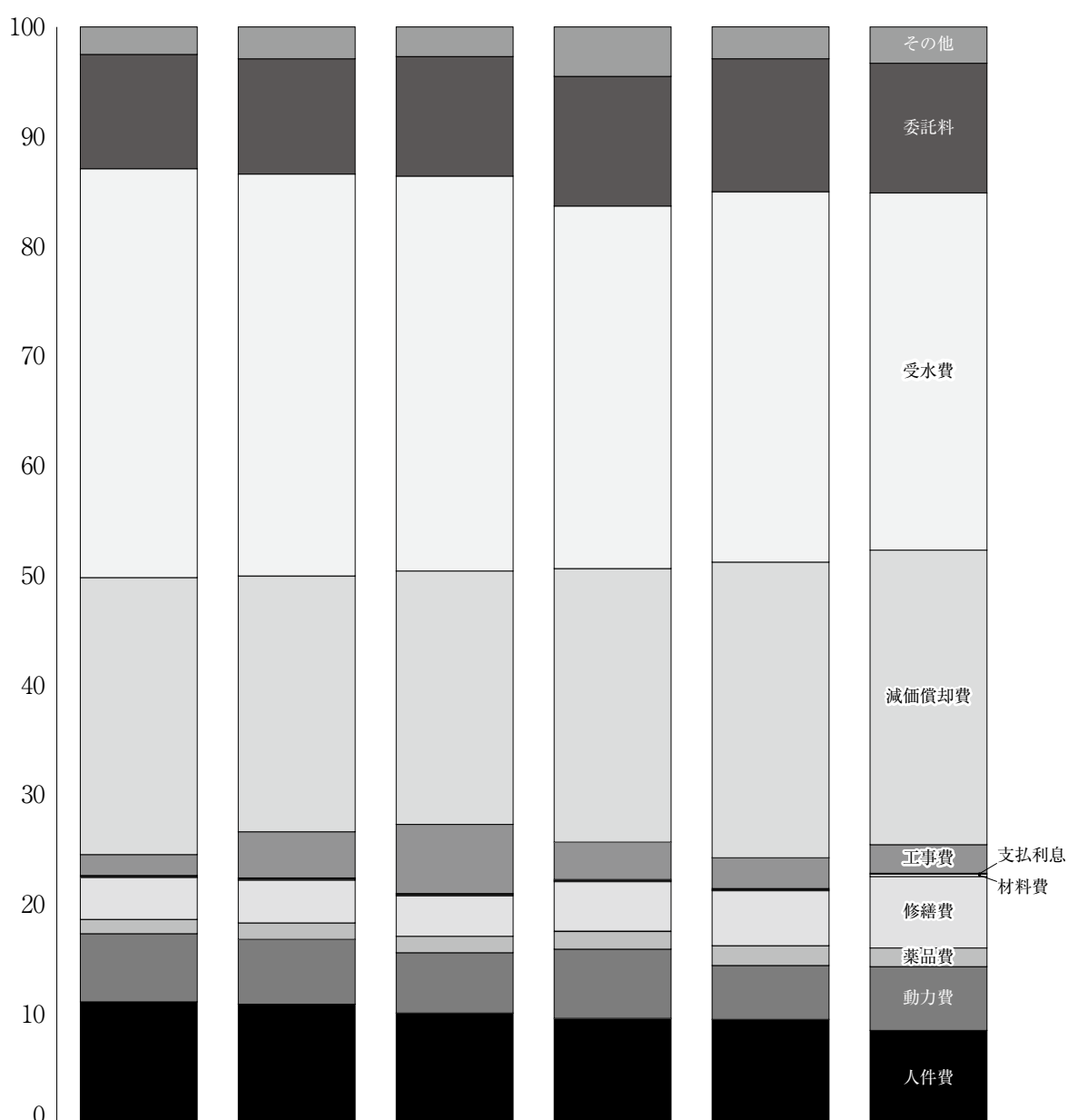
分析項目	単 位	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	※全国平均R5年度 給水人口5万人以上 10万人未満	算 式	摘 要
構成比率										
固定負債比率	%	4.76	5.17	5.18	4.08	4.04	3.86	14.25	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	資産の調達源泉である負債資本合計の内他人資本がどれくらいの割合を占めているかを示すものです。
流動負債比率	%	2.57	3.74	3.09	2.46	2.88	2.06	-	$\frac{\text{流動負債}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	
固定資産比率	%	54.54	65.97	67.45	48.22	49.96	63.50	83.33	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産+流動資産+繰延資産}} \times 100$	総資産中、固定資産がどのくらい占めているかを表す。
固定資産対長期資本比率	%	55.98	68.53	69.60	60.92	62.93	64.83	86.50	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+評価差額等+固定負債+繰延収益}} \times 100$	100%以下であれば長期資本的に安定している。低率であるほど良い。
固定負債比率	%	7.06	8.29	8.11	5.81	5.72	5.34	-	$\frac{\text{固定負債+借入資本金}}{\text{自己資本金+剰余金}} \times 100$	負債を自己資本以内にすることが健全であり100%以下が好ましい。
流動負債比率	%	3.81	5.99	4.83	3.50	4.07	2.85	-	$\frac{\text{流動負債}}{\text{自己資本金+剰余金}} \times 100$	
酸性試験比率	%	1753.03	906.38	1041.88	1651.00	1341.86	1768.63	-	$\frac{\text{現金預金+（未収金-貸倒引当金）}}{\text{流動負債}} \times 100$	資産と負債を比較することにより企業の支払能力を示す。
現金比率	%	1715.51	871.46	1010.41	1610.21	1308.31	1717.37	-	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	高率であるほど運転資金が豊富で支払能力のあることを示す。
自己資本回転率	回	0.106	0.107	0.119	0.091	0.093	0.094	0.126	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{（資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益）・期末}} \times 100$	高率であるほど投下資本に対して営業活動が活発である。
未収金回転率	回	10.396	8.640	9.510	8.547	8.790	8.726	7.114	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{1/2 * \text{（期首未収金+期末未収金）}} \times 100$	高率であるほど未収金の回収速度が良好である。
貯蔵品回転率	回	2.96	2.81	3.00	3.42	3.68	3.78	-	$\frac{\text{期首貯蔵品+当年度購入額-当年度発生産品-期末貯蔵品}}{\text{平均貯蔵品}} \times 100$	貯蔵品を使用、補充する速度。高率であるほど貯蔵品に対する投下資本が少なくてすむ。
減価償却率	%	4.08	4.06	4.16	4.07	4.10	4.11	4.03	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{固定資産-（土地・運搬設備）+当年度減価償却費}} \times 100$	減価償却資産の平均減価償却率を示すもの。高率であるほど投資額の回収速度が速い。
流動資産回転率	回	0.216	0.244	0.326	0.230	0.218	0.235	0.621	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{1/2 * \text{（期首流動資産+期末流動資産）}} \times 100$	高率であるほど資金に余裕がある。
総資本利益率	%	1.78	0.87	1.45	1.27	1.22	0.71	1.07	$\frac{\text{当年度経常利益}}{1/2 * \text{（期首資本+負債）+期末（資本+負債）}} \times 100$	企業の営業活動の総合的な効果を表す。高率であるほど良い。
利子負担率	%	2.33	2.36	2.41	2.48	2.60	2.83	1.33	$\frac{\text{支払利息+企業債取扱諸費}}{\text{（期首資本+負債）+期末（資本+負債）}} \times 100$	企業債に占める支払利息の割合
企業価値償還額対減価償却費比率	%	0.76	0.76	0.74	0.74	0.72	0.71	60.13	$\frac{\text{企業価値元金償還金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	企業価値償還能力を表す。低率であるほど内部留保が良い。
経常収支比率	%	118.63	108.19	112.96	112.21	113.12	107.38	109.51	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	単年度の経営状況を表す。費用を収益で賄っていないと100%未満になる。

分析項目	単位	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	※全国平均R5年度 給水人口5万人以上 10万人未満	算式	摘要
固定資産 使用効	産率 m ³ /万円	9.99	9.76	9.09	8.68	8.28	8.28	7.94	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}} \times 10000$	この数値が高いと固定資産が有効に使用されている。
配水管使用効率	m ³ /m	19.36	19.61	18.68	18.46	18.30	17.82	22.12	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	給水人口密度が高いほどこの数値も高くなる。
有収率	%	94.45	92.87	94.43	91.34	93.27	93.79	93.39	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	高率であるほど有効に配水されている。
職員1人当たり 給水人口	人	3,093	3,188	4,062	4,027	3,992	4,153	4,589	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	高率であるほど効率的経営がなされている。
有収水量1m ³ 当 たり職員給与費	円	20.38	19.81	17.07	19.00	17.98	18.08	13.99	$\frac{\text{損益職員給与費}}{\text{年間総有収水量}}$	低率であるほど経営に弾力性がある。
職員1人当たり 職員給与費	千円	7,038	7,051	7,570	8,064	7,727	7,998	-	$\frac{\text{損益職員給与費}}{\text{損益勘定所属職員数}} \div 1000$	
職員1人当たり 営業収益	千円	65,498	63,245	83,130	70,593	78,621	84,093	82,517	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}} \div 1000$	高率であるほど能率的経営がなされている。
職員給与費対営業 収益比率	%	10.73	11.08	9.07	11.25	9.75	9.47	8.21	$\frac{\text{損益職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	職員給与費の割合を営業収益及び営業費用と対比する。
営業費用中に占める 職員給与費の割合	%	11.09	10.33	8.86	9.27	9.14	8.74	7.62	$\frac{\text{損益職員給与費}}{\text{総費用}} \times 100$	低率であるほど経営を圧迫しない。
費用中に占める 支払利息の割合	%	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.01	1.72	$\frac{\text{支払利息}}{\text{総費用}} \times 100$	支払利息が総費用に占める割合
費用中に占める減価 償却費の割合	%	23.32	23.07	24.88	24.91	26.91	26.86	28.93	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{総費用}} \times 100$	高率であるほど良いが、維持費も増大することになる。
給水原価に対する 職員給与費の割合	%	12.23	11.36	9.78	10.22	10.25	9.63	-	$\frac{1\text{m}^3\text{当たり職員給与費}(\text{受託工事費を除く})}{\text{給水原価}} \times 100$	低率であるほど経営を圧迫しない。
口座振替件数率	%	82.01	84.08	82.02	81.50	80.82	79.16	-	$\frac{\text{料金口座振替件数}}{\text{料金調定件数}} \times 100$	3月分料金調定に対する口座振替割合
納付書件数率	%	17.99	15.92	17.98	18.50	19.18	20.84	-	$\frac{\text{納付書件数}}{\text{料金調定件数}} \times 100$	3月分料金調定に対する納付書割合

※平均総資本＝(期首(負債・資本合計)＋期末(負債・資本合計))／2

イ. 年度別費用構成比較

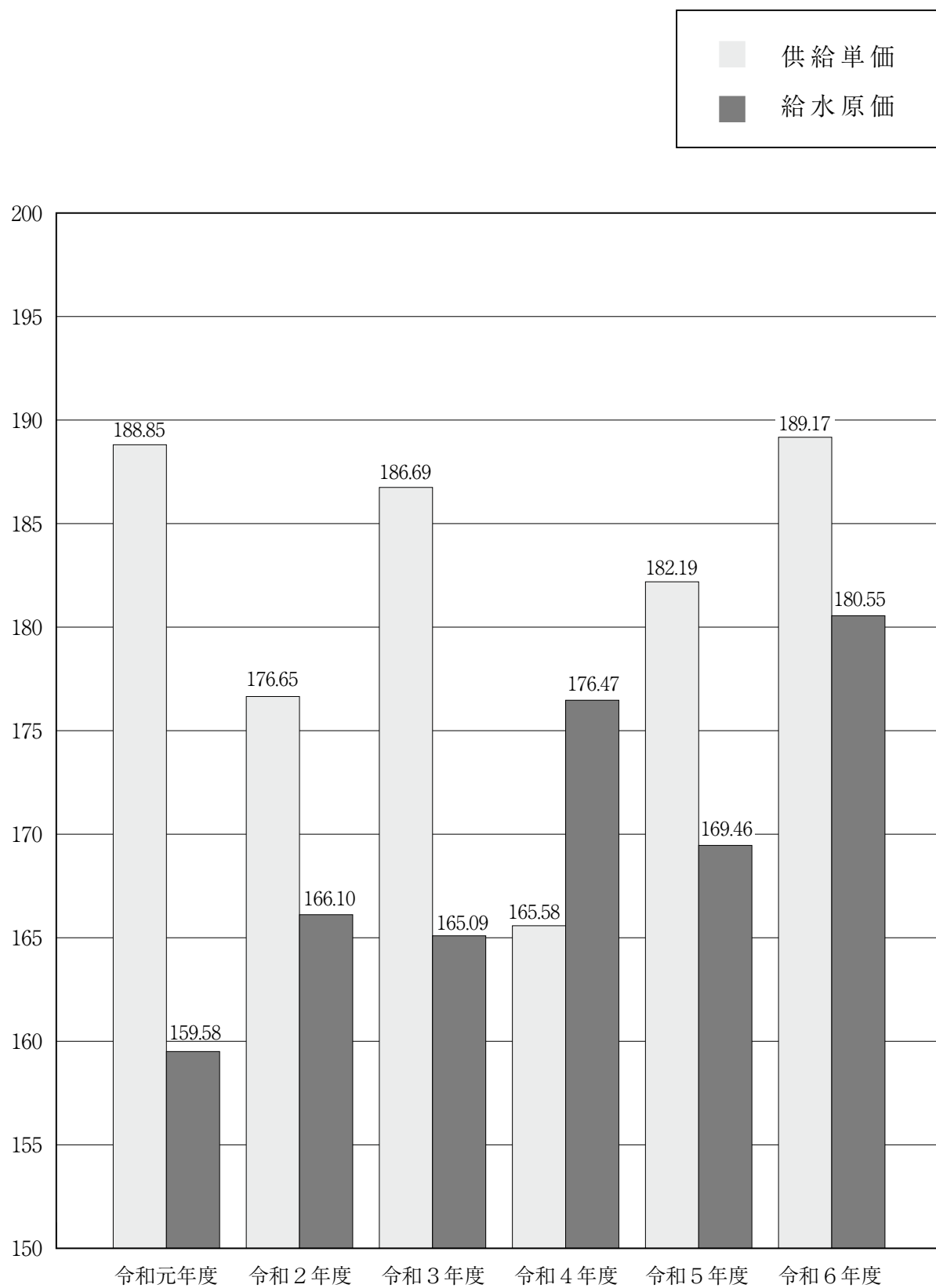
(単位：％)



		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
■	人件費	11.1	10.3	9.7	9.8	9.7	8.7
■	動力費	5.9	5.5	5.6	6.3	4.9	5.8
■	薬品費	1.5	1.5	1.5	1.6	1.8	1.7
■	修繕費	3.9	3.7	4.0	4.5	5.0	6.5
□	材料費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
■	支払利息	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
■	工事費	4.2	6.3	5.6	3.4	2.8	2.6
■	減価償却費	23.3	23.1	24.9	24.9	26.9	26.8
■	受水費	36.6	36.0	34.6	33.0	33.7	32.5
■	委託料	10.5	10.9	11.5	11.8	12.1	11.8
■	その他	2.9	2.7	2.4	4.5	2.9	3.3

(単位:千円)

項目	年度	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		金	額	構成比率	金	額	構成比率	金	額	構成比率	金	額	構成比率	金	額	構成比率	金	額	構成比率
人件費				%			%			%			%			%			%
		197,056		11.1	190,376		10.3	174,731		9.7	178,859		9.8	171,947		9.7	160,071		8.7
動力費		105,256		5.9	100,589		5.5	101,275		5.6	115,630		6.3	87,777		4.9	105,792		5.8
薬品費		26,115		1.5	28,319		1.5	26,196		1.5	28,338		1.6	32,198		1.8	30,931		1.7
修繕費		70,067		3.9	68,542		3.7	72,350		4.0	82,024		4.5	88,097		5.0	118,358		6.5
材料費		2,319		0.1	2,613		0.1	1,135		0.1	1,383		0.1	2,390		0.1	3,014		0.2
支払利息		572		0.1	505		0.1	436		0.1	366		0.1	294		0.1	221		0.1
工事費		75,419		4.2	116,218		6.3	100,168		5.6	62,774		3.4	49,408		2.8	48,410		2.6
減価償却費		414,460		23.3	425,181		23.1	446,307		24.9	454,922		24.9	477,689		26.9	491,734		26.8
受水費		650,896		36.6	663,191		36.0	620,100		34.6	603,355		33.0	598,000		33.7	594,815		32.5
委託料		185,904		10.5	200,464		10.9	207,051		11.5	215,915		11.8	214,966		12.1	216,922		11.8
その他		49,230		2.9	47,294		2.7	43,838		2.5	82,780		4.6	52,193		2.9	60,314		3.3
年度別費用合計		1,777,294		100	1,843,292		100	1,793,587		100	1,826,346		100	1,774,959		100	1,830,582		100



才. 給水原価構成

項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	金 額 (千円)	給水原価(円)	金 額 (千円)	給水原価(円)	金 額 (千円)	給水原価(円)	金 額 (千円)	給水原価(円)	金 額 (千円)	給水原価(円)	金 額 (千円)	給水原価(円)
合 計	1,543,174	159.58	1,596,336	166.10	1,537,156	165.09	1,572,868	176.47	1,529,443	169.46	1,597,732	180.55
人 件 費	188,680	19.51	181,406	18.88	150,335	16.15	170,249	19.10	166,452	18.44	153,996	17.40
動 力 費	105,256	10.88	100,589	10.47	101,275	10.88	115,630	12.97	87,777	9.73	105,791	11.96
薬 品 費	26,115	2.70	28,319	2.95	26,196	2.81	28,338	3.18	32,198	3.57	30,931	3.50
修 繕 費	70,067	7.25	68,542	7.13	72,350	7.77	82,024	9.20	88,097	9.76	118,358	13.38
材 料 費	2,319	0.24	2,613	0.27	1,135	0.12	1,383	0.16	2,390	0.27	3,014	0.34
支 払 利 息	572	0.06	505	0.05	436	0.05	366	0.04	294	0.03	221	0.03
工 事 費	69,847	7.22	99,751	10.38	72,881	7.83	42,819	4.80	34,544	3.83	44,524	5.03
減 価 償 却 費	414,460	42.86	425,181	44.24	446,307	47.93	454,922	51.04	477,689	52.93	491,734	55.57
受 水 費	650,896	67.31	663,191	69.01	620,100	66.60	603,355	67.69	598,000	66.26	594,815	67.22
委 託 料	185,904	19.22	200,464	20.86	207,051	22.24	215,025	24.13	214,966	23.82	216,922	24.51
そ の 他	47,751	4.94	45,902	4.78	58,931	6.33	82,126	9.21	50,997	5.65	57,601	6.51
長期前受金戻入益	-218,693	-22.62	-220,127	-22.91	-219,841	-23.61	-223,369	-25.06	-223,961	-24.81	-220,175	-24.88
有 収 水 量 (m ³)	9,670,285		9,610,491		9,311,148		8,913,054		9,025,550		8,849,157	

(注)ただし、費用合計には、受託工事費を除き、工事費には路面復旧費を含む。

力. 費目別給水原価構成

項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	金 額	給水原価	金 額	給水原価	金 額	給水原価	金 額	給水原価	金 額	給水原価	金 額	給水原価
合 計	1,543,172,723	159.58	1,596,336,463	166.10	1,537,155,837	165.09	1,572,868,323	176.47	1,529,443,077	169.46	1,597,731,088	180.55
営 業 費 用	1,759,477,669	181.95	1,813,791,175	188.73	1,754,684,842	188.45	1,769,435,766	198.52	1,751,571,613	194.07	1,814,792,508	205.08
1. 原水及び浄水費	950,558,095	98.30	956,880,472	99.57	921,976,352	99.02	939,104,600	105.36	909,031,525	100.72	946,913,868	107.01
2. 配水及び給水費	198,985,798	20.58	227,588,150	23.68	164,769,450	17.70	133,264,224	14.95	133,142,698	14.75	154,410,415	17.45
3. 業 務 費	81,585,896	8.44	86,198,974	8.97	97,163,550	10.44	110,857,146	12.44	114,333,560	12.67	115,050,317	13.00
4. 総 係 費	103,898,135	10.74	107,855,385	11.22	117,610,717	12.63	114,728,573	12.87	107,450,388	11.91	99,570,141	11.25
5. 減価償却費	414,460,425	42.86	425,181,457	44.24	446,307,044	47.93	454,922,262	51.04	477,689,475	52.93	491,734,183	55.57
6. 資産減耗費	9,989,320	1.03	10,086,737	1.05	6,857,729	0.74	16,558,961	1.86	9,923,967	1.10	7,113,584	0.80
営 業 外 費 用	2,388,327	0.25	2,672,127	0.28	2,312,299	0.25	26,801,522	3.01	1,832,674	0.20	3,114,020	0.35
1. 支 払 利 息	571,822	0.06	504,525	0.05	435,786	0.05	365,580	0.04	293,870	0.03	220,628	0.03
2. 雑 支 出	1,816,505	0.19	2,167,602	0.23	1,876,513	0.20	26,435,942	2.97	1,538,804	0.17	2,893,392	0.33
3. 繰延勘定償却	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
長期前受金戻入益	-218,693,273	-22.62	-220,126,839	-22.91	-219,841,304	-23.61	-223,368,965	-25.06	-223,961,210	-24.81	-220,175,440	-24.88
有 収 水 量 (m ³)	9,670,285		9,610,491		9,311,148		8,913,054		9,025,550		8,849,157	

(注)費用合計には、受託工事費を除く。

2. 令和6年度決算

(1) 収益的収入及び支出

(1) 収 入 (単位:円)

区 分	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考 (決算額中、 仮受消費税及 び地方消費 税)
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支 出額に係る財源充当額	合 計			
第1款 水道事業収益	2,149,314,000	0	0	2,149,314,000	2,158,465,003	9,151,003	
第1項 営業収 益	1,871,931,000	0	0	1,871,931,000	1,857,062,963	△ 14,868,037	(167,975,683)
第2項 営業外収益	277,382,000	0	0	277,382,000	295,410,554	18,028,554	(4,800,873)
第3項 特別 利 益	1,000	0	0	1,000	5,991,486	5,990,486	

(2) 支 出

(単位:円)

区 分	予 算 額							決 算 額	地方公営企 業法第26条 第2項の規 定による繰 越額	不 用 額	備 考 (決算額中、 仮払消費税及 び地方消費 税)
	当初予算額	補正予算額	予備費支 出額	流用増減額	地方公営 企業法第 24条第3 項の規定 による支 出額	小 計	地方公営 企業法第 26条第2 項の規定 による繰 越額	合 計			
第1款 水道事業費用	2,038,252,000	3,752,000	0	0	0	2,042,004,000	919,000	2,042,923,000	1,945,432,248	97,490,752	
第1項 営業 費 用	2,018,307,000	3,752,000	0	△ 1,081,000	0	2,020,978,000	919,000	2,021,897,000	1,942,488,389	79,408,611	(115,226,325)
第2項 営業外費用	14,701,000	0	0	1,071,000	0	15,772,000	0	15,772,000	2,695,461	13,076,539	(189,194)
第3項 特別 損 失	244,000	0	0	10,000	0	254,000	0	254,000	248,398	5,602	
第4項 予 備 費	5,000,000	0	0	0	0	5,000,000	0	5,000,000	0	5,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

(1) 収 入

(単位:円)

区 分	予 算 額					決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考 (決算額中、 仮払消費税及 び地方消費 税)
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定に係 る繰越額に係 る財源充当額	継続費通 次繰越額 に係る財 源充当額	合 計		
第1款 資本的収入	68,541,000	0	68,541,000	0	0	68,541,000	20,164,126	
第1項 工事分担金	68,540,000	0	68,540,000	0	0	68,540,000	20,165,126	(6,010,396)
第2項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0	0	1,000	△ 1,000	(0)
第3項 出資金	0	0	0	0	0	0	0	

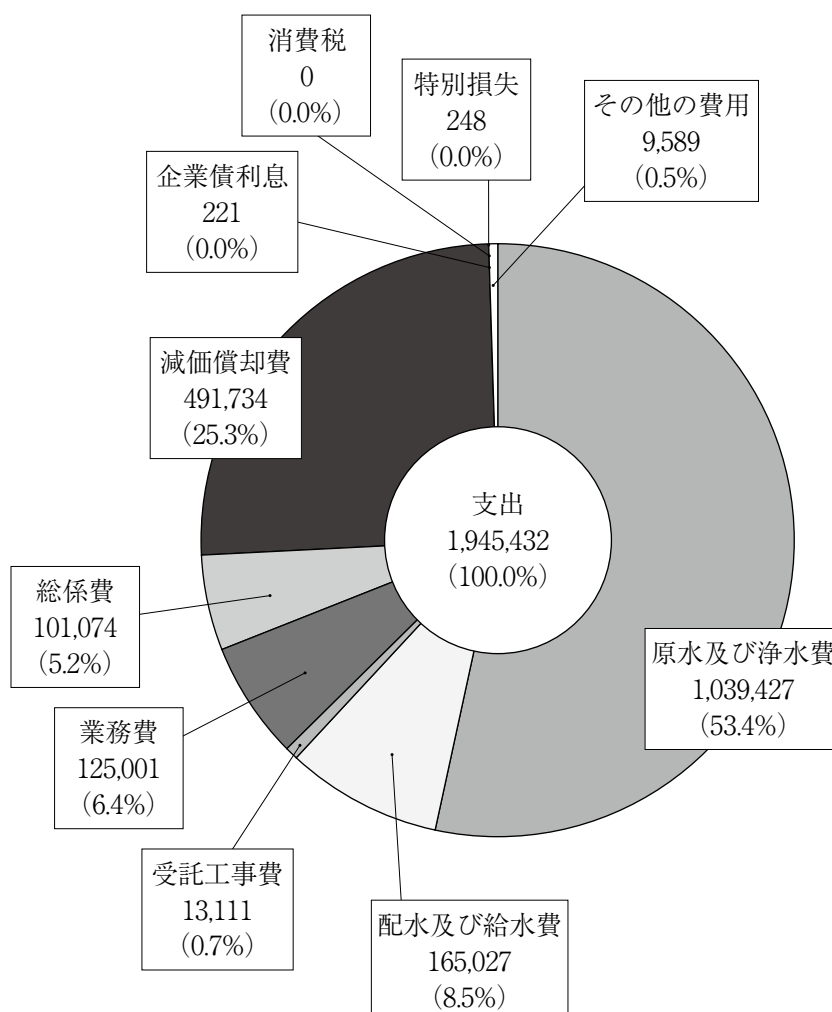
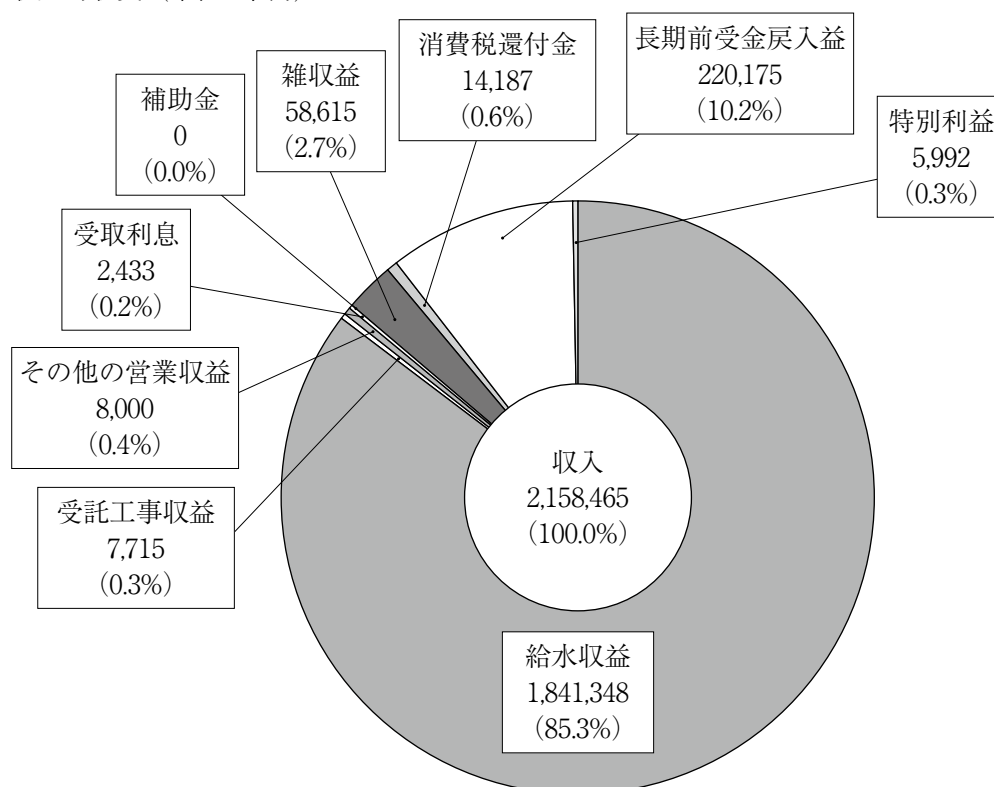
(2) 支 出

(単位:円)

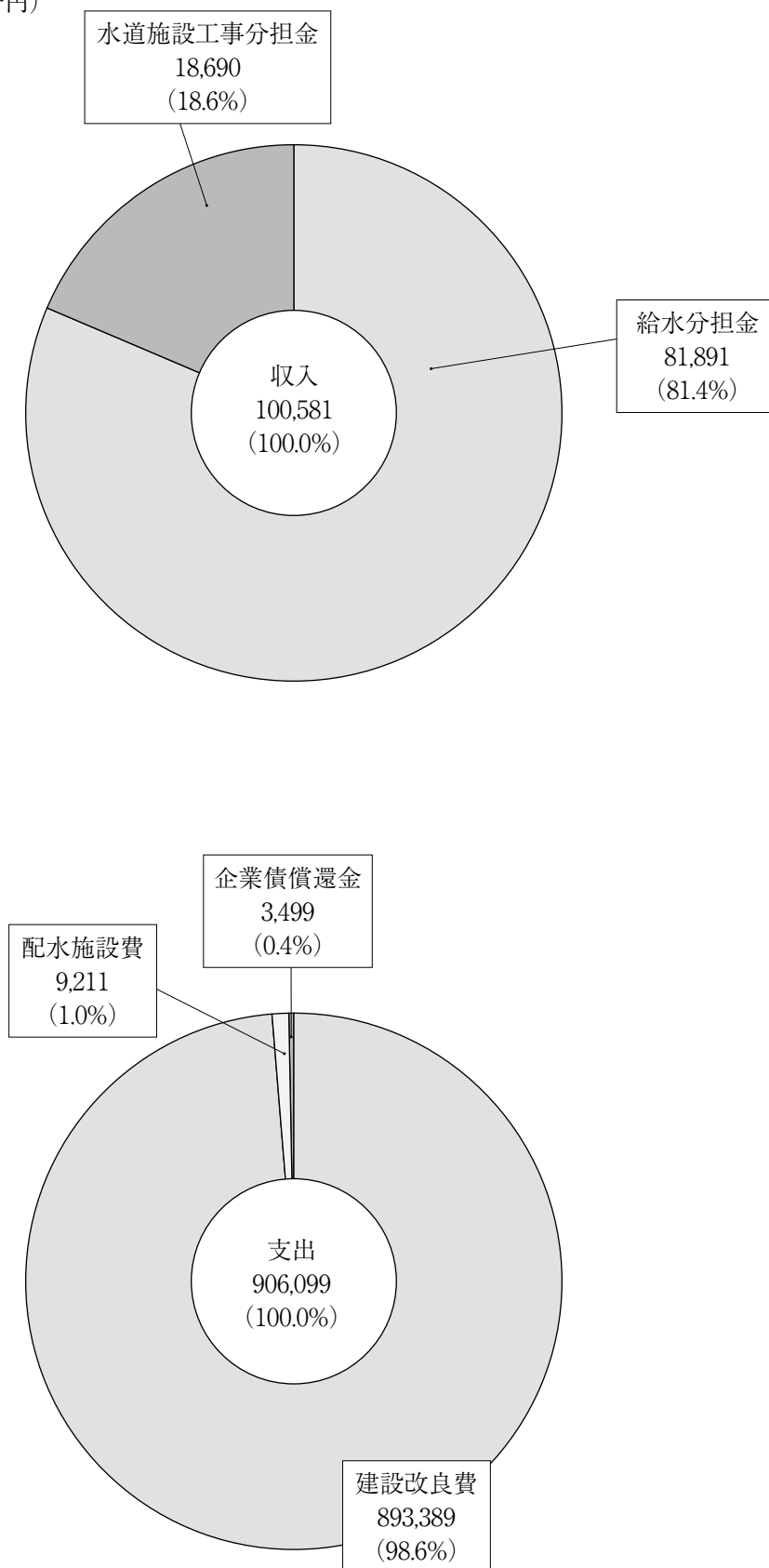
区 分	予 算 額						翌 年 度 繰 越 額		不 用 額	備 考 (決算額中、 仮払消費税及 び地方消費 税)
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	小 計	地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰越額	継続費通 次繰越額	合 計	地方公営企 業法第26条 の規定によ る繰越額		
第1款 資本的支出	956,755,000	11,451,000	0	968,206,000	141,667,000	0	1,109,873,000	0	203,774,404	
第1項 建設改良費	928,815,000	11,451,000		941,118,000	141,667,000	0	1,082,785,000	0	189,396,639	(76,803,659)
第2項 配水施設費	19,441,000	0	△ 852,000	18,589,000	0	0	18,589,000	0	9,377,729	(834,646)
第3項 企業債償還金	3,499,000	0	0	3,499,000	0	0	3,499,000	0	36	
第4項 予 備 費	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0	5,000,000	0	5,000,000	

(3) 決算収支図（消費税込）

ア. 収益的収支（単位：千円）



イ. 資本的収支（単位：千円）



(4) 企業債明細書

(単位:円)

種 類	発 行 年 月 日	発行総額	償 還 高		未償還残高	利率 (%)	償還終期	備考
			当年度償還高	償還高累計				
借 入 資 本 金 財務省 財政融資資金	平成10年3月25日	42,000,000	2,004,686	35,728,434	6,271,566	2.10	令和10年3月	
	小 計	42,000,000	2,004,686	35,728,434	6,271,566			
地方公共団体 金融機構	平成10年3月25日	21,000,000	1,119,453	19,856,350	1,143,650	2.15	令和8年3月	
	平成10年3月25日	7,000,000	374,825	6,616,883	383,117	2.20	令和8年3月	
	小 計	28,000,000	1,494,278	26,473,233	1,526,767			
合 計		70,000,000	3,498,964	62,201,667	7,798,333			

(5) 固定資産明細書

ア. 有形固定資産明細書

(単位:円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高	減価償却累計額			年度末償却未済高
					当年度増加額	当年度減少額	累計	
土地	500,882,526	0	206,182	500,676,344	0	0	0	500,676,344
建物	1,090,045,479	0	0	1,090,045,479	22,448,546	0	842,966,525	247,078,954
構築物	21,373,024,442	771,200,587	63,579,280	22,080,645,749	417,131,159	56,827,587	11,329,310,657	10,751,335,092
機械及び装置	2,101,317,955	18,190,000	0	2,119,507,955	39,063,689	0	1,766,909,955	352,598,000
量水器	141,443,026	1,400,670	326,050	142,517,646	783,891	174,909	71,734,262	70,783,384
車両及び運搬具	39,607,714	0	0	39,607,714	470,231	0	37,549,426	2,058,288
器具及び備品	141,396,278	2,114,400	4,215,000	139,295,678	11,836,667	4,004,250	102,699,580	36,596,098
小計	25,387,717,420	792,905,657	68,326,512	26,112,296,565	491,734,183	61,006,746	14,151,170,405	11,961,126,160
建設仮勘定	17,450,000	43,087,000	4,500,000	56,037,000	0	0	0	56,037,000
合計	25,405,167,420	835,992,657	72,826,512	26,168,333,565	491,734,183	61,006,746	14,151,170,405	12,017,163,160

イ. 無形固定資産明細書

(単位:円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	当年度減価償却額	年度末現在高
ソフトウェア	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

ウ. 投資明細書

(単位:円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高	備考
投資有価証券	0	0	0	0	
他会計長期貸付金	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

目標 (A)『安全で良質な水』

運営管理

3. 「水道事業ガイドライン」業務指標の算出結果と解説

水道事業ガイドライン (JWWA Q100) に基づく業務指標

(1) 水質管理

新	業務指標 (PI)	定 義 (計算式)	平均値						解 説
			R元	R2	R3	R4	R5	R6	
A101	平均残留塩素濃度 (mg/L)	残留塩素濃度合計 / 残留塩素測定回数							給水栓での残留塩素濃度の平均値を表す指標である。 おいしい水の要件は、残留塩素濃度は0.4mg/L以下とされている。
A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率 (%)	最大カビ臭物質濃度 / 水質基準値*100	0.8	0.9	0.9	0.8	0.7	0.8	(H28より定義変更) 水質は、水質基準を満たすことが必要条件である。この値は、低い方がよい ジェオミンと2-MIBの水質基準値は、0.00001mg/L 検査結果はジェオミンは、0.000002mg/L 県営水道 (御所系) の依存が高い
A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率 (%)	$\max(Xi) = (\sum \text{給水栓の総トリハロメタン濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} * 100$	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	9.4 (H28より定義変更)
A104	有機物 (TOC) 濃度水質基準比率 (%)	$\max(Xi) = (\sum \text{給水栓の有機物 (TOC) 濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} * 100$	24.8	32.0	24.0	25.8	24.4	24.8	水質基準を満たされていること。 ※一年間の定期検査「(同時期)の平均値の最も大きい値」を選択 (6月)
A105	重金属濃度水質基準比率 (%)	$\max(Xi) = (\sum \text{給水栓の当該重金属濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} * 100$ (Cd, Hg, Se, Pb, As, Cr+その各化合物の6種類) ヒ素As(0.0012/0.01)*100	20.0	20.0	20.0	21.3	20.0	24.0	有機物水質基準値とは、厚生労働省が定める水質基準に関する省令に示されている値。(6月最大平均値) ※一年間の定期検査「(同時期)の平均値の最も大きい値と物質名を選択 水質基準項目に定められている6種類による。
A106	無機物質濃度水質基準比率 (%)	$\max(Xhi) = (\sum \text{給水栓の当該無機物質濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} * 100$ (Al, Cl, 硬度, Fe, Mn, Na)	ヒ素 12.0	ヒ素 16.0	ヒ素 12.0	ヒ素 30.0	ヒ素 30.0	ヒ素 30.0	※1年間の定期検査の平均値の最も大きい水質基準の値と物質名 5.6 (6.9月最大平均値)
A107	有機化学物質濃度水質基準比率 (%)	$\max(Xhi) = (\sum \text{給水栓の当該有機化学物質濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} * 100$ 9項目とも検出限界以下	硬度 19.0	硬度 20.3	硬度 18.2	硬度 21.6	硬度 21.3	硬度 20.6	水質基準項目に定められている無機物質6種類がある。 ※1年間の定期検査の平均値の最も大きい水質基準の値と物質名 (9月)
A108	消毒副生成物濃度水質基準比率 (%)	臭素酸 ジクロロ酢酸 トリクロロ酢酸 ホルムアルデヒド クロロ酢酸 検出限界以下	0	0	0	0	0	0	有機塩素化学物質濃度として水質基準値が定められている2種の物質。 消毒副生成物濃度として、代表的な消毒副生成物を選び総合指標とした。 ※1年間の定期検査の平均値の最も大きい水質基準の値と物質名 (9月)
A109	農薬濃度水質管理目標比率 (%)	(測定を実施した農薬類の最大濃度をそれぞれの水質管理目標値で除した値の合計値) / 測定を実施した農薬数 * 100 未検出	トリクロロ 20.0	トリクロロ 18.7	トリクロロ 18.0	トリクロロ 35.6	臭素酸 35.0	トリクロロ 33.3	28.2
			0	0	0	0	0	0	水道事業体の水質検査計画書による農薬としてn種を選び、その濃度の目標値に対する割合。 0.01

(2) 施設管理

新	業務指標 (PI)	定 義 (計算式)	平均値						解 説
			R元	R2	R3	R4	R5	R6	
A201	原水水質監視項目数 (原子吸光度計故障のため検査可能項目減少有り)		15	15	13	13	13	13	48
A202	給水栓水質検査 (毎日) 箇所密度 (箇所/100km)	(給水栓水質検査 (毎日) 採水箇所数) / 現在給水面積 / 100	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	31.9
A203	配水池清掃実施率 (%)	* 給水栓の毎日水質検査の箇所数 最近5年間に清掃した配水池有効容量 / 配水池有効容量 * 100 清掃実績なし	0	0	0	0	0	16.7	44.9
A204	直結給水率 (%)	(直結給水件数 / 給水件数) * 100	98.5	98.7	99.6	99.7	98.9	98.7	89.6
A205	貯水槽水道指導率 (%)	(貯水槽水道指導件数 / 貯水槽水道数) * 100	27.6	25.6	98.8	27.4	31.5	29.3	12.5

(3) 事故災害対策

新	業務指標 (PI)	定 義 (計算式)	平均値						解 説
			R元	R2	R3	R4	R5	R6	
A301	水源の水質事故件数(件)	年間水源水質事故件数 なし	0	0	0	0	0	0	0.1
A302	活性炭投入率 (%)	(粉末活性炭年間処理水量 / 年間浄水量) * 100 活性炭を使用していない	0	0	0	0	0	0	11.1

施設整備

(4) 施設更新

新	業務指標 (PI)	定 義 (計算式)	平均値						解 説
			R元	R2	R3	R4	R5	R6	
A401	鉛製給水管率 (%)	(鉛製給水管使用件数 / 管種不明管 / 給水件数) * 100	27.0	26.3	24.7	24.4	23.8	23.8	2.8

水質の安全性から鉛製の給水管は使用されていないことが原則である。

目標(B)『安定した水の供給』

運営管理

(1) 施設管理

新	業務指標(PI)	定 義 (計算式)	平均値						解 説
			R元	R2	R3	R4	R5	R6	
B101	自己保有水源率(%)	(自己保有水源水量/全水源水量) * 100	58.2	57.9	58.8	53.7	55.2	54.1	自己の井戸に適用されるものであり、水源の運用としての自由度を表している。
B102	取水量1m ³ 当たり水源保全投資額 (円/ m ³)	水源保全に投資した費用/年間取水量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	水源保全への投資状況。
B103	地下水率(%)	(地下水揚水量/年間取水量) * 100							地下水の割合。
			54.0	54.0	54.0	54.4	54.2	53.3	
B104	施設利用率(%)	(1日平均配水量/施設能力) * 100							一日あたりの給水能力に対する一日平均給水量の割合。
			49.9	50.5	48.2	47.7	47.2	46.2	
B105	最大稼働率(%)	(1日最大配水量/施設能力) * 100							施設の一日あたりの最大運転時間とその施設の計画運転時間に対する割合。
			56.6	58.8	54.4	54.1	51.2	50.2	
B106	負荷率(%)	(1日平均配水量/1日最大配水量) * 100							水道事業の施設効率を判断する指標。
			88.2	85.9	88.7	88.2	92.3	91.9	
B107	配水管延長密度(km/km ²)	配水管延長/現在給水面積							業務指標値が高ければ、一概に整備状況が良好だけでなく、普及率や人口密度との関係に適切な規模である。
			27.6	27.5	27.6	27.6	27.7	27.8	
B108	管路点検率(%)	(点検をした管路延長/管路総延長) * 100							管路の健全性確保に対する執行度合い。
			2.8	3.4	5.4	2.3	10.6	17.8	
B109	バルブ点検率(%)	(点検したバルブ数/バルブ設置数) / * 100							安定した水の供給を目標とする。
			—	—	—	—	—	—	
B110	漏水率(%)	(年間漏水量/年間配水量) * 100							水量の把握は、基本事項であるが漏水量は測定は不可能なため、水量の分類'のような論理的分析がのぞましい。
			2.74	4.35	2.85	5.90	4.04	3.44	
B111	有効率(%)	(年間有効水量/年間配水量) * 100							配水池などから配水された水量、各井戸から直接配水された量、水道用水供給事業者からの受水を直接配水した量の一年間の合計。
			97.06	95.48	97.10	94.02	95.87	96.38	
B112	有収率(%)	(年間有収水量/年間配水量) * 100							年間の配水量に対する有収水量の割合。
			94.5	92.9	94.4	91.3	93.3	93.8	
B113	配水池貯留能力(日)	配水池有効容量/1日平均配水量							一日平均配水量の何日分が配水池などで貯留可能であることを表している
			1.28	1.28	1.33	1.35	1.36	1.39	

新	業務指標(PI)	定 義 (計算式)	平均値						解 説
			R元	R2	R3	R4	R5	R6	
B114	給水人口一人当たり配水量 (L/日/人)	1日平均配水量/現在給水人口*1000	323	329	317	316	315	311	給水人口一人一日あたりの水消費量を示す。
B115	給水制限日数(日)	年間給水制限日数	0	0	0	0	0	0	年間に給水制限を受けた割合。
B116	給水普及率(%)	(現在給水人口/給水区域内人口)*100	99.9	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	給水区域内に居住する人口に対する給水人口の割合。
B117	設備点検実施率(%)	点検機器数/電気・計装・機械機器の合計数*100	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	63.4	関西電気保安協会の電気事業法に基づく法的点検を年間契約委託している。

(2) 事故災害対策

B201	浄水場事故割合 (10年間の件数/箇所)	10年間の浄水場停止事故件数/浄水場数 浄水場停止事故なし	0	0	0	0	0	0	浄水場の事故は多いため、バックアップ機能が働いて、浄水、送水には影響が出ないようになっているか。
B202	事故時断水人口率(%)	(事故時断水人口/現在給水人口)*100 昭和浄水場断水区域人口/現在給水人口*100 不明	—	—	—	—	—	—	「給水できない人口」の割合を示し、水道事業体のシステムの融通性、余裕度を示す。
B203	給水人口一人当たり貯留飲料水量 (L/人)	(配水池有効容量*1/2+緊急貯水槽容量)*1,000/現在給水人口 矢田山第2配水池 80㎡ 矢田山第3配水池 5000㎡ 矢田山第4配水池 10000㎡ 大阪口配水池 5000㎡ 昭和第1配水池 5000㎡ 昭和第2配水池 5000㎡ 昭和鳳水受水池 5000㎡ 北郡山浄水池 1000㎡ 緊急貯水槽なし	208	210	182	213	215	217	地震時などの災害時の飲料水確保として、余裕のある配水池が必要で一人当たりの貯留飲料水量を示す。
B204	管路の事故割合(件/100km)	{(管路の事故件数/(管路延長*100))}	4.0	7.0	4.3	3.6	4.9	2.5	年間の導・送・配水管路の自己件数を延長100km当たりの件数に換算し管路の安全性を示す。
B205	基幹管路の事故割合 (件/100km)	(基幹管路の事故件数/基幹管路延長)*100	0	0	0	0	0	0.2	幹線管路での年間の事故件数を100km当たりで表し、管路の健全を示すもので、数値が小さい方を健全性が高いと評価できる。
B206	鉄製管路の事故割合(件/100km)	(鉄製管路の事故件数/鉄製管路総延長)*100	1.5	1.8	0.9	3.2	1.9	0.6	年間の導・送・配水管路の自己件数を延長100km当たりの件数に換算し鉄製管路の安全性を示す。
B207	非鉄製管路の事故割合(件/100km)	(非鉄製管路の事故件数/非鉄製管路延長)/100	8.1	15.5	10.3	4.2	9.6	1.9	年間の導・送・配水管路の自己件数を延長100km当たりの件数に換算し非鉄製管路の安全性を示す。
B208	給水管の事故割合(件/1,000件)	(給水管の事故件数/給水管件数)*10,000	1.2	3.4	3.1	9.1	2.9	3.5	配水管分岐から水道メータまでの給水管の健全性を示す。

新	業務指標(P)	定 義 (計算式)	平 均 値						解 説
			R元	R2	R3	R4	R5	R6	
B209	給水人口一人当たり平均断水・漏水時間(時間)	Σ(断水・漏水時間×断水・漏水区域給水人口)/現在給水人口	0	0	0	0	0	0	事前に予測のできない断水のことを示す。
B210	災害対策訓練実施回数(回/年)	年間の災害対策訓練実施回数	1	2	2	1	1	1	安定した水の供給を目標とする。
B211	消火栓設置密度(基/km)	消火栓数/配水管延長	3.4	3.6	3.6	3.1	3.6	3.5	管路施設の消防能力、救命ラインとしての機器対応能力の度合い。

(3) 環境対策

B301	配水量1m ³ 当たり電力消費量(kwh/m ³)	電力使用量の合計/年間配水量	0.58	0.57	0.57	0.56	0.57	0.55	0.34	年間配水量に対する電力使用量の割合。
B302	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー(NJ/m ³)	エネルギー消費量/年間配水量	2.11	2.07	2.09	2.05	2.08	2.00	2.49	年間配水量に対する総エネルギー消費量の割合。 (ガソリン(L)×33.4MJ)+(軽油(L)×38.0MJ)+(ガス(Nr) ¹ ×45.0MJ)+(電力(kWh)×3.6MJ) /年間配水量(9,435,267m ³)
B303	配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量(g・CO ₂ /m ³)	{総二酸化炭素(CO ₂)排出量/年間配水量}×10の6乗 (ガソリン、都市ガス、電力CO ₂ 排出量/年間配水量)	145.1	143.4	121.3	169.8	207.1	199.4	137.4	ガソリン 3.509kJ×2.29tCO ₂ /kJ×1,000,000 軽油 0.188kJ×2.62tCO ₂ /kJ×1,000,000 ガス 1.383kJ×2.09tCO ₂ /1,000Nm ³ ×1,000,000 関西電力 5,194.596kwh×0.000360tCO ₂ /kwh×1,000,000 / 年間配水量(9,435,267m ³)
B304	再生可能エネルギー利用率(%)	再生可能エネルギー設備の電力使用量/全施設の電力使用量×100 なし	0	0	0	0	0	0	0.09	水道事業体における再生可能エネルギー利用の割合。
B305	浄水発生土の有効利用率(%)	(有効利用土量/浄水発生土量)×100 なし	0	0	0	0	0	0	31.0	浄水処理過程における発生土の有効利用であり環境保全の取り組み。
B306	建設副産物のリサイクル率(%)	(リサイクルされた建設副産物量/建設副産物発生量)×100 発生土(m ³)0%+CO塊(トン)100%+AS塊(トン)100%/3	33.2	30.6	32.3	38.2	25.9	42.2	76.2	水道事業における工事等において、発生する建設副産物の有効利用あり、環境保全の取組の度合い。

施設整備

(4) 施設管理

B401	ダクタイル鋳鉄管・鋼管率(%)	{(ダクタイル鋳鉄管延長+鋼管延長)/管路延長}×100	62.5	62.0	61.2	60.7	60.1	59.6	56.8	配水管の更新について、材質面で耐震性の劣る鋳鉄管の解消に取り組む。
B402	管路の新設率(%)	(新設管路延長/管路延長)×100	0.11	0.17	0.29	0.07	0.20	0.12	0.13	年間の管路の新設・拡張等の度合いを示すもの

(5) 施設更新

新	業務指標(PI)	定 義 (計算式)	平均値						解 説
			R元	R2	R3	R4	R5	R6	
B501	法定耐用年数超過浄水施設率(%)	(法定耐用年数を超えている浄水施設能力/全浄水施設能力 施設能力60年)*100 なし	0	0	0	0	0	0	耐用年数は、地方公営企業施行規則に定められている法定耐用年数。
B502	法定耐用年数超過設備率(%)	(法定耐用年数を超えている機械・電気・計装設備などの合計 数)/機械・電気・計装設備などの合計数*100	—	—	—	35.0	40.7	37.4	経年化年数はその電気・機械設備の経年数と深い関係があり、主要機器の 使用年数を施設の経年数とする。(部分修繕しているため、不明)
B503	法定耐用年数超過管路率(%)	(法定耐用年数を超えている管路延長/管路延長)*100	23.4	24.3	25.6	33.6	34.7	35.9	法定耐用年数を管路の経年数とする。
B504	管路の更新率(%)	(更新された管路延長/管路延長)*100	1.5	1.5	1.2	1.5	1.5	1.1	年間に更新された導・送・配水管の割合を表し、管路の信頼性確保に 対する執行度合いを示す。
B505	管路の更生率(%)	(更正された管路延長/管路延長)*100	0	0	0	0	0	0	年間に更新された導・送・配水管の割合を表し、管路の信頼性確保に 対する執行度合いを示す。

(6) 事故災害対策

B601	系統間の原水融通率(%)	(原水融通能力/全浄水施設能力)*100	0	0	0	0	0	0	他系統からの融通可能な原水水量の割合を示す
B602	浄水施設の耐震化率(%)	(耐震対策の施された浄水施設能力/全浄水施設能力) *100	0	0	0	0	60	60	浄水能力に対する耐震化率。
B602 -2	浄水施設の主要構造耐震化率(%)	(沈でん・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力+ろ過のみ 施設の耐震化浄水施設能力/全浄水施設能力)*100	0	0	0	0	60	60	浄水施設の主要構造物耐震化率
B603	ポンプ所の耐震化率(%)	(耐震対策の施されたポンプ所能力/耐震化対象ポンプ所能 力)*100	0	0	0	0	0	0	ポンプ能力に対する耐震化率
B604	配水池の耐震化率(%)	(耐震対策の施されている配水池有効容量/配水池等有効容 量)*100	55.4	55.4	55.4	55.4	55.4	55.4	配水池容量に対する耐震化率 H30矢田山第3配水池、大阪口配水池耐震完了 R1矢田山第4配水池耐震完了
B605	管路の耐震管率(%)	(耐震管延長/管路延長)*100	12.1	13.8	15.4	16.9	18.7	20.0	導・送・配水管路の耐震化の進捗状況を示す。
B606	基幹管路の耐震管率(%)	(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長)*100	9.0	11.4	12.2	13.8	14.0	14.7	事故災害対策として、施設の整備し、安定した水の供給を目指す。
B606 -2	基幹管路の耐震適合率(%)	基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長/基幹管路延長 *100	9.0	11.4	12.2	13.8	14.0	14.7	同じ
B607	重要給水施設配水管路の耐震管率 (%)	重要給水施設配水管路のうち耐震管延長/重要給水施設配 水管路延長*100	14.3	15.1	16.7	20.2	23.7	26.5	同じ

新	業務指標(P1)	定 義 (計算式)	平均値						解 説	
			R元	R2	R3	R4	R5	R6		R4
B607 -2	重要給水施設配水管路の耐震適合率(%)	(重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長/重要給水施設配水管路延長)×100	14.3	15.1	16.7	20.2	23.7	26.5	47.6	事故災害対策として、施設の整備し、安定した水の供給を目指す。
B608	停電時配水量確保率(%)	(全施設停電時に確保できる配水能力／一日平均配水量)×100 自家発電電設なし	0	0	0	0	0	0	89.4	非常時に稼働可能な電気設備の割合。
B609	薬品備蓄日数(日)	平均凝集剤貯蔵量／凝集剤1日平均使用量 または、 平均塩素剤貯蔵量／塩素剤一日平均使用料	50.3	60.3	55.4	59.8 (33.2)	54.8 (32.2)	56.5 (32)	30.3	地震時において、必要な薬品量の備蓄について調和がとれているか。 (北郡山浄水場) 次亜塩素酸ナトリウム56.5 PAC32 (昭和浄水場) 次亜塩素酸ナトリウム3.5 PAC14
B610	燃料備蓄日数(日)	平均燃料貯蔵量／1日燃料使用量 自家発電電装置なし	0	0	0	0	0	0	0.5	地震時において燃料備蓄率については、災害時等の停電時間の電力を補えるか。
B611	応急給水施設密度 (箇所／100km ²)	(応急給水施設数／現在給水面積/100)	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8	14.4	給水区域100km ² 当たりの拠点数であり、緊急時の利用しやすさ。 北郡山浄水場・矢田山第4配水池・昭和受水タンク・昭和第1配水池・昭和第2配水池 (5カ所×39.1×100)
B612	給水車保有度(台／1000人)	給水車数／(現在給水人口/1,000)	0.035	0.035	0.036	0.035	0.036	0.036	0.019	緊急時用の給水車保有数。
—	可搬ポリタンク・バッグ保有数(%)	(可搬ポリタンク・ポリバッグ数／給水人口)×1,000	256.9	190.6	201.5	191.6	190.8	204.7	—	災害時の人口1,000人当たりの車載用給水ポリタンク・ポリバッグ数。
B613	車載用の給水タンク保有度 (m ³ ／1000人)	車載用給水タンクの容量／(現在給水人口/1000)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	災害時の人口1,000人当たりの車載用給水タンク保有度。

目標(C)『健全な事業経営』

財 務

(1)健全経営

新	業務指標(P)	定 義 (計算式)	平均値							解 説	
			H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6		R4
C101	営業収支比率(%)	(営業収益－受託工事収益)/(営業費用－受託工事費)＊100	108.4	104.2	94.2	104.2	83.8	94.3	92.7	96.8	営業費用が営業収益によってどの程度賄われているか。
C102	経常収支比率(%)	経常収益／経常費用＊100	123.5	118.6	108.2	118.6	112.2	113.1	107.4	108.4	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているか。 単年度ごとの判断ではなく料金算定期間内で100%を上回っていれば良好。
C103	総収支比率(%)	(総収益／総費用)＊100									総収支比率は総費用が総収益によってどの程度賄
C104	累積欠損金比率(%)	{累積欠損金／(営業収益－受託工事収益)}＊100	123.5	118.6	108.2	118.6	112.2	113.1	107.7	109	水道事業体の経営状況が健全な状態にあるか。
C105	繰入金比率(収益的収入分)(%)	(損益勘定繰入金／収益的収入)＊100 0(繰入なし)	0	0	0	0	0	0	0	0	収益的収入に対する繰入金の依存度 この値は、低い方が望ましい。
C106	繰入金比率(資本的収入分)(%)	(資本的勘定繰入金／資本的収入計)＊100 0(繰入なし)	0	0	0	0	0	0	0	10.3	資本的収入に対する繰入金の依存度 この値は、低い方が望ましい。
C107	職員一人当たり給水収益(千円/人)	(給水収益/損益勘定所属職員数)	65,524	65,223	62,877	82,778	70,279	79,254	83,699	82,612	損益勘定所属職員一人当たりの生産性について、給水収益を 基準とする。
C108	給水収益に対する職員給与の割合 (%)	水道事業費用職員給与費-(受託工事費(給与費+退職引当 金)/給水収益)＊100	10.1	10.3	10.7	9.6	11.5	10.1	9.2	9.7	給水収益に対する職員給与費の割合。
C109	給水収益に対する企業債利息の割 合(%)	(企業債利息/給水収益)＊100	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.01	2.80	給水収益に対する企業債利息の割合。
C110	給水収益に対する減価償却費の割 合(%)	(減価償却費/給水収益)＊100	24	23	25	26	31	29	29	35	給水収益に対する減価償却費の割合。
C111	給水収益に対する建設改良のための 企業償還元金の割合(%)	(企業償還金/給水収益)＊100	0.17	0.17	0.19	0.19	0.23	0.21	0.22	17.40	給水収益に対する企業償還金の割合。
C112	給水収益に対する企業債残高の割 合(%)	(企業債残高/給水収益)＊100	1.51	1.35	1.26	1.04	1.00	0.69	0.47	200.7	給水収益に対する企業償還の割合。
C113	料金回収率(%)	(供給単価/給水原価)＊100	123.6	118.3	106.4	113.1	93.8	107.5	104.8	99.6	供給単価と給水原価の関係。
C114	供給単価(円/㎡)	給水収益/年間総有収水量	188.2	188.9	176.6	186.7	165.6	182.2	189.2	200.7	有収水量1㎡についてどれだけの収益を得ているかを示す。

新	業務指標(PI)	定 義 (計算式)	平均値							解 説
			H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
C115	給水原価(円/㎡)	{経常費用－(受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋ 附帯事業費＋長期前受金戻入)}/年間有収水量	152.3	159.6	166.1	165.1	176.5	169.5	180.6	有収水量1㎡にどれだけの費用がかかっているかを示す。
C116	1か月10㎡当たり家庭用料金(円)	1か月当たり一般家庭用(口径13mm)の基本料金＋10㎡	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170	1か月10㎡当たり家庭用料金(円) 料金表による
C117	1か月20㎡当たり家庭用料金(円)	1か月当たり一般家庭用(口径13mm)の基本料金＋20㎡ 1,170(10㎡を含む)÷155×10	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	1か月20㎡当たり家庭用料金(円) 料金表による
C118	流動比率(%)	{流動資産/流動負債}×100								流動負債に対する流動資産の割合。
C119	自己資本構成比率(%)	{(資本金＋繰延収益)/負債・資本合計}×100	2,487.0	1,769.2	909.6	1,054.9	1,651.5	1,349.8	1,772.6	総資本に占める自己資本の割合。
C120	固定比率(%)	{固定資産/(資本金＋剰余金＋評価差額＋繰延収益)}×100	93.2	92.7	91.1	91.7	85.6	93.1	94.1	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを見る指標。
C121	企業償還元金対減価償却費比率(%)	{固定資産/(償還元金＋当年度減価償却費)}×100	58.17	55.98	72.42	73.53	63.58	65.66	67.49	投下資本の回収と再投資のバランス。
C122	固定資産回転率(回)	(営業収益－受託工事収益)/(期首固定資産＋期末固定資産)/2)	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	固定資産に対する営業収益の割合を回数で示したもの。
C123	固定資産使用効率(㎡*10,000円)	(年間配水量/有形固定資産)*10,000	0.09	0.02	0.07	0.07	0.13	0.14	0.14	有形固定資産10,000円当たりの年間総配水量の割合。
C124	職員一人当たり有収水量(㎡/人)	年間総有収水量/損益勘定所屬職員数 8,849,157/12人(嘱託・臨時・再任除く)	10.4	10.0	9.8	9.1	8.7	8.3	7.9	サービス全般の効率性。
C125	料金請求誤り割合(件/1,000件)	(誤料金請求件数/料金請求件数)*1,000 (2/210,149)*1,000	541,628	537,238	565,323	775,929	685,620	694,273	737,430	サービス全般の効率性。
C126	料金収納率(%)	{料金納入額/調定額}*100	0.10	0.02	0.00	0.00	0.02	0.02	0.01	料金請求の正確性の度合い。
C127	給水停止割合(件/1,000件)	給水停止件数/(給水件数/1000)	93.0	92.9	92.8	93.1	91.9	92.8	91.4	料金滞納の度合い。 (H27より定義変更)
			4.76	4.77	4.33	3.83	3.34	4.02	4.98	給水停止の度合い。

組織・人材

(2)人材育成

新	業務指標(PI)	定義 (計算式)	平均値							解 説
			H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R4
C201	水道技術に関する資格取得度(件/人)	職員が取得している水道技術に関する資格数/全職員数 19件/18人 (嘱託・臨時・再任除く)	2.53	2.53	1.72	2.00	1.95	1.17	1.06	1.51
C202	外部研修時間(時間)	(職員が外部研修を受けた時間・人数)/全職員数 11.5時間/18人 (嘱託・臨時・再任除く)	10.0	3.8	1.4	0.4	0.6	1.2	0.6	6.4
C203	内部研修時間(時間)	(職員が内部研修を受けた時間・受講人数)/全職員数 37.5時間/18人 (嘱託・臨時・再任除く)	5.0	8.4	3.9	5.8	4.9	3.6	2.1	2.8
C204	技術職員率(%)	(技術職員数/全職員数) * 100 7人/18人 * 100 (嘱託・臨時・再任除く)	57.8	52.6	50.0	44.4	52.6	38.9	38.9	49.0
C205	水道業務平均経年数(年/人)	職員の水道業務経年数/全職員数 91.0年/18人 (嘱託・臨時・再任除く)	10.5	10.0	11.3	7.8	8.3	4.9	5.1	14.0
C206	国際協力派遣者数(人・週)	Σ(国際協力派遣者数 * 滞在日数) なし	0	0	0	0	0	0	0	0
C207	国際協力受入者数(人・日)	Σ(国際協力受入者数 * 滞在日数) なし	0	0	0	0	0	0	0	0

(3)業務委託

C301	検針委託率(%)	(委託した水道メータ数/水道メータ設置数) * 100 全て委託	100	100	100	100	100	100	100	99
C302	浄水場第3者委託率(%)	(第三者委託した浄水場の浄水施設能力/全浄水場能力) * 100 北郡山浄水場 9,600 m ³ (全委託) 昭和浄水場 30,200 m ³ (2/3委託)	74.7	74.7	74.7	74.7	74.7	74.7	74.7	21.1

お客さまとのコミュニケーション

(4) 情報提供

新	業務指標(PI)	定 義 (計算式)	平均値							解 説
			H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
C401	広報誌による情報の提供度(部/件)	広報誌などの配布部数/給水件数								広報の活動状況を示す。 「ふれっしゅ郡水」(春・秋・安堵町)配布
C402	インターネットによる情報の提供度(回)	ウェブページへの掲載回数 ホームページ依頼回数	1.88	1.85	1.85	2.08	1.80	1.79	1.78	4.11
C403	水道施設見学者割合(人/1,000人)	見学者数/(現在給水人口/1000)	12	27	54	44	57	44	68	38
			8.6	7.7	0.0	0.0	0.0	2.9	3.6	0.9
										消費者と双方向コミュニケーションを推進している割合。

(5) 意見収集

C501	モニター割合(人/1,000人)	モニター人数/(現在給水人口/1000)									消費者との双方向コミュニケーションを推進している度合い。
C502	アンケート情報収集割合(人/1,000人)	なし アンケート回答者数/(給水人口/1,000人)	0	0	0	0	0	0	0	0	一年間の、水道事業に関するアンケート調査に回答したお客様の数
C503	直接飲用率(%)	(直接飲用回答数/直接飲用アンケート回答数)*100	9.7	0	0	0	0	0	0	0.1	H28ペットボトル配布・H30利き水 水道水を飲用としている給水区域内の消費者の割合。
C504	水道サービスに対する苦情対応割合(件/1,000件)	(水道サービス苦情対応件数/給水件数)*1000 (0/39,958)*1,000 (1/39,958)*1,000 (水質苦情件数/給水件数)*1,000	0.03	0.00	0.08	0.09	0.02	0.05	0.00	0.0	H28ペットボトル配布有 給水件数に対する消費者対応、検針関係、料金関係 工事関係、断水、濁水関係などに対する年間苦情割合。 (文書として記録された分)
C505	水質に対する苦情対応割合(件/1,000件)		0.00	0.05	0.03	0.09	0.00	0.05	0.03	0.4	給水件数に対する、においや味などの年間苦情割合。
C506	水道料金に対する苦情対応割合(件/1,000件)	水道料金苦情件数/給水件数*1000 (1/39,958)*1000	0.48	0.51	0.75	0.45	0.34	0.09	0.20	0.11	給水件数に対する年間の苦情割合。 委託業者対応は、問い合わせ、職員対応は、苦情として扱う。
			0.00	0.05	0.03	0.09	0.00	0.03	0.03	0.07	

「水道事業ガイドライン」に基づく業務指標 (PI)

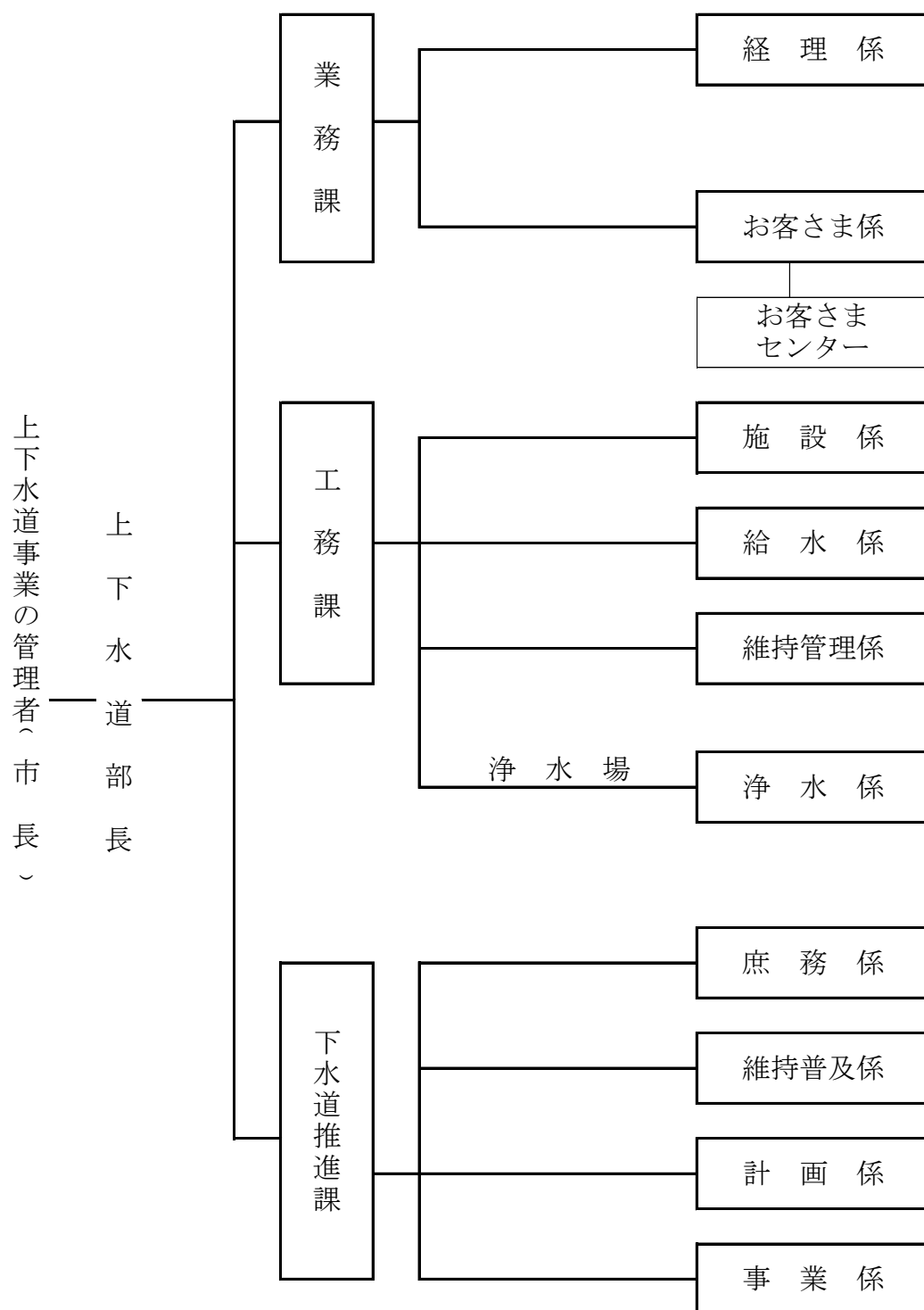
【JWWA Q100 2016】

- * 水道事業ガイドラインは、水道事業のサービス内容を共通の算定式によって数値化する国内規格として、平成17年1月に社團法人日本水道協会により制定されました。
- * その後、新水道ビジョンの策定、東日本大震災による耐震化対策の強化、水質基準などの水道関係法令の改正といった水道事業を取り巻く状況の大きな変化を受けて、平成28年3月に規格が改定されました。
- * 「安全で良質な水」 「安定した水の供給」 「健全な事業経営」 の3つを業務指標 (PI: Performance Indicator) の目標とし、119項目から構成されています。
- * 同規模事業体とは、日本水道協会のHPで公表されている給水人口5万人以上10万人未満の事業体における令和元年度の業務指標の (PI) の平均値 (異常値と認められているものを除いて算出)
- * 「ー」は、規格改正等によりデータがないことを表しています。

V 機 構

1. 機 構 図

(令和7年3月31日現在)



2. 職 員 数 及 び 配 置

(令和7年3月31日現在)

役職名 課・係	上下 水道部長	次 長	課 長	主 幹	課 長 補 佐	係 長	主 査	係 員	そ の 他 の 職 員	計
〔 業 務 課 〕	1		1			2		1	2	6
経 理 係						1		1	1	
お 客 さ ま 係						1			1	
〔 工 務 課 〕			1		1	2		6	7	17
施 設 係						1		2	2	
給 水 係						1		2	3	
維 持 管 理 係					1	(1)		2	2	
〔工務課浄水場〕					1	(1)		2	4	7
浄 水 係					1	(1)		2	4	
工 務 課 小計			1		2	2	0	8	11	24
合 計	1		2		2	4	0	9	13	31

() 書は兼務のため合計に含まず。

3. 職 員 構 成 (臨時職員を除く)

(1) 年齢別職員構成

(令和7年3月31日現在)

区 分 年齢別	定数内職員		その他職員		合 計	比 率
	事務職員	技術職員	事務職員	技術職員		
合 計	11 人	7 人	4 人	4 人	26 人	100%
平均年齢	48.9 才	38.0 才	56.2 才	63.2 才	49.3 才	
20才以上～25才未満		1			1	3.9%
25才 " ～30才 "		1			1	3.9%
30才 " ～35才 "	1	1			2	7.7%
35才 " ～40才 "	1	1			2	7.7%
40才 " ～45才 "	2				2	7.7%
45才 " ～50才 "	1	1			2	7.7%
50才 " ～55才 "	3	1	2		6	23.1%
55才 " ～60才 "	2	1			3	11.5%
60才 " ～65才以下	1		2	4	7	26.9%

(2) 勤続年数別職員構成

(令和7年3月31日現在)

区 分 年齢別	定数内職員		その他職員		合 計	比 率
	事務職員	技術職員	事務職員	技術職員		
合 計	11 人	7 人	4 人	4 人	26 人	100%
平均勤続年数	5.6 年	4.1 年	23.1 年	24.3 年	11 年	
1年未満						
1年以上～3年未満	7	2			9	34.6%
3年 " ～5年 "		2	1		3	11.5%
5年 " ～7年 "	2	1			3	11.5%
7年 " ～10年 "	1	2		1	4	15.4%
10年 " ～15年 "						
15年 " ～20年 "				1	1	3.9%
20年 " ～25年 "						
25年 " ～30年 "			2		2	7.7%
30年 " ～35年 "	1			1	2	7.7%
35年 " ～40年 "			1		1	3.9%
40年以上				1	1	3.9%

VI 参 考

1. 水道料金の変遷

昭和56年3月1日施行（平均改定率 18.0%）

用途 種別	基 本 料 金 （1ヶ月につき）			従 量 料 金 （1 m ³ につき）	
	メーター口径	水量	金 額 （円）	水 量	金額(円)
一 般 用	13 mm	10 m ³ まで	750 円	11 ～ 20 m ³ 21 ～ 50 51 ～ 500 501 以上	100 円
	20		1,120		120
	25		1,500		140
	40	水 量 な し	5,900	1 ～ 20 m ³ 21 ～ 50 51 ～ 500 501 以上	100 円 120 140 170
	50		8,700		
	75		21,700		
	100		36,800		
	150		80,700		
	200 以上		市長が別に定める額		
	臨時用		メーター口径に基づく額	1 m ³ につき	170 円
	湯屋用		メーター口径に基づく額		80 円

昭和59年3月1日施行（平均改定率 9.5%）

用途 種別	基 本 料 金 （1ヶ月につき）			従 量 料 金 （1 m ³ につき）	
	メーター口径	水量	金 額 （円）	水 量	金額(円)
一 般 用	13 mm	10 m ³ まで	800 円	11 ～ 20 m ³ 21 ～ 50 51 ～ 500 501 以上	110 円
	20		1,220		130
	25		1,640		150
	40	水 量 な し	6,600	1 ～ 20 m ³ 21 ～ 50 51 ～ 500 501 以上	110 円 130 150 180
	50		9,800		
	75		24,600		
	100		41,900		
	150		92,000		
	200 以上		市長が別に定める額		
	臨時用		メーター口径に基づく額	1 m ³ につき	180 円
	湯屋用		メーター口径に基づく額		90 円

昭和62年3月1日施行（平均改定率 20.47%）

用途 種別	基 本 料 金 （1ヶ月につき）			従 量 料 金 （1 m ³ につき）	
	メーター口径	水量	金 額 （円）	水 量	金額(円)
一 般 用	13 mm	10 m ³ まで	1,000 円	11 ～ 20 m ³ 21 ～ 50 51 ～ 500 501 以上	130 円
	20		1,540		150
	25		2,090		180
	40	水 量 な し	8,700		210
	50		12,900	1 ～ 20 m ³ 21 ～ 50 51 ～ 500 501 以上	130 円
	75		32,100		150
	100		54,600		180
	150		119,600		210
	200 以上		市長が別に定める額		
	臨 時 用		メーター口径に基づく額	1 m ³ につき	210 円
	湯 屋 用		メーター口径に基づく額		100 円

平成4年3月1日施行（平均改定率 10.82%）

用途 種別	基 本 料 金 （1ヶ月につき）			従 量 料 金 （1 m ³ につき）	
	メーター口径	水量	金 額 （円）	水 量	金額(円)
一 般 用	13 mm	10 m ³ まで	1,000 円	11 ～ 20 m ³ 21 ～ 50 51 ～ 100 101 ～ 500 501 以上	140 円
	20		1,540		160
	25		2,090		180
	40	水 量 な し	8,700		200
	50		12,900	1 ～ 20 m ³ 21 ～ 50 51 ～ 100 101 ～ 500 501 以上	230
	75		32,100		140 円
	100		54,600		160
	150		119,600		180
	200 以上		市長が別に定める額		200
	臨 時 用		メーター口径に基づく額	1 m ³ につき	230 円
	湯 屋 用		メーター口径に基づく額		110 円

平成8年3月1日施行（平均改定率 17.98%）

用途 種別	基 本 料 金 （1ヶ月につき）			従 量 料 金 （1 m ³ につき）	
	メーター口径	水量	金 額 （円）	水 量	金額(円)
一 般 用	13 mm	10 m ³ まで	1,200 円	11 ～ 20 m ³	160 円
	20		1,800	21 ～ 50	190
	25		2,500	51 ～ 100	220
	40	水 量 な し	10,400	101 ～ 500	240
	50		15,400	501 以上	270
	75		38,500		
	100		65,500	1 ～ 20 m ³	160 円
	150		143,500	21 ～ 50	190
				51 ～ 100	220
				101 ～ 500	240
				501 以上	270
	臨時用		メーター口径に基づく額	1 m ³ につき	270 円
	湯屋用		メーター口径に基づく額		130 円

平成25年4月1日施行（平均改定率 △2.89%）

用途 種別	基 本 料 金 （1ヶ月につき）			従 量 料 金 （1 m ³ につき）	
	メーター口径	水量	金 額 （円）	水 量	金額(円)
一 般 用	13 mm	8 m ³ まで	1,030 円	11 ～ 20 m ³ 21 ～ 50 51 ～ 100 101 ～ 500 501 以上	155 円
	20		1,670		185
	25		2,400		215
	13 mm	9～10 m ³ まで	1,170		235
	20		1,780		265
	25		2,490		
	40	水 量 な し	10,200	1 ～ 20 m ³ 21 ～ 50 51 ～ 100 101 ～ 500 501 以上	155 円
	50		15,200		185
	75		38,000		215
	100		64,000		235
	150		140,000		265
	臨時用		メーター口径に基づく額	1 m ³ につき	265 円
	湯屋用		メーター口径に基づく額		125 円

2. 下水道使用料の変遷

平成9年4月1日施行

平成30年1月1日施行

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ～ 10m ³	1 ヶ月につき 6 3 5 円
一般排水	従 量	11 ～ 20m ³	1 m ³ に つ き 6 9 円
		21 ～ 50m ³	1 m ³ に つ き 7 6 円
		51 ～ 100m ³	1 m ³ に つ き 8 3 円
		101m ³ ～	1 m ³ に つ き 8 9 円
		中間排水	301 ～ 750m ³
特定排水	751m ³ ～	1 m ³ に つ き 1 7 5 円	
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m ³ に つ き	4 2 円

平成21年5月1日施行

平成21年6月1日施行

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ～ 10m ³	1 ヶ月につき 735円
一般排水	従 量 料 金	11 ～ 20m ³	1 m ³ につ き 80円
		21 ～ 50m ³	1 m ³ につ き 88円
		51 ～ 100m ³	1 m ³ につ き 96円
		101m ³ ～	1 m ³ につ き 103円
		中間排水	301 ～ 750m ³
特定排水		751m ³ ～	1 m ³ につ き 193円
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m ³ につ き	48円

平成22年5月1日施行

平成27年6月1日施行

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ～ 10m ³	1 ヶ月につき 8 3 0 円
一般排水	従 量 料 金	11 ～ 20m ³	1 m ³ につ き 9 0 円
		21 ～ 50m ³	1 m ³ につ き 9 9 円
		51 ～ 100m ³	1 m ³ につ き 1 0 8 円
		101m ³ ～	1 m ³ につ き 1 1 6 円
		中間排水	301 ～ 750m ³
特定排水		751m ³ ～	1 m ³ につ き 2 1 0 円
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m ³ につ き	5 6 円

平成24年5月1日施行

平成24年3月1日施行

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ～ 10m ³	1 ヶ月につき 9 5 0 円
一般排水	従 量 料 金	11 ～ 20m ³	1 m ³ に つ き 1 0 4 円
		21 ～ 50m ³	1 m ³ に つ き 1 1 4 円
		51 ～ 100m ³	1 m ³ に つ き 1 2 4 円
		101m ³ ～	1 m ³ に つ き 1 3 3 円
		中間排水	301 ～ 750m ³
特定排水		751m ³ ～	1 m ³ に つ き 2 2 1 円
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m ³ に つ き	6 4 円

平成25年5月1日施行

平成25年5月1日施行

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ～ 10m ³	1 ヶ月につき 1 0 7 0 円
一般排水	従 量	11 ～ 20m ³	1 m ³ に つ き 1 1 8 円
		21 ～ 50m ³	1 m ³ に つ き 1 2 9 円
		51 ～ 100m ³	1 m ³ に つ き 1 4 0 円
		101m ³ ～	1 m ³ に つ き 1 5 1 円
		中間排水	301 ～ 750m ³
特定排水	751m ³ ～	1 m ³ に つ き 2 3 1 円	
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m ³ に つ き	7 3 円

※地域（矢田山団地）は平成28年6月廃止

令和2年4月1日施行（2カ年平均改定率13.12%）

市費配分率1割1割施行（2割1割増徴率1割1割）

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ～ 8m ³	1 ヶ月につき 1 0 5 0 円
		9 ～ 10m ³	1 ヶ月につき 1 1 2 0 円
一般排水	従 量	11 ～ 20m ³	1 m ³ に つ き 1 3 1 円
		21 ～ 50m ³	1 m ³ に つ き 1 4 3 円
		51 ～ 100m ³	1 m ³ に つ き 1 5 6 円
		101m ³ ～	1 m ³ に つ き 1 6 8 円
中間排水	料 金	301 ～ 750m ³	1 m ³ に つ き 1 8 0 円
特定排水		751m ³ ～	1 m ³ に つ き 2 4 2 円
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m ³ に つ き	8 1 円

令和3年4月1日施行

区 分		使 用 料 金		
基本料金		水量 0 ～ 8m ³	1 ヶ月につき	1 0 3 0円
		9 ～ 10m ³	1 ヶ月につき	1 1 7 0円
一般排水	従 量	11 ～ 20m ³	1 m ³ に つ き	1 4 5円
		21 ～ 50m ³	1 m ³ に つ き	1 5 8円
		51 ～ 100m ³	1 m ³ に つ き	1 7 2円
		101m ³ ～	1 m ³ に つ き	1 8 5円
		中間排水	301 ～ 750m ³	1 m ³ に つ き
特定排水	料 金	751m ³ ～	1 m ³ に つ き	2 5 4円
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m ³ に つ き	8 9円	

3. 給水分担金

メーター口径	20 mm 以下	25 mm	40 mm	50 mm
分 担 金	200,000 円	360,000 円	1,152,000 円	1,710,000 円

75 mm	100 mm	150 mm
4,428,000 円	8,964,000 円	24,372,000 円

(上記の金額に消費税が加算されます。)

4. 導・送・配水管布設状況

導 水 管

口 径 mm	Ø300mm 未満	Ø300～500mm 未満	Ø500～1000mm 未満	合 計
延 長 m	8,278.87	5,560.97	284.89	14,124.73

送 水 管

口 径 mm	Ø50～300mm 未満	Ø300～500mm 未満	合 計
延 長 m	1,058.01	9,147.91	10,205.92

配 水 管

口 径 mm	Ø50mm以下	Ø75mm	Ø100mm	Ø125mm	Ø150mm	Ø200mm	Ø250mm
延 長 m	111,924.28	128,611.03	116,270.74		60,668.89	42,252.76	118.17

口 径 mm	Ø300mm	Ø350mm	Ø400mm	Ø450mm	Ø500mm	Ø600mm	合 計
延 長 m	20,660.94	774.34	15,941.43	3,455.21	1,779.29	2,783.10	505,240.18

令和6年度
水道事業年報

発行 大和郡山市植槻町6番10号

奈良県広域水道企業団
大和郡山事務所
(旧 大和郡山市上下水道部)

TEL 0743 (53) 3661

